

東亜大学収容定員関係学則変更届出書

令和7年10月28日

文 部 科 学 大 臣 殿

学校法人東亜大学学園

理事長 百瀬 威三郎

このたび、東亜大学の収容定員に係る学則を変更することについて、学校教育法第4条第2項及び学校教育法施行令第23条の2第1項の規定により、別紙書類を添えて届け出ます。なお、届出の上は、確実に届出に係る計画を履行します。

基本計画書

基本計画書									
事項		記入欄						備考	
計画の区分		大学の収容定員に係る学則変更							
フリガナ設置者		カッポカワシン トウダイガクカクセン 学校法人 東亜大学学園							
フリガナ大学の名称		トウダイガク 東亜大学						University of East Asia	
大学本部の位置		山口県下関市一の宮学園町2番1号							
大学の目的		東亜大学は、教育基本法に則り、学校教育法の定めるところに従って、未来社会の要請に応え得る教育の環境を常に大学内に求め、人間教育並びに高度の専門職業技術教育とその研究とを実施し、もって福祉国家の創造に積極的に参加し、更に広く世界観に立脚して他民族の繁栄にも寄与し得る、独創的な頭脳・奉仕の精神・健全な身体を兼ね備えた人材を養成する事を目的とする。							
新設学部等の目的		人材育成の社会的要請に応える為、社会情勢の変化及び高校生の要求に応える為に入学定員を調整する必要があり、この度は東亜大学の医療学部健康栄養学科、人間科学部心理臨床・子ども学科、人間科学部国際交流学科、人間科学部スポーツ健康学科、芸術学部アート・デザイン学科及び芸術学部トータルビューティ学科の入学定員及び収容定員について見直しを行い、適正化を図りたい。また、収容定員変更後の東亜大学の入学定員は300名、そして収容定員は1,200名であり、収容定員変更の前後で入学定員及び収容定員の増減は伴わない。							
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位	学位の分野	開設時期及び開設年次	所在地
		年	人	年次人	人			年 月 第 年次	
	医療学部					学士	家政関係	令和8年4月第1年次	山口県下関市一の宮学園町2番1号
	健康栄養学科	4	25 (30)	—	100 (120)	(医療栄養学)	家政関係	令和8年4月第1年次	同上
	人間科学部					学士	教育学・保育学関係	令和8年4月第1年次	同上
	心理臨床・子ども学科	4	45 (40)	—	180 (160)	(人間科学)	教育学・保育学関係	令和8年4月第1年次	同上
	国際交流学科	4	40 (30)	—	160 (120)	(人間科学)	社会学・社会福祉学関係	令和8年4月第1年次	同上
	スポーツ健康学科	4	95 (80)	—	380 (320)	(人間科学)	体育関係	令和8年4月第1年次	同上
	芸術学部					学士	美術関係	令和8年4月第1年次	同上
	アート・デザイン学科	4	30 (50)	—	120 (200)	(芸術)	美術関係	令和8年4月第1年次	同上
	トータルビューティ学科	4	20 (25)	—	80 (100)	(芸術)	美術関係	令和8年4月第1年次	同上
	計		—	—	—				
同一設置者内における変更状況（定員の移行、名称の変更等）		医療学部 健康栄養学科 【定員減】 (△ 5) (令和8年4月) 人間科学部 心理臨床・子ども学科 【定員増】 (5) (令和8年4月) 国際交流学科 【定員増】 (10) (令和8年4月) スポーツ健康学科 【定員増】 (15) (令和8年4月) 芸術学部 アート・デザイン学科 【定員減】 (△20) (令和8年4月) トータルビューティ学科 【定員減】 (△ 5) (令和8年4月)							
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数			
		講義	演習	実験・実習	計				
		科目	科目	科目	科目	単位			

	学部等の名称	基幹教員					助手	基幹教員以外の教員 (助手を除く)
		教授	准教授	講師	助教	計		
新	医療学部 健康栄養学科	4人 (4)	2人 (2)	2人 (2)	0人 (0)	8人 (8)	5 (5)	12 (12)
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	1 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	2 (2)		
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	3 (3)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	5 (5)		
	小計（a～b）	4 (4)	1 (1)	2 (2)	0 (0)	7 (7)		
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (1)		
	計（a～d）	4 (4)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	8 (8)		
	学部計	4 (4)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	8 (8)	5 (5)	12 (12)
	人間科学部 心理臨床・子ども学科	7 (7)	3 (3)	3 (3)	0 (0)	13 (13)	0 (0)	31 (31)
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	4 (4)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	7 (7)		
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	3 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (3)		
	小計（a～b）	7 (7)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	10 (10)		
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (1)		
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	2 (2)		
	計（a～d）	7 (7)	3 (3)	3 (3)	0 (0)	13 (13)		
	国際交流学科	6人 (6)	6人 (6)	0人 (0)	0 (0)	12人 (12)	0人 (0)	23人 (23)
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	2 (2)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	3 (3)		
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	3 (3)	5 (5)	0 (0)	0 (0)	8 (8)		
	小計（a～b）	5 (5)	6 (6)	0 (0)	0 (0)	11 (11)		
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)		
	計（a～d）	6 (6)	6 (6)	0 (0)	0 (0)	12 (12)		
	スポーツ健康学科	12 (12)	6 (6)	5 (5)	0 (0)	23 (23)	0 (0)	10 (10)
設	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	4 (4)	3 (3)	1 (1)	0 (0)	8 (8)		
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	5 (5)	3 (3)	4 (4)	0 (0)	12 (12)		
	小計（a～b）	9 (9)	6 (6)	5 (5)	0 (0)	20 (20)		
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	3 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (3)		
	計（a～d）	12 (12)	6 (6)	5 (5)	0 (0)	23 (23)		
	学部計	25 (25)	15 (15)	8 (8)	0 (0)	48 (48)	0 (0)	64 (64)

大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数 6人

大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数 10人

大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数 9人

大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数 18人

分	既	芸術学部 アート・デザイン学科	4 (4)	4人 (4)	0人 (0)	0人 (0)	8 (8)	0人 (0)	16人 (16)	大学設置基準別 表第一に定める 基幹教員数の 四分の三の数 6 人
		a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの	4 (4)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	7 (7)			
		b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
		小計（a～b）	4 (4)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	7 (7)			
		c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
		d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (1)			
		計（a～d）	4 (4)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	8 (8)			
		トータルビューティ学科	4 (4)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	8 (8)	0 (0)	20 (20)	
		a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの	1 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	2 (2)			
		b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（aに該当する者を除く）	2 (2)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	4 (4)			
小計（a～b）	3 (3)	1 (1)	2 (2)	0 (0)	6 (6)					
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	1 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	2 (2)					
計（a～d）	4 (4)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	8 (8)					
学部計	8 (8)	6 (6)	2 (2)	0 (0)	16 (16)	0 (0)	36 (36)			
小計	37 (37)	23 (23)	12 (12)	0 (0)	72 (72)	5 (5)	112 (112)			
設	分	医療学部 医療工学科	14 (14)	5 (5)	2 (2)	0 (0)	21 (21)	0 (0)	28 (28)	大学設置基準別 表第一に定める 基幹教員数の 四分の三の数 16人
		a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの	6 (6)	2 (2)	1 (1)	0 (0)	9 (9)			
		b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（aに該当する者を除く）	5 (5)	3 (3)	1 (1)	0 (0)	9 (9)			
		小計（a～b）	11 (11)	5 (5)	2 (2)	0 (0)	18 (18)			
		c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
		d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	3 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (3)			
		計（a～d）	14 (14)	5 (5)	2 (2)	0 (0)	21 (21)			
		小計	14 (14)	5 (5)	2 (2)	0 (0)	21 (21)	0 (0)	28 (28)	
		合 計	51 (51)	28 (28)	14 (14)	0 (0)	93 (93)	5 (5)	140 (140)	

職 種		専 属		その他		計				
事 務 職 員		41人 (41)		13人 (13)		54人 (54)				
技 術 職 員		2 (2)		0 (0)		2 (2)				
図 書 館 職 員		1 (1)		2 (2)		3 (3)				
そ の 他 の 職 員		0 (0)		12 (12)		12 (12)				
指 導 補 助 者		0 (0)		0 (0)		0 (0)				
計		44 (44)		27 (27)		71 (71)				
校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用		計				
	校 舎 敷 地	0㎡	96,731.80㎡	0㎡		96,731.80㎡				
	そ の 他	0㎡	5,561.58㎡	0㎡		5,561.58㎡				
	合 計	0㎡	102,293.38㎡	0㎡		102,293.38㎡				
校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用		計				
		38,225.16㎡ (㎡)	0㎡ (㎡)	3,450.43㎡ (㎡)		41,675.59㎡ (㎡)				
教 室 ・ 教 員 研 究 室		教 室	室	教 員 研 究 室		室				
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕	電子図書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	機械・器具	標本			
		冊	冊	種	種	点	点			
		()	()	()	()	()	()			
	計	()	()	()	()	()	()			
スポーツ施設等		スポーツ施設		講堂		厚生補導施設				
		㎡		㎡		㎡				
経費の見積り 及び 維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	※学生納付金は、上から医療学部健康栄養学科、人間科学部心理臨床・子ども学科、人間科学部国際交流学科、人間科学部スポーツ健康学科系道整復コース、芸術学部アート・デザイン学科、芸術学部トータルビューティ学科の順
		教員1人当り研究費等		140千円	140千円	140千円	140千円	0千円	0千円	
		共同研究費等		0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
		図 書 購 入 費		450千円	450千円	450千円	450千円	0千円	0千円	
	学生1人当り 納付金	設 備 購 入 費		29,000千円	29,000千円	29,000千円	29,000千円	0千円	0千円	
		第1年次		第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,270千円		1,030千円	1,030千円	1,030千円	0千円	0千円		
		1,120千円		880千円	880千円	880千円	0千円	0千円		
		1,030千円		790千円	790千円	790千円	0千円	0千円		
		1,230千円		990千円	990千円	990千円	0千円	0千円		
		1,540千円		1,300千円	1,300千円	1,300千円	0千円	0千円		
		1,460千円		1,220千円	1,220千円	1,220千円	0千円	0千円		
	1,160千円		920千円	920千円	920千円	0千円	0千円			
	学生納付金以外の維持方法の概要									

既設大学等の状況	大学等の名称	東亜大学							所在地
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	開設年度	
	東亜大学	年	人	年次人	人		倍		山口県下関市一の宮学園町2番1号
	医療学部								
	医療工学科	4	45	—	180	学士（医療工学）	1.06	平成16年度	
	健康栄養学科	4	30	—	120	学士（医療栄養学）	0.53	平成19年度	
	人間科学部								
	心理臨床・子ども学科	4	40	—	160	学士（人間科学）	0.83	平成24年度	
	国際交流学科	4	30	—	120	学士（人間科学）	0.94	平成24年度	
	スポーツ健康学科	4	80	—	320	学士（人間科学）	1.23	平成24年度	
	芸術学部								
	アート・デザイン学科	4	50	—	200	学士（芸術）	0.9	平成9年度	
	トータルビューティ学科	4	20	—	100	学士（芸術）	0.52	平成19年度	
附属施設の概要									

(注)

- 1 共同学科の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」、「新設学部等の目的」、「新設学部等の概要」、「教育課程」及び「新設分」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 2 「新設分」及び「既設分」の備考の「大学設置基準別表第一イ」については、専門職大学にあっては「専門職大学設置基準別表第一イ」、短期大学にあっては「短期大学設置基準別表第一イ」、専門職短期大学にあっては「専門職短期大学設置基準別表第一イ」にそれぞれ読み替えて作成すること。
- 3 「既設分」については、共同学科等に係る数を除いたものとする。
- 4 私立の大学の学部又は短期大学の学科の収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「教室・教員研究室」、「図書・設備」及び「スポーツ施設等」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「校地等」、「校舎」、「教室・教員研究室」、「図書・設備」、「スポーツ施設等」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 6 「教育課程」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 7 空欄には、「—」又は「該当なし」と記入すること。

学校法人東亜大学学園 設置認可等に関わる組織の移行表

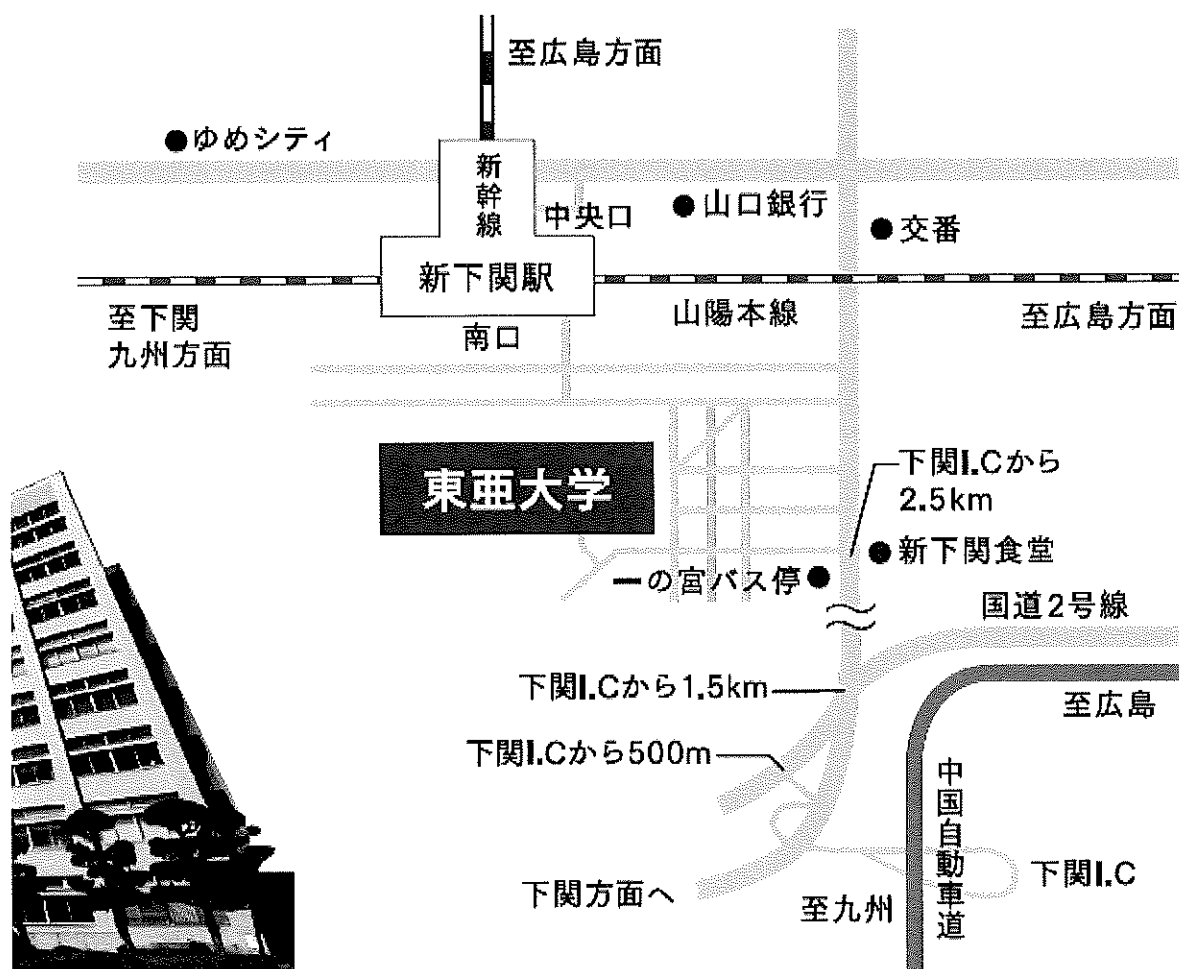
令和7年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	⇒	令和8年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
東亜大学					東亜大学				
医療学部					医療学部				
医療工学科	45	—	180		医療工学科	45	—	180	
健康栄養学科	30	—	120		健康栄養学科	25	—	100	定員変更 (△5)
人間科学部					人間科学部				
心理臨床・子ども学科	40	—	160		心理臨床・子ども学科	45	—	180	定員変更 (+5)
国際交流学科	30	—	120		国際交流学科	40	—	160	定員変更 (+10)
スポーツ健康学科	80	—	320		スポーツ健康学科	95	—	380	定員変更 (+15)
芸術学部					芸術学部				
アート・デザイン学科	50	—	200		アート・デザイン学科	30	—	120	定員変更 (△20)
トータルビューティ学科	25	—	100		トータルビューティ学科	20	—	80	定員変更 (△5)
計	300	—	1,200		計	300	—	1,200	
東亜大学大学院					東亜大学大学院				
総合学術研究科 (博士前期課程)					総合学術研究科 (博士前期課程)				
医療科学専攻	8	—	16		医療科学専攻	8	—	16	
人間科学専攻	8	—	16		人間科学専攻	8	—	16	
デザイン専攻	8	—	16		デザイン専攻	8	—	16	
臨床心理学専攻	8	—	16		臨床心理学専攻	8	—	16	
総合学術研究科 (博士後期課程)					総合学術研究科 (博士後期課程)				
医療科学専攻	3	—	9		医療科学専攻	3	—	9	
人間科学専攻	3	—	9		人間科学専攻	3	—	9	
デザイン専攻	3	—	9		デザイン専攻	3	—	9	
臨床心理学専攻	3	—	9		臨床心理学専攻	3	—	9	
総合学術研究科 (通信制・修士課程)					総合学術研究科 (通信制・修士課程)				
法学専攻	50	—	100		法学専攻	50	—	100	
人間科学専攻	50	—	100		人間科学専攻	50	—	100	
デザイン専攻	14	—	28		デザイン専攻	14	—	28	
計	158	—	328		計	158	—	328	

校地校舎等の図面

(1) 都道府県内における位置関係の図面



(2) 最寄り駅からの距離、交通機関及び所要時間がわかる図面

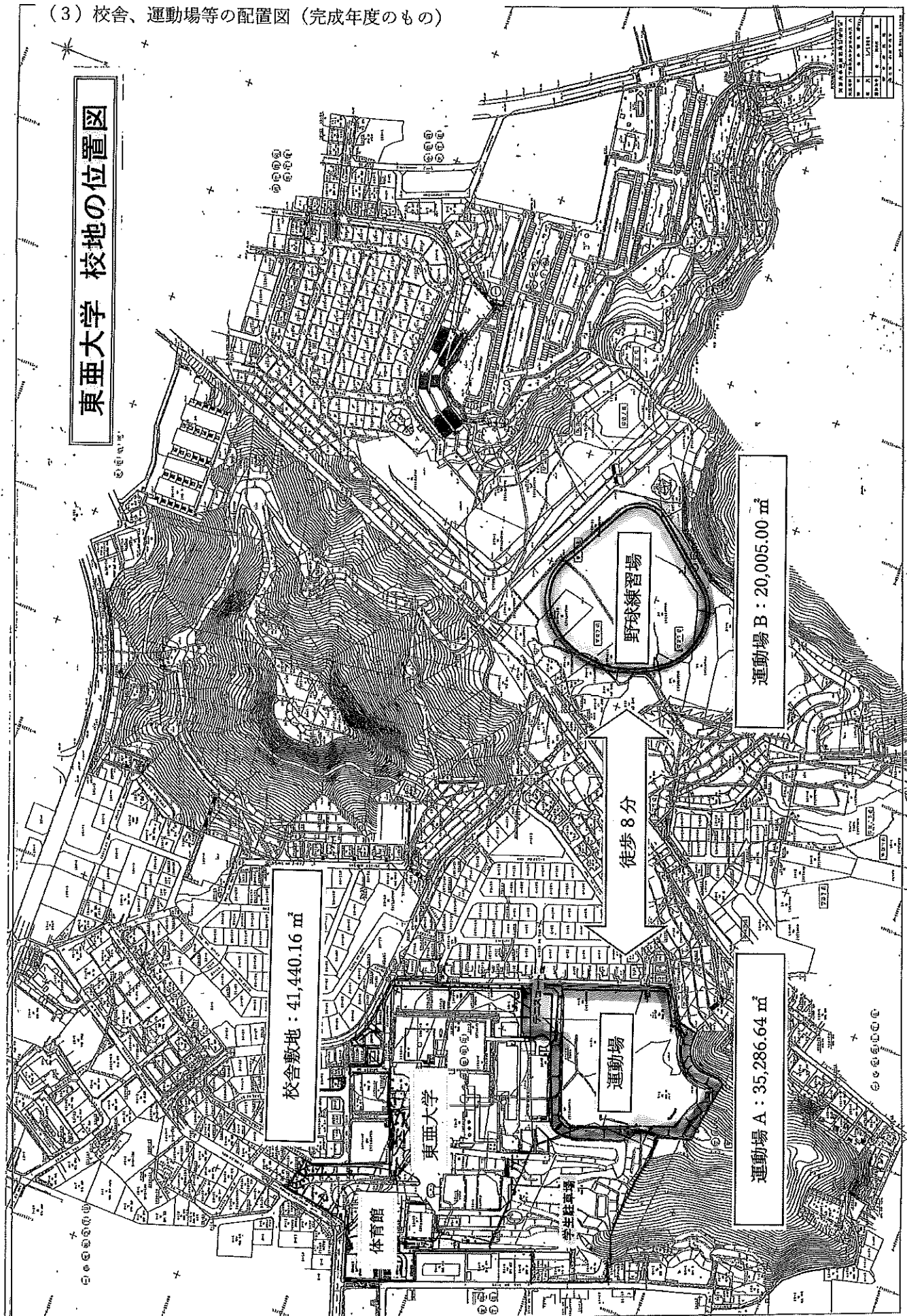


JRをご利用の場合

博多駅	山陽新幹線 約27分	新下関駅 (南口)	徒歩 10分	東亜大学
新山口駅	山陽新幹線 約24分			
小倉駅	鹿児島本線 約18分			
門司駅	山陽本線 約7分			
宇部駅	山陽本線 約10分			
		下関駅		
		厚狹駅		

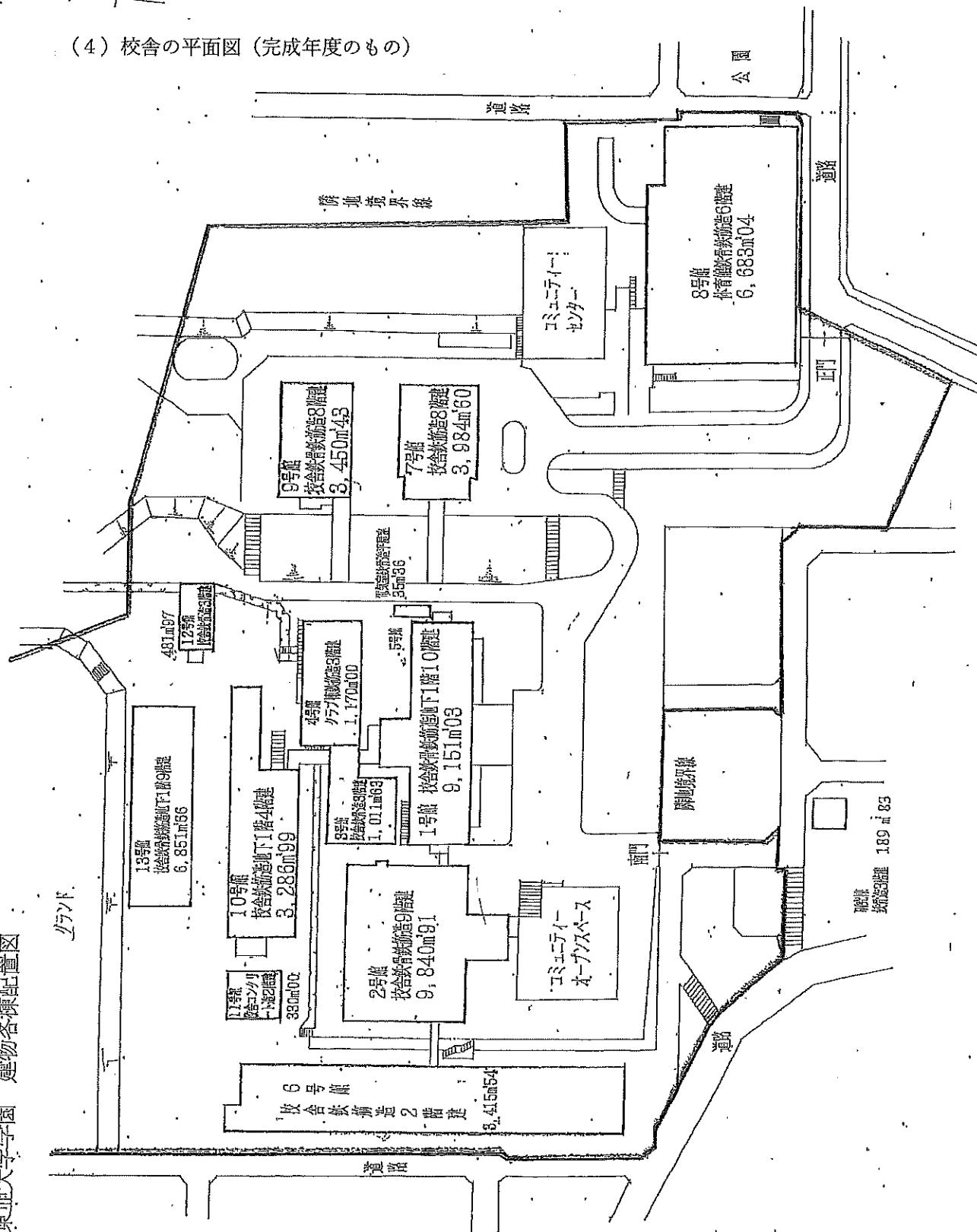
【 JR 新下関駅南口より徒歩 0.6 km 】

(3) 校舎、運動場等の配置図 (完成年度のもの)



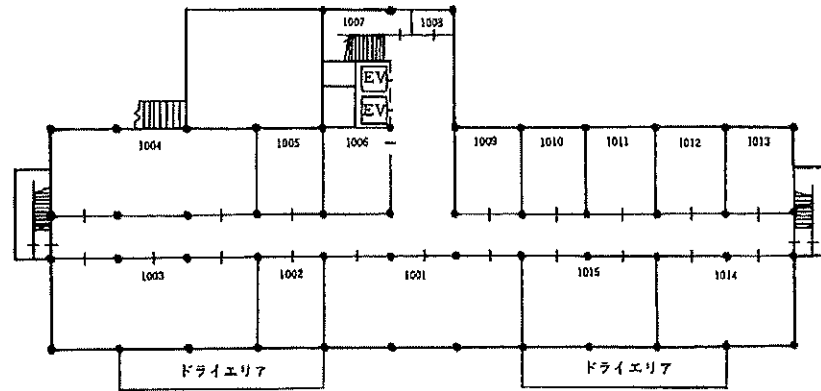
東亜大学学園 建物各棟配置図

(4) 校舎の平面図 (完成年度のもの)

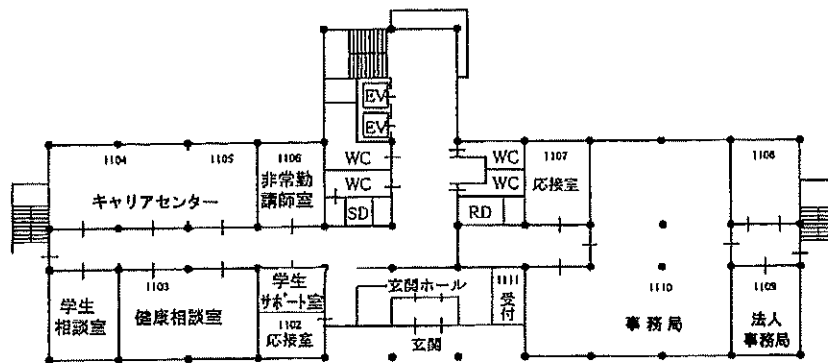


講義室・演習室・実験室等の室番号図 (1/600 縮図)

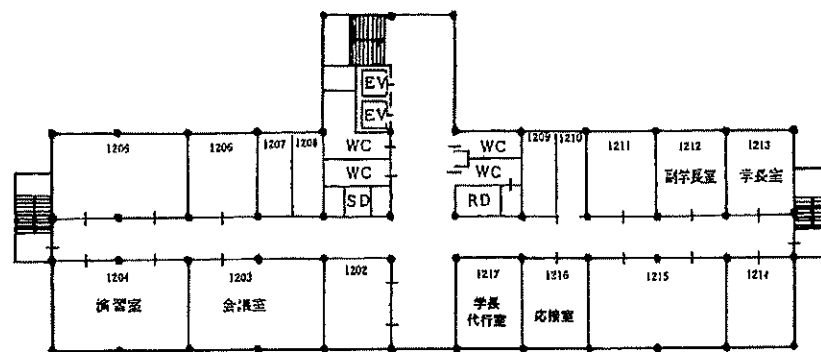
○1号館 地階



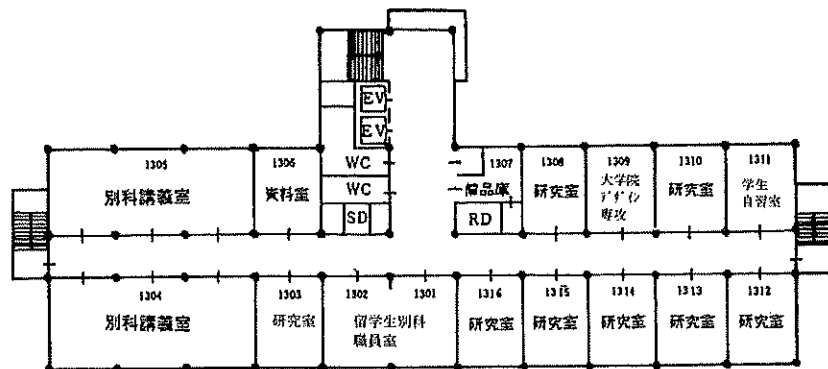
○1号館 1階



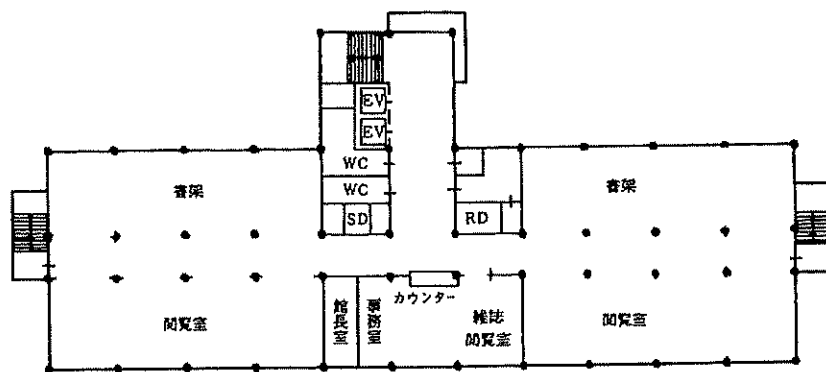
○1号館 2階



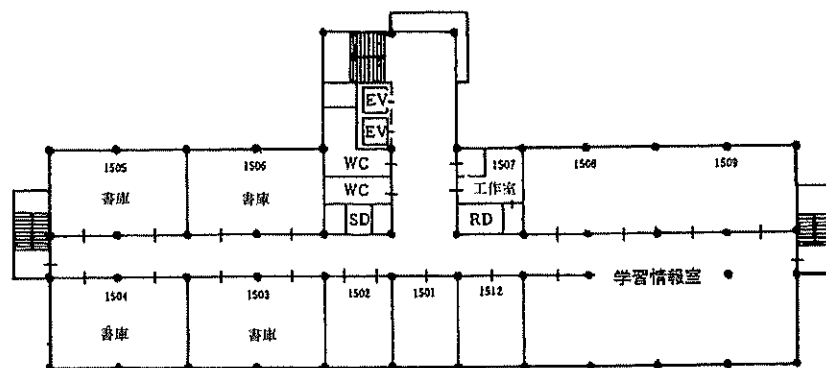
○1号館 3階



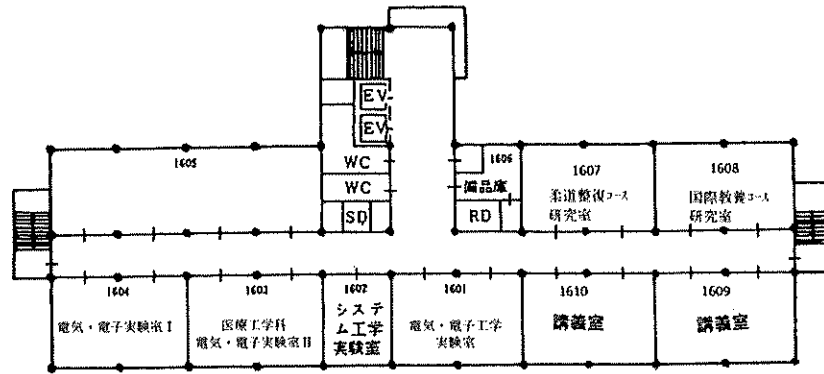
○1号館 4階 (図書館)



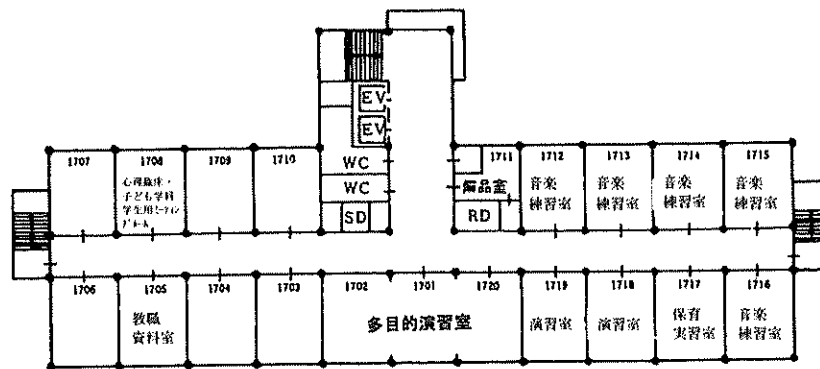
○1号館 5階



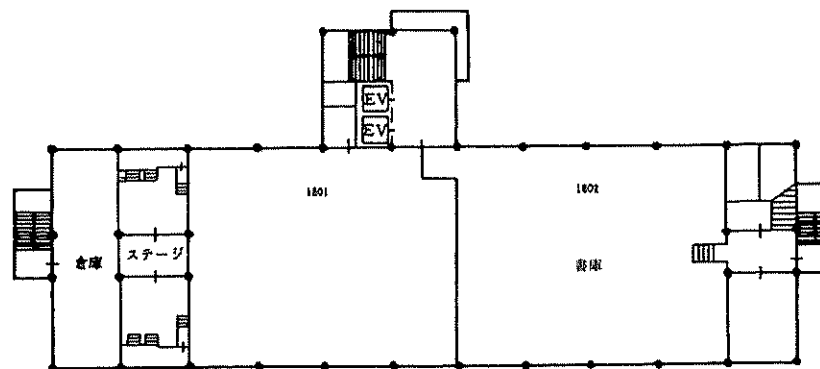
○1号館 6階



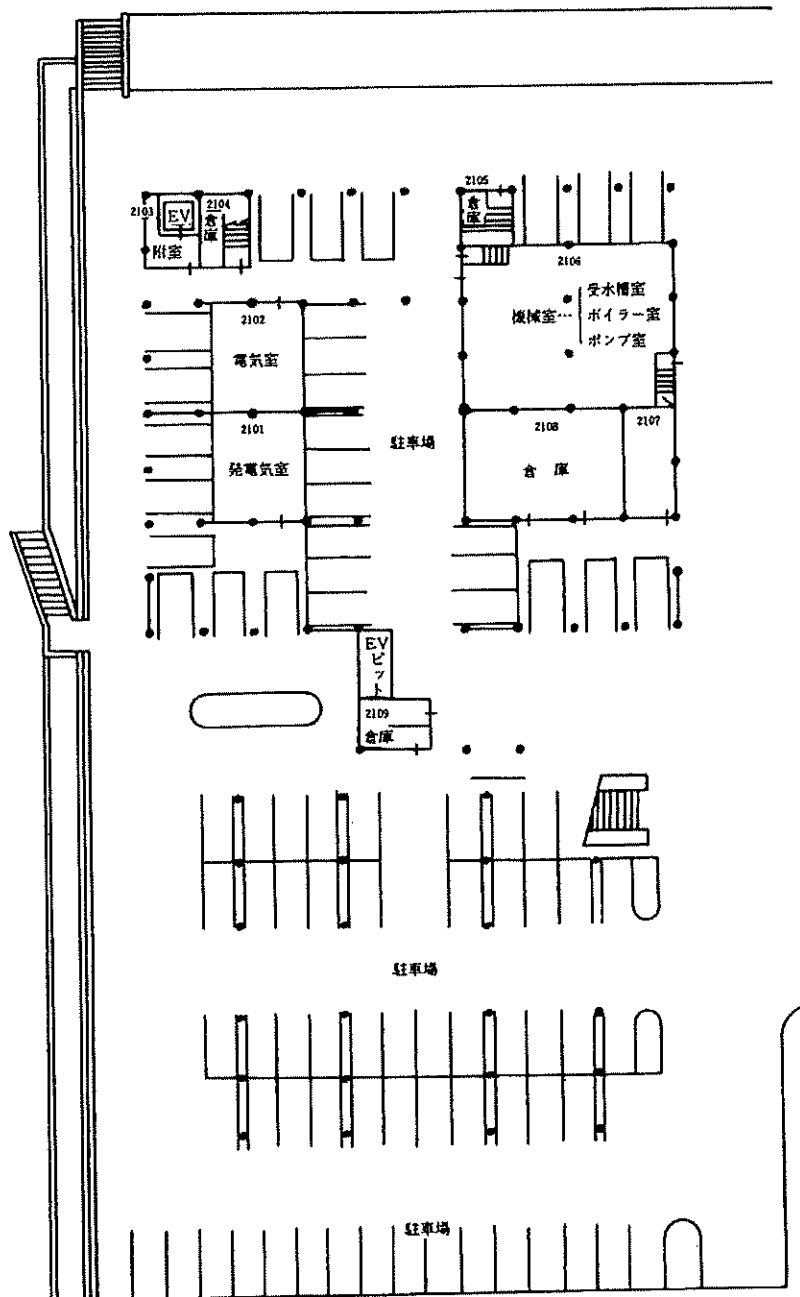
○1号館 7階



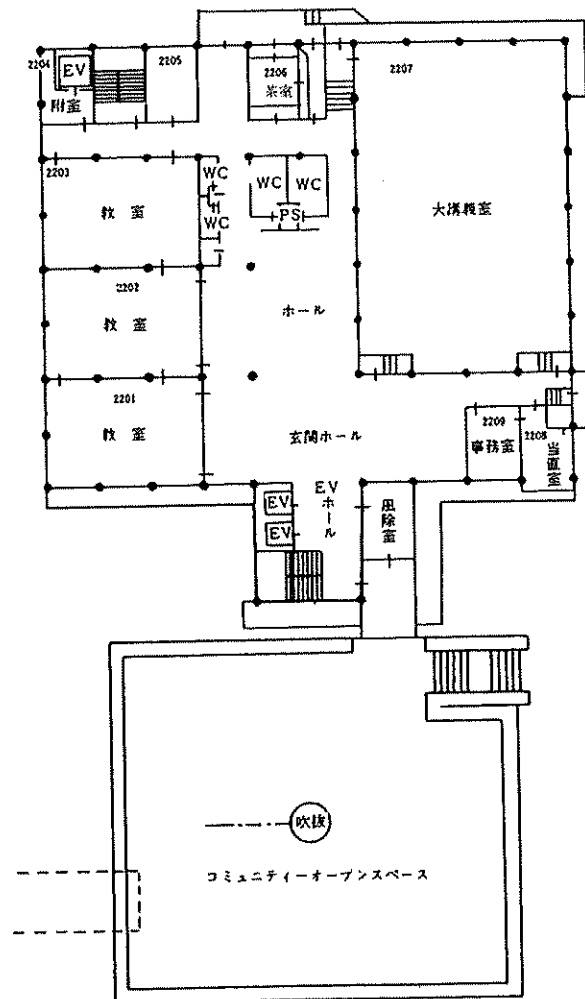
○1号館 8階



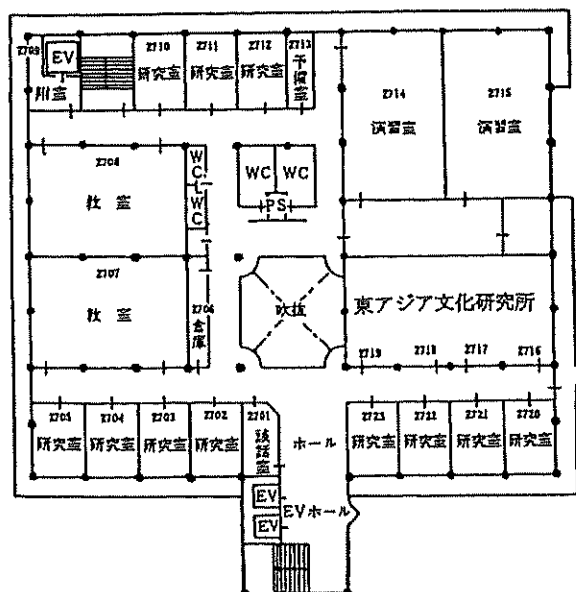
○2号館 1階



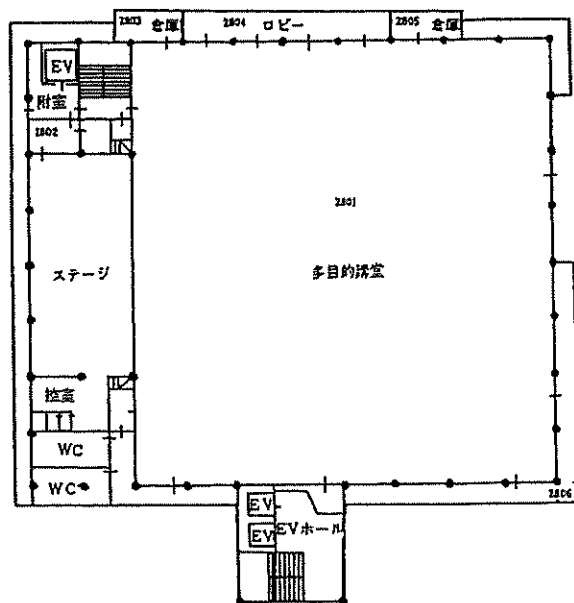
○2号館 2階



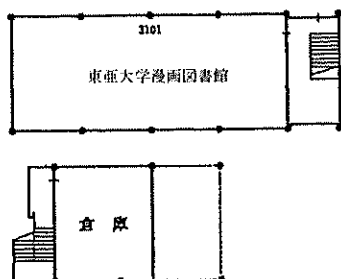
○2号館 7階



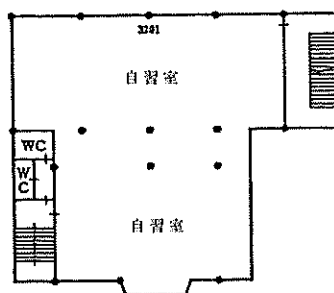
○2号館 8階



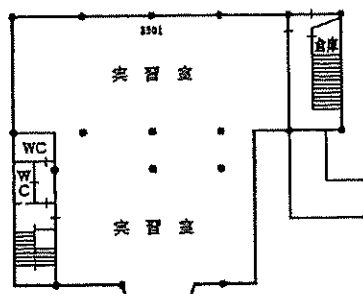
○3号館 1階



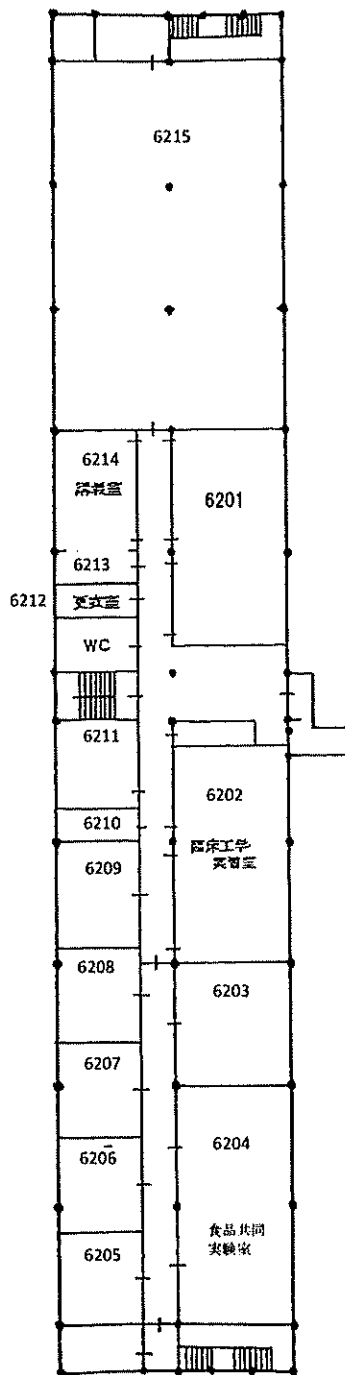
○3号館 2階



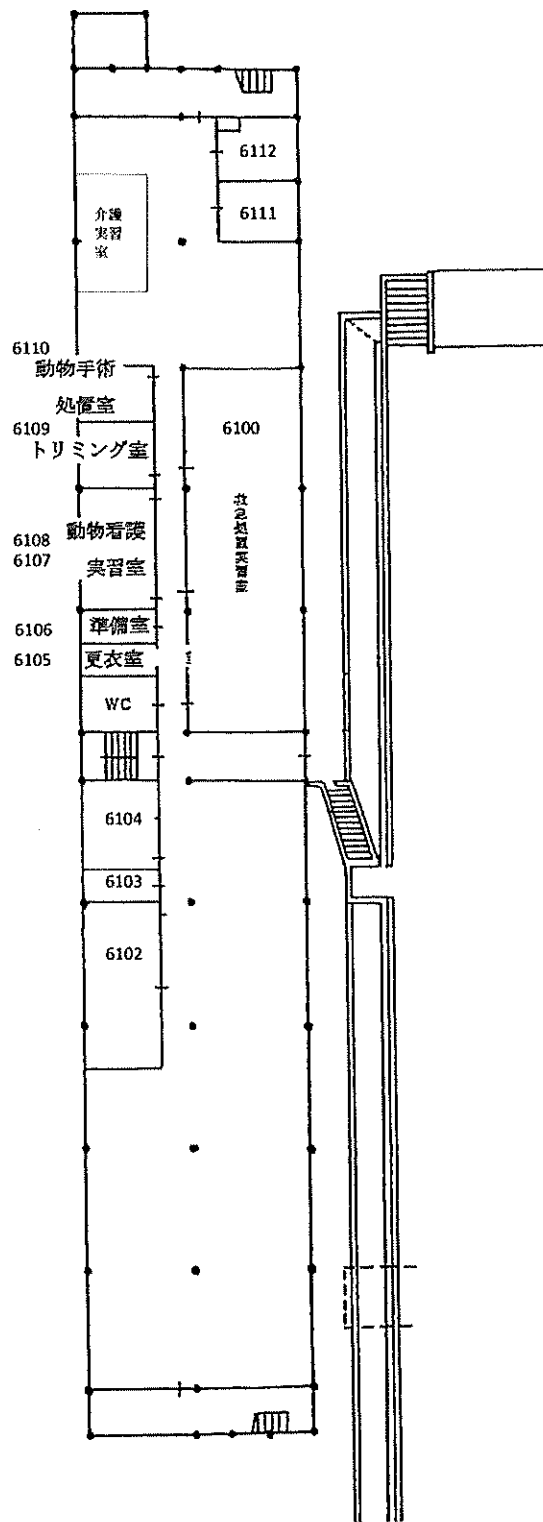
○3号館 3階



○ 6号館 2階 (医療学部実験実習工場)

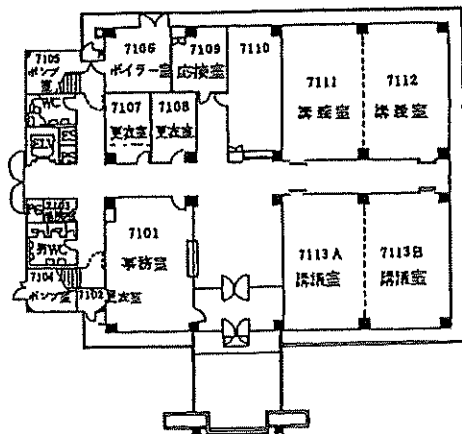


○ 6号館 1階 (医療学部実験実習工場)

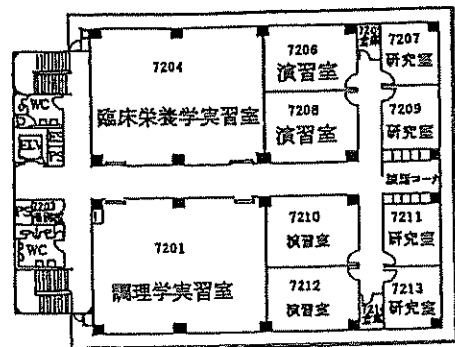


7号館 (1/600 縮図)

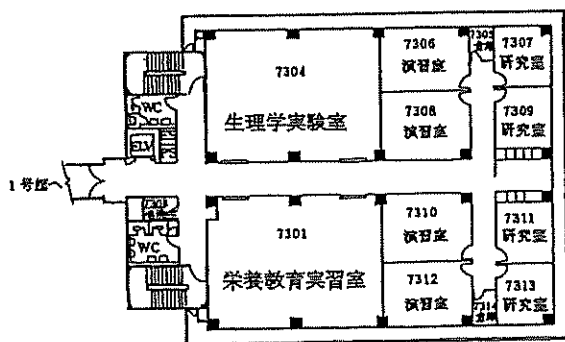
○7号館 1階



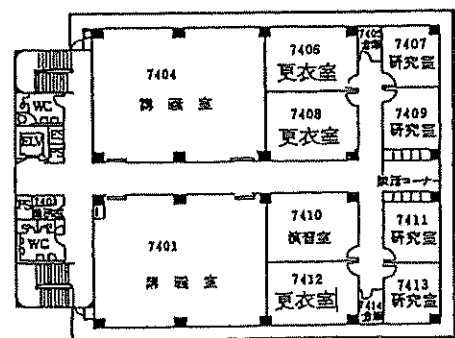
○7号館 2階



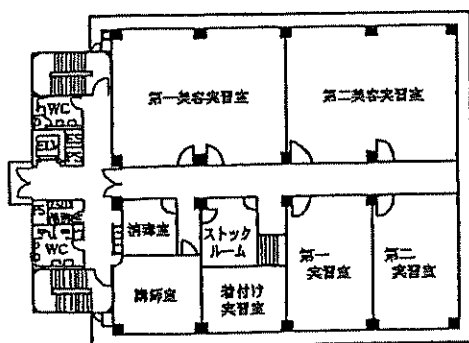
○7号館 3階



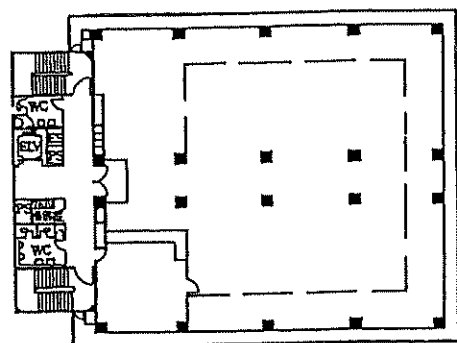
○7号館 4階



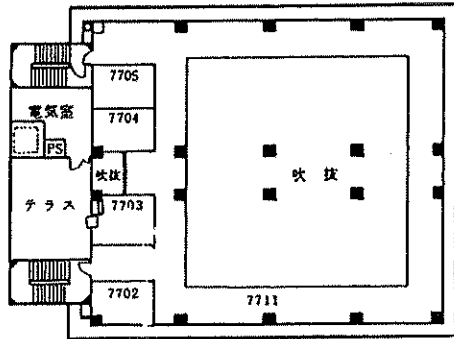
○7号館 5階 (理美容実習室)



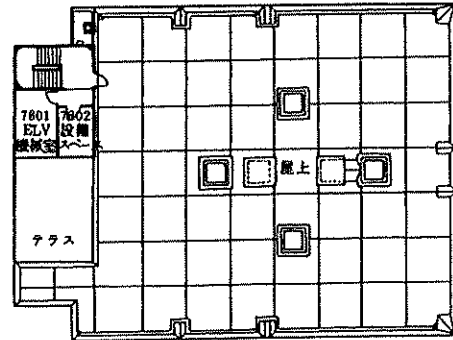
○7号館 6階



○7号館 7階

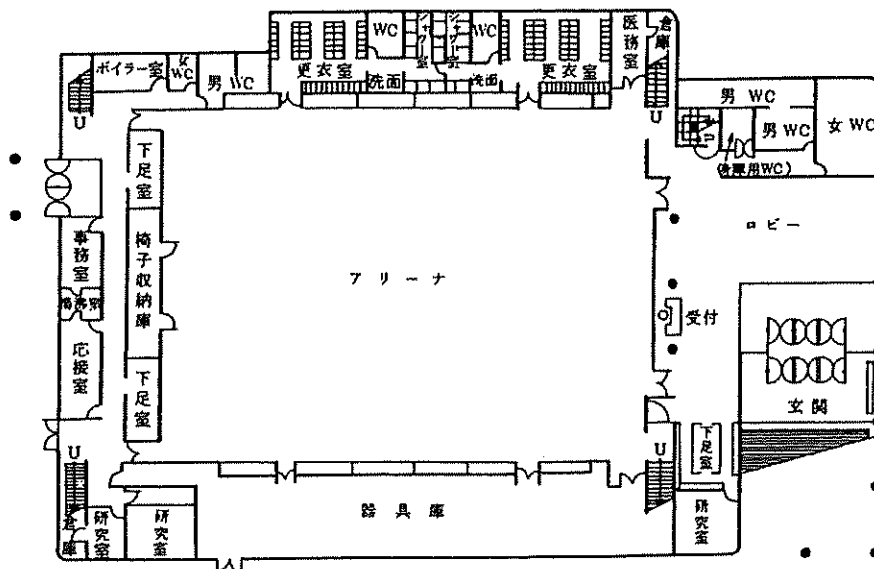


○7号館 8階

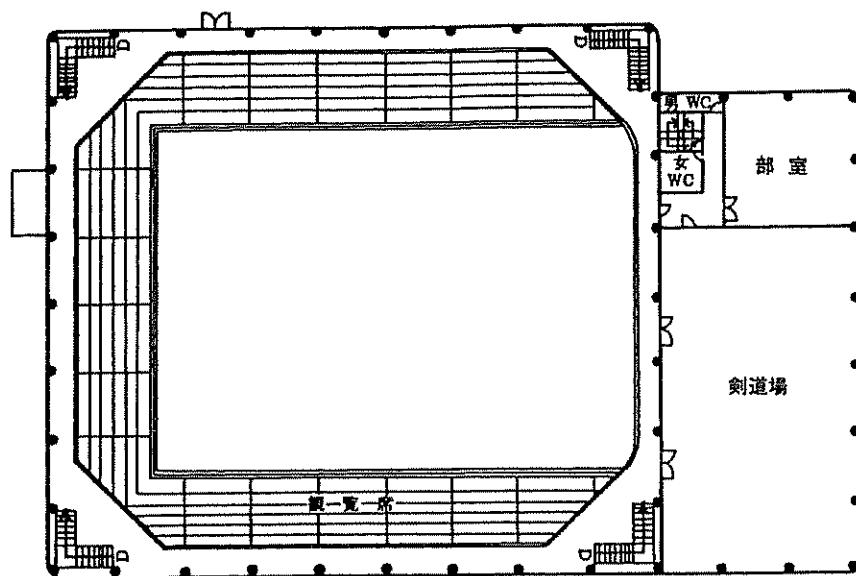


体育館 (1/600 縮図)

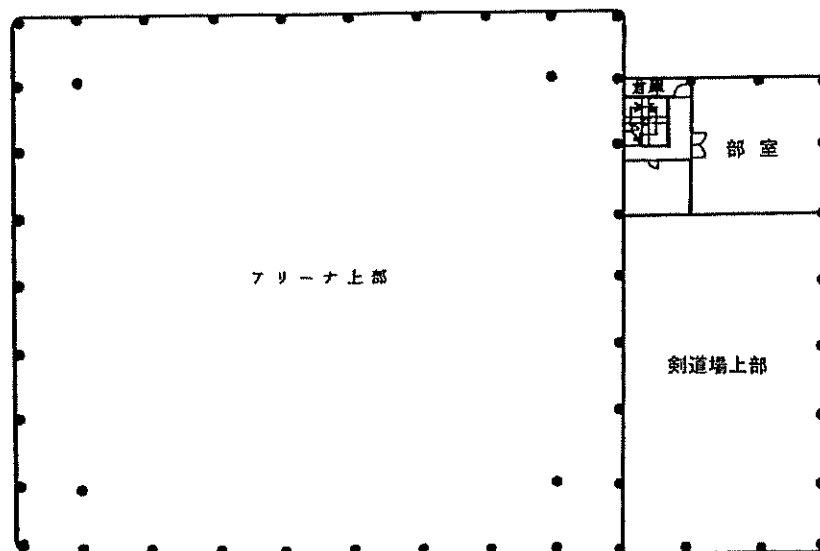
○8号館 3階



○8号館 4階

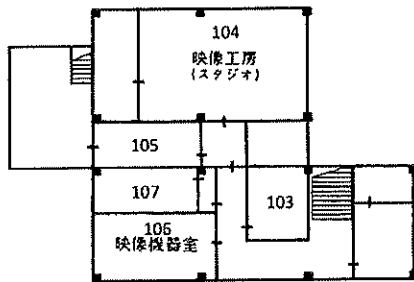


○8号館 5階

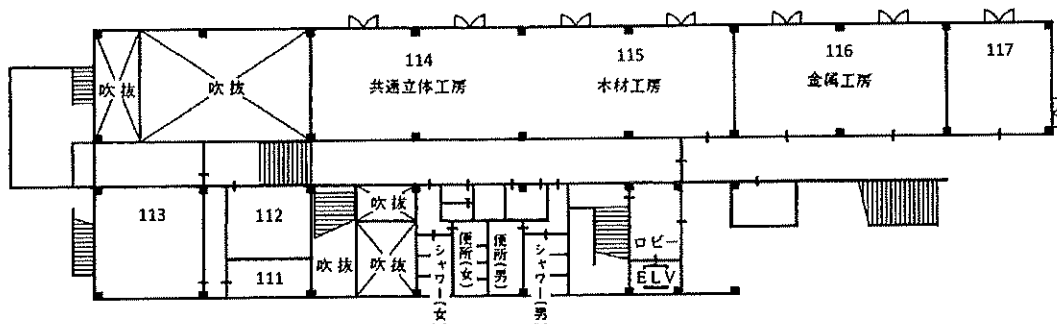


デザイン実習棟

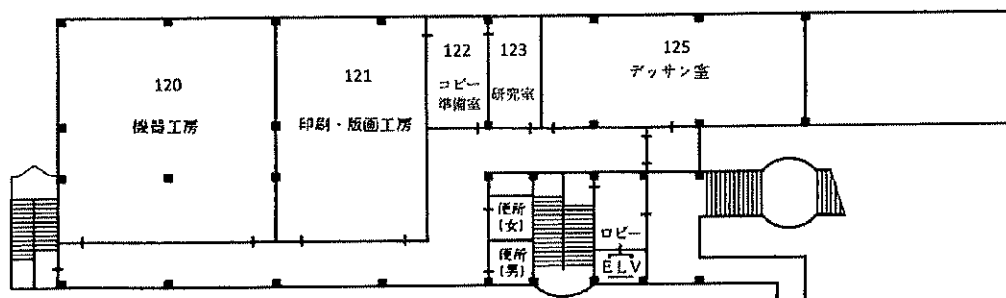
○10号館 地階



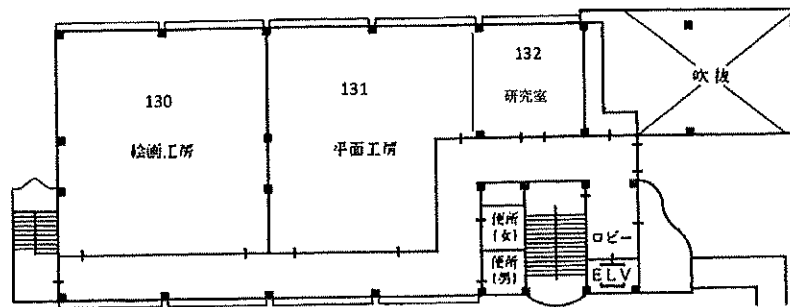
○10号館 1階



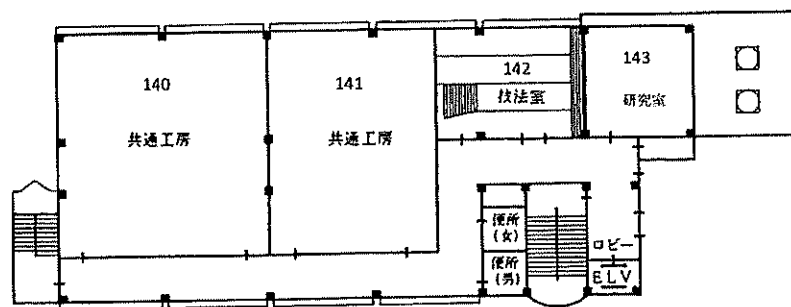
○10号館 2階



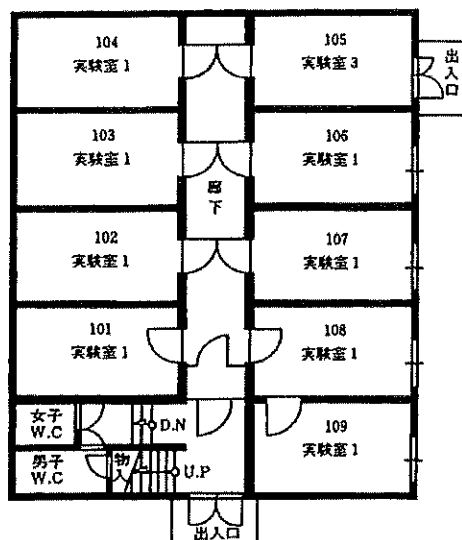
○10号館 3階



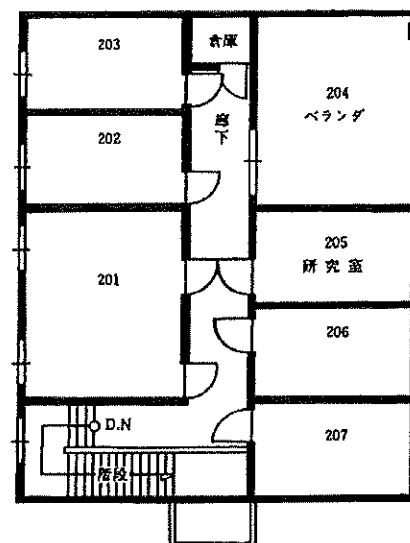
○10号館 4階



○11号館 1階

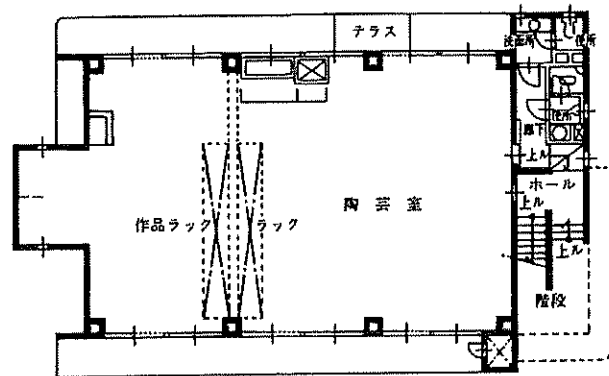


○11号館 2階

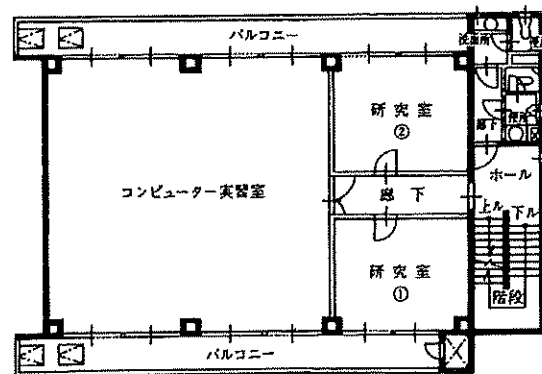


12号館 実習棟

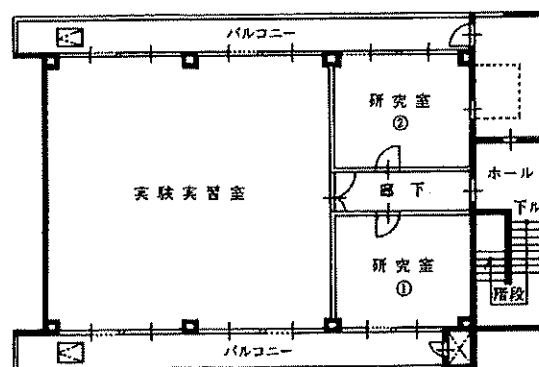
○12号館 1階



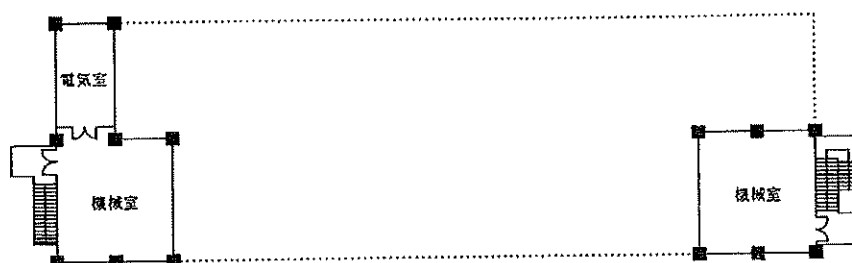
○12号館 2階



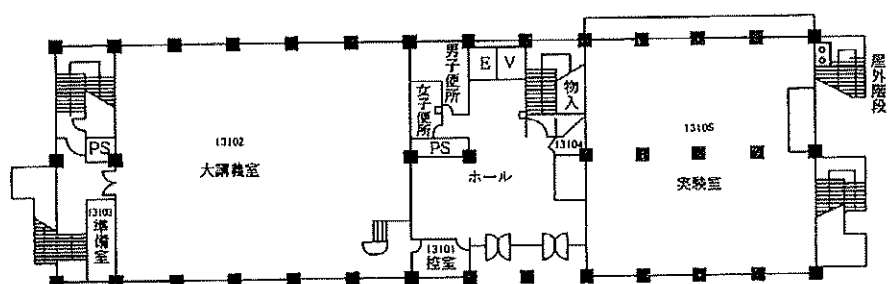
○12号館 3階



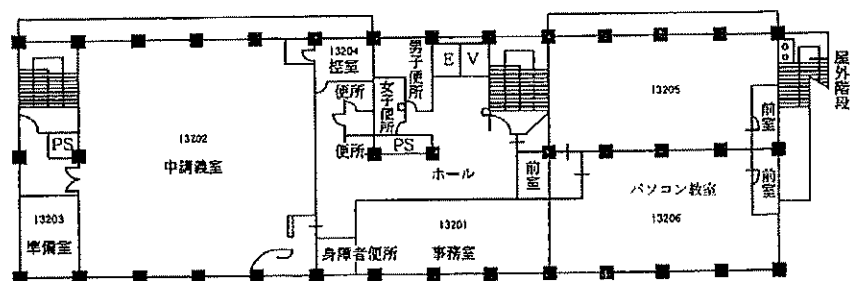
○13号館 地階 (1/400縮図)



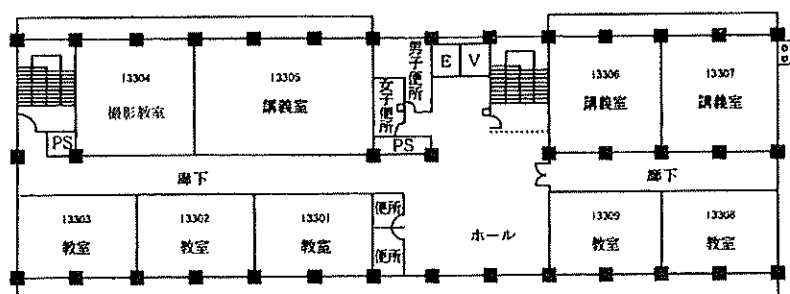
○13号館 1階 (1/400縮図)



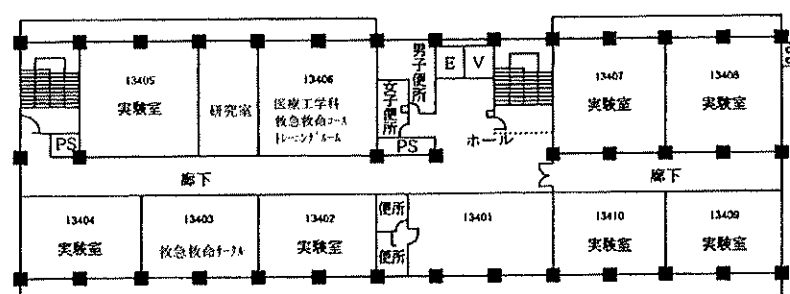
○13号館 2階 (1/400縮図)



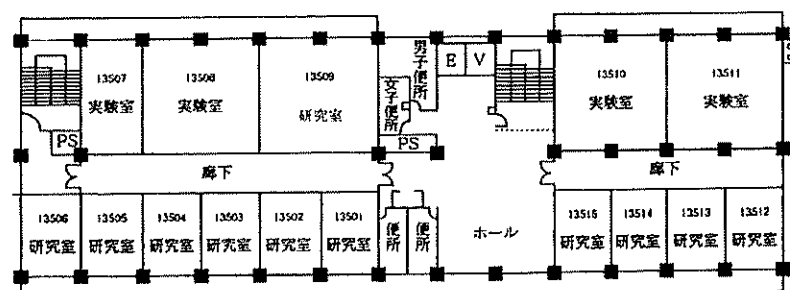
○13号館 3階 (1/400縮図)



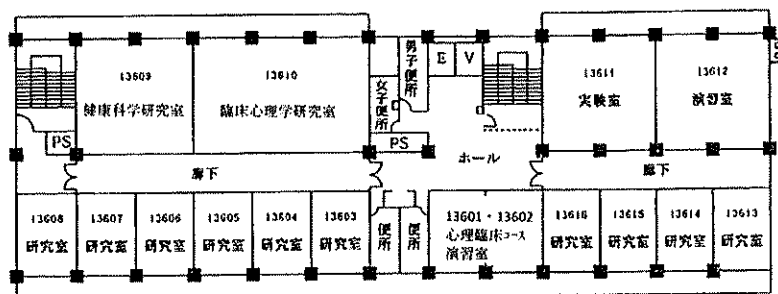
○13号館 4階 (1/400縮図)



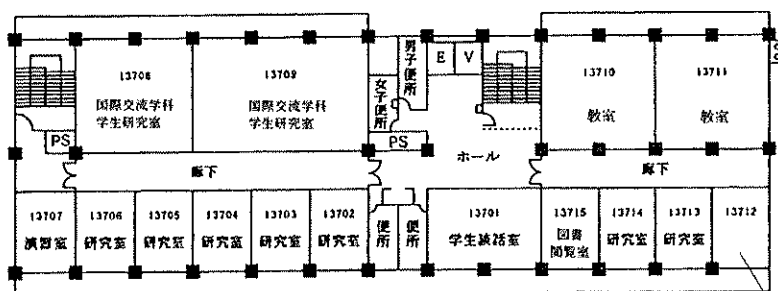
○13号館 5階 (1/400縮図)



○13号館 6階 (1/400縮図)

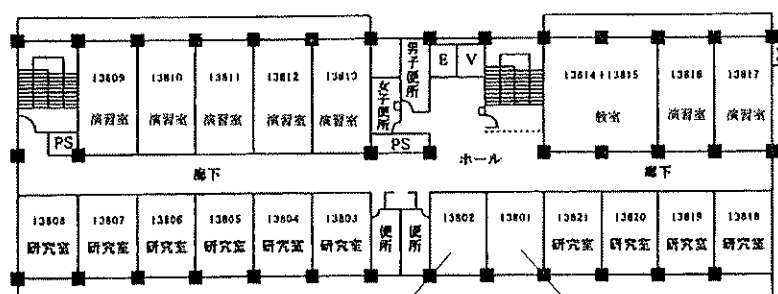


○13号館 7階 (1/400縮図)

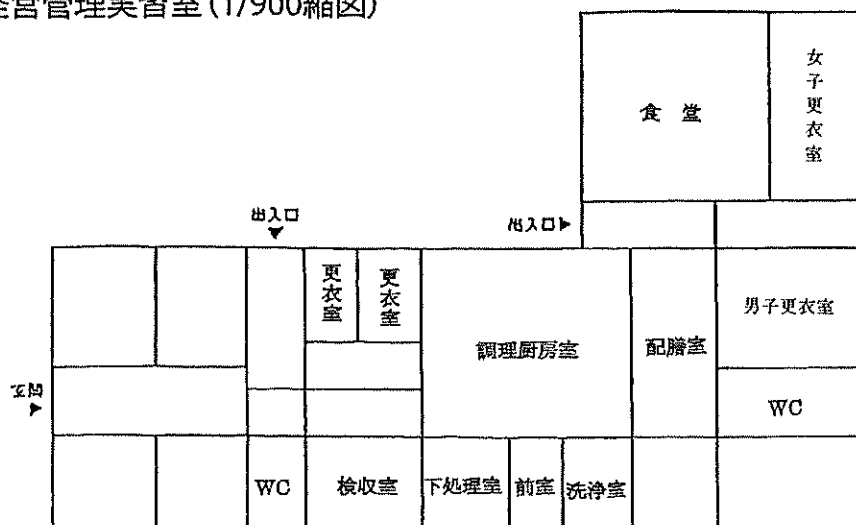


東アジア文化圏
形成プロジェクト外室

○13号館 8階 (1/400縮図)

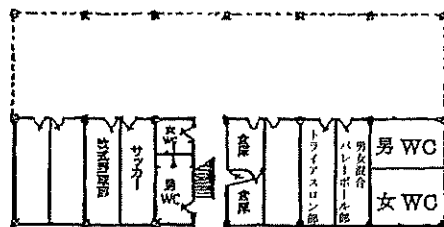


一の宮実習施設(健康栄養学科)
給食経営管理実習室(1/900縮図)

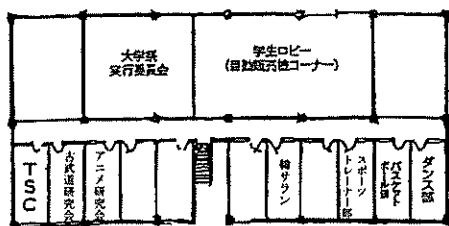


4号館 クラブ棟

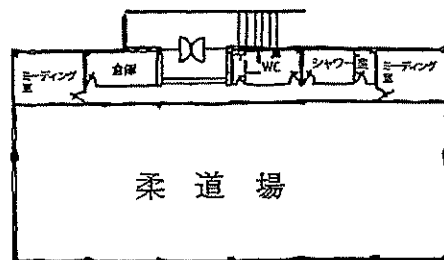
○4号館 1階



○4号館 2階



○4号館 3階



東 亜 大 学 学 則 (案)

第 1 章 総則

(目的)

第 1 条 東亜大学（以下「本学」という。）は、教育基本法に則り、学校教育法の定めるところに従って、未来社会の要請に応え得る教育の環境を常に大学内に求め、人間教育並びに高度の専門職業技術教育とその研究とを実施し、もって福祉国家の創造に積極的に参加し、更に広く世界観に立脚して他民族の繁栄にも寄与し得る、独創的な頭脳・奉仕の精神・健全な身体を兼ね備えた人材を養成することを目的とする。

(自己点検・評価)

第 1 条の 2 本学は、教育研究水準の向上を図るとともに、大学の目的及び社会的責任を達成するため、教育研究活動等の状況について、自己点検及び評価を行い、その結果を公表する。

2 前項の点検及び評価並びにその結果の公表に関し必要な事項は、別に定める。

(学部、学科及び学生定員)

第 2 条 本学に次の学部、学科及び専攻等を置き、その学生定員を次のとおりとする。

学 部 ・ 学 科		入学定員	収容定員
医療学部	医療工学科	45 人	180 人
	(医療福祉コース) *1	(40 人)	(160 人)
	健康栄養学科	25 人	100 人
	(管理栄養士専攻) *2	(25 人)	(100 人)
人間科学部	心理臨床・子ども学科	45 人	180 人
	(児童教育専攻) *3	(30 人)	(120 人)
	国際交流学科	40 人	160 人
	スポーツ健康学科	95 人	380 人
	(保健体育専攻) *4	(50 人)	(200 人)
	(柔道整復コース) *5	(30 人)	(120 人)
芸術学部	アート・デザイン学科	30 人	120 人
	トータルビューティ学科	20 人	80 人
	(美容師専攻) *6	(20 人)	(80 人)

*1 医療福祉コースの定員は、医療工学科の定員の内数である。

*2 管理栄養士専攻の定員は、健康栄養学科の定員の内数である。

*3 児童教育専攻の定員は、心理臨床・子ども学科の定員の内数である。

*4 保健体育専攻の定員は、スポーツ健康学科の定員の内数である。

*5 柔道整復コースの定員は、スポーツ健康学科の定員の内数である。

*6 美容師専攻の定員は、トータルビューティ学科の定員の内数である。

(学部、学科の教育研究上の目的)

第2条の2 本学の学部、学科の教育研究上の目的は、次項以下のとおりとする。

1 医療学部は、保健・医療・福祉の専門的知識及び技術並びに豊かな人間性を養い、広く社会で活躍できる人材を育成することを目的とする。

(1) 医療工学科は、保健・医療・福祉の分野において、他の医療人などと協同して活動することができる、実践的応用力を備えた人材を養成することを目的とする。

(2) 健康栄養学科は、食生活における栄養を的確に評価し、適切かつ高度な指導ができる、実践的応用力を備えた人材を養成することを目的とする。

2 人間科学部は、人間の心と体について理解し、さらに、人間の営為である文化や社会を理解する能力を養い、他者を思いやりながらよりよく生きるための実践力を備えた人材を養成することを目的とする。

(1) 心理臨床・子ども学科は、心理学、教育学、保育学を中心として人間の心理社会的、身体的発達過程を科学的に理解し、広く教育と人間理解に関わる知識を備えた人材を養成する。

(2) 国際交流学科は、歴史、文化、社会に関する専門的な知識、実践的なビジネスの知識、語学力やコミュニケーション能力、地域が抱える課題解決のための実践的なスキルを身につけ、グローバルな視野を持ちつつ社会貢献や地域発展に寄与する人材を養成する。

(3) スポーツ健康学科は、幅広い知識と教養を身につけ、学校や社会において体育・スポーツ振興、健康及び体力増進の分野で貢献できる人材を養成する。また、同分野において、人体のしくみやスポーツ科学の高い専門性を有し、スポーツや運動を行う人の障害の予防とケア、適切な手当のできるスポーツのトレーナーとして、貢献できる人材を養成する。

3 芸術学部は、豊かな感性及び幅広い知識を持ち、社会において様々な分野に対応できる、創造力と技術力を備えた人材を養成することを目的とする。

(1) アート・デザイン学科は、人間教育を軸とし、もの作りを体験する中で、理性と感性の統合の観点から社会に貢献できる人材を養成する。

(2) トータルビューティ学科は、幅広い教養と芸術の知識を持ち、社会の変化に対応できる、理容美容等の専門的技術を身につけた人材の養成を目的とする。

(教育内容等の改善のための組織的な研修等)

第2条の3 本学は、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする。

2 前項の教育内容等の改善のための組織的な研修等に関し必要な事項は、別に定める。

(大学院)

第3条 本学に大学院を置き、次の研究科及び課程を設ける。

総合学術研究科 博士前期課程・博士後期課程

総合学術研究科 修士課程（通信教育課程）

2 大学院に関する学則は、別に定める。

第2章 修業年限、学年、学期及び休日

(修業年限及び在学年数)

第4条 本学の修業年限は4年とし、学生の在学年数は8年を限度とする。

ただし、休学の期間は在学年数に加算しない。

(学年及び学期)

第5条 学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

2 学年を次の2期に分ける。

前期 4月1日から9月30日まで

後期 10月1日から翌年3月31日まで

(休日)

第6条 次に掲げる日は授業を行わない。

日曜日・国民の祝日に関する法律に規定する休日

開学記念日(11月14日)

2 次の期間は授業を休止する。

春季 4月1日から4月7日まで

夏季 8月1日から9月30日まで

冬季 12月25日から翌年1月7日まで

3 前項の規定にかかわらず必要に応じて休日又は休業の期間を変更し、又は臨時の休日を定めることができる。

第3章 履修、試験、成績評価、卒業及び学位

(卒業の要件・履修)

第7条 本学を卒業するために修得すべき授業科目および単位数は次のとおりである。

共通教育科目22単位以上と専門教育科目80単位以上を含む総単位数124単位以上を修得すること。

2 本学は、1年間に履修科目として登録することができる単位数の上限を48単位とする。

3 前二項のほか、卒業の要件・履修に必要な事項は各学部履修細則の定めるところによる。

(単位計算方法)

第8条 各授業科目の単位数を定めるに当たっては、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果および授業時間外の学修等を考慮して、次の基準により計算するものとする。

(1) 15時間から45時間までの範囲の授業をもって1単位とする。

(2) 芸術の分野における個人指導による実技については、各学部が定める時間の授業をもって1単位とすることができる。

(3) 資格又は免許の取得にかかわる科目については、法令の規定にもとづいて1単位に必要な授業時間を別に定める。

2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認める場合には、これらに必要な学修等を考慮して単位数を定める。

(入学者の既修得単位の取扱)

第9条 大学又は短期大学（外国の大学・短期大学を含む。）を卒業又は中途退学し、新たに本学の第1年次に入学した学生の既修得単位を教育上有益と認めるときは、本学において修得したものとして認定することができる。

ただし、修業年限を短縮することはできない。

2 前項の規定により単位を認定する場合は、教授会の議に基づき、30単位を限度として行うものとする。

(他の大学又は短期大学における授業科目の履修等)

第10条 教育上有益と認めるときは、他の大学又は短期大学との協議に基づき、学生に当該他の大学又は短期大学の授業科目を履修させることができる。

2 前項の規定により履修した授業科目について修得した単位は、教授会の議に基づき、30単位を限度として卒業の要件となる単位として認めることができる。

3 前2項の規定は、外国の大学又は短期大学へ留学する場合に準用する。

(教育課程)

第11条 本学の共通教育課程は別表1のとおりとする。

2 本学の各学部・学科ごとの専門教育課程は、別表2から8のとおりとする。

(成績評価)

第12条 単位を修得した科目の成績は、S・A・B・Cをもって評価する。

(卒業及び学位)

第13条 本学に4年以上在学し、第7条に定められた科目につき定められた単位を修得した者には卒業証書を授与し、次の区分により学士の学位を授与する。

医療学部医療工学科を卒業した者	学士(医療工学)
医療学部健康栄養学科を卒業した者	学士(医療栄養学)
人間科学部心理臨床・子ども学科を卒業した者	学士(人間科学)
人間科学部国際交流学科を卒業した者	学士(人間科学)
人間科学部スポーツ健康学科を卒業した者	学士(人間科学)
芸術学部アート・デザイン学科を卒業した者	学士(芸術)
芸術学部トータルビューティ学科を卒業した者	学士(芸術)

(教員免許状及び指定養成施設の資格)

第14条 教員免許状の取得を希望する学生は、別表「教職課程」に掲げる授業科目の内から、教育職員免許法および同法施行規則に定める授業科目および単位数を修得しなければならない。

2 取得することのできる免許状は、次のとおりである。

課程の名称	免許状の種類	免許教科
1 正規の課程		

人間科学部 心理臨床・子ども学科 児童教育専攻	小学校教諭 1 種免許状 幼稚園教諭 1 種免許状	
スポーツ健康学科 保健体育専攻	中学校教諭 1 種免許状 高等学校教諭 1 種免許状	保健体育 保健体育
芸術学部 アート・デザイン学科	中学校教諭 1 種免許状 高等学校教諭 1 種免許状	美術 美術・工芸

- 3 医療学部医療工学科医療福祉コース（入学定員 40 名）に所属し、別に定める所定の要件を満たし卒業した者は、介護福祉士の国家試験受験資格を得ることができる。また、別に定める所定の要件を満たし卒業した者は、社会福祉士の国家試験受験資格を得ることができる。
- 4 人間科学部心理臨床・子ども学科（入学定員 40 名）に所属し、別に定める所定の要件を満たし卒業した者は、指定保育士養成施設卒業証明書を受けることができる。
- 5 人間科学部スポーツ健康学科柔道整復コース（入学定員 30 名）に所属し卒業した者は、柔道整復師の国家試験受験資格を得ることができる。
- 6 医療学部健康栄養学科管理栄養士専攻（入学定員 30 名）に所属し、別に定める所定の要件を満たし卒業した者は、栄養士の免許状を受ける資格を有する。また別に定める所定の要件を満たし卒業した者は、管理栄養士の国家試験受験資格を得ることができる。
- 7 芸術学部トータルビューティ学科美容師専攻（入学定員 20 名）に所属し、別に定める所定の要件を満たし卒業した者は、美容師の国家試験受験資格を得ることができる。

第 4 章 入学、休学、復学、退学及び除籍

（入学の時期）

第 15 条 入学の時期は学年の始めとする。ただし、秋季入学については、後期の始めとする。

（入学資格）

第 16 条 本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 高等学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）
- (3) 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規定による大学入学資格検定に合格した者を含む）
- (7) 文部科学省が大学入学資格を認めた専修学校高等課程を修了した者
- (8) その他相当の年令に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学が認めた者

（入学の許可）

第17条 入学志願者に対して、選抜試験を行い、その合格者に入学を許可する。

（保証人）

第18条 学生は入学の際、保証人を定めて届け出なければならない。保証人を変更した場合も同様とする。

（休学、及び復学）

第19条 学生は疾病その他正当な事由により2ヶ月以上修学することができないときは医師の診断書・事由書を添え保証人連署で願い出て、許可を得て休学することができる。

2 休学期間は通算3年を超えることはできない。ただし兵役等母国の国民としての義務に服する期間はこれに算入しない。

3 休学期間内にその事由が消滅したときは、その旨を保証人連署で願い出て、許可を受けて復学することができる。

（再入学）

第19条の2 本学を退学した者が、退学後2年以内に同一の学部、学科に再入学を願い出たときは選考の上、許可することがある。なお、学費未納による除籍者の再入学（除籍後2年以内）についても選考の上、認めることがある。

（転学）

第20条 学生その他大学への転学は、正当な事由がある場合を除きこれを認めない。

（編入学）

第21条 次の各号の一に該当する者については、選考のうえ教授会の意見を聴いて、年次の初めに限り、学長が相当年次への入学を許可することができる。

(1) 大学を卒業又は退学した者

(2) 短期大学又は高等専門学校を卒業した者

(3) 学校教育法施行規則附則第7条に定める従前の規定による学校の課程を終了し、又はこれらの学校を卒業した者

（退学）

第22条 学生が退学しようとするときは、その事由を述べた願書を保証人連署で提出し、許可を受けなければならない。

（除籍）

第23条 次の各号の1に該当する場合は除籍する。

- (1) 第4条に定める在学年限を超えた者
- (2) 第19条第2項に定める休学の期間を超えてなお復学できない者
- (3) 授業料の納付を怠り、督促してもなお納付しない者
- (4) 死亡した者又は長期間にわたり行方不明の者
- (5) 外国籍の学生について在留資格を失効した者

第5章 賞罰

(表彰)

第24条 優秀な学業成績又は模範となる行為のあった学生に対しては表彰する。

(懲戒)

第25条 本学の規則に違反し、又は学生としての本分に反する行為をした者は教授会の意見を聴いて、学長が懲戒する。

2 前項の懲戒の種類は、退学、停学及び譴責とする。

3 前項の退学は次の各号の一に該当する学生に対して行う。

- (1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
- (2) 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
- (3) 正当な理由がなく出席常でない者
- (4) 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

第6章 研究生、科目等履修生及び委託生

(研究生)

第26条 研究生は本学教員の指導を受け、所定の学科に関連した学術を研究するものとする。

2 研究生として入学を志願できる者は次のとおりとする。

- (1) 本学又は他の大学を卒業した者
- (2) 本学卒業程度の学力があると認められた者

(研究生として入学を志願する者)

第27条 研究生として入学を志願する者は、入学願書、履歴書及び検定料を添えて願出しなければならない。ただし、本学卒業生については検定料を必要としない。

(科目等履修生)

第28条 特定の科目につき履修を願出た者は、選考のうえ科目等履修生として許可する。

2 科目等履修生の入学時期は、学期の始めとする。

3 科目等履修生を志願する者が就職中の者であるときは、勤務先の所属長の許可書を提出しなければならない。

(委託生)

第29条 他の団体から履修する科目を定めて委託生を願出た場合は、選考のうえ許可する。

(細則)

第30条 研究生、科目等履修生及び委託生の細則は別に定める。

第7章 入学検定料、入学金、授業料及び諸納付金

(入学検定料及び入学金)

第31条 入学志願者は入学検定料を、入学者は入学金を納付しなければならない。

(授業料及び諸納付金)

第32条 授業料及び諸納付金は、所定の期日までに納付しなければならない。

前期分 3月20日まで

後期分 9月20日まで

(休学者の授業料)

第33条 休学したときは、休学願提出確認月の翌月から復学した月の前月までの間の授業料を、月額計算により免除する。ただし、前条に定める所定の期日までに授業料及び諸納付金を納付した者に限る。

(退学、除籍の者の授業料)

第34条 退学、除籍の者は、退学、除籍の期日の属する期の授業料及び諸納付金を納付しなければならない。

(既納の諸納付金等)

第35条 既納の検定料、入学金、授業料及び諸納付金はいかなる理由があっても還付しない。ただし、第33条該当の休学者を除く。

(諸納付金等の金額)

第36条 本学の入学検定料、入学金、授業料及び諸納付金の額は次のとおりとする。

(1) 入学検定料

(単位:円)

学校推薦型選抜 (指定校)	学校推薦型選抜 (公募制)	一般選抜	大学入学共通 テスト利用入試	総合型選抜
5,000	20,000	20,000	10,000	20,000

(2) 入学金、授業料及び諸納付金

(単位:円)

学部・学科		入学金	授業料 (年間)	施設費 (年間)	実験実習費 (年間)
医療学部	医療工学科	240,000	780,000	420,000	100,000
	〃 (医療福祉コース)	240,000	620,000	160,000	140,000
	健康栄養学科	240,000	680,000	250,000	100,000

人間科学部	心理臨床・子ども学科	240,000	620,000	200,000	60,000
	国際交流学科	240,000	600,000	140,000	50,000
	スポーツ健康学科	240,000	660,000	270,000	60,000
	〃（柔道整復コース）	240,000	780,000	420,000	100,000
芸術学部	アート・デザイン学科	240,000	840,000	240,000	140,000
	トータルビューティ学科	240,000	620,000	160,000	140,000

2 前項の規定による金額は経済事情を勘案し、理事会が決定する。

3 留年者は入学年次の諸納付金等を納付する。

第8章 外国人留学生

（外国人留学生の入学許可）

第37条 外国人で本学に入学を志願する者がある時は、選考の上、入学を許可することがある。ただし出入国管理及び難民認定法に定める在留資格「留学」を得た者に限る。

2 前項の規定により入学を許可された者のうち、学部学生については、第2条に規定する収容定員の定員内とする。

3 外国人留学生については、本学則の規定を準用し、その他、留学生規約を別に定める。

（留学生別科）

第38条 本学に留学生別科を置き、その学生定員を次のとおりとする。

所 属	入学定員	収容定員
留学生別科	200人	400人

2 留学生別科の規定については、別にこれを定める。

第9章 奨学制度

第39条 第1条の目的を達成するため、選考の上奨学金を支給または貸与する奨学制度を設ける。

第40条 奨学制度に関する必要な事項は、別にこれを定める

第10章 教職員組織

（学長等）

第41条 本学に学長、学部長、研究科長、図書館長、教学部長、広報部長、就職部長、学生部長、事務局長を置く。

2 本学に副学長を置くことができる。

（学長等の職掌）

第42条 学長は大学を統轄しこれを代表する。

- 2 副学長は学長を助け、学長の命を受けて校務をつかさどる。
- 3 学部長は、当該学部に関する事項を統轄し、所部の職員の服務につきこれを総督する。
- 4 研究科長は、当該大学院に関する事項を統轄し、所部の職員の服務につきこれを総督する。
- 5 教学部長は学長を助け、所管事項を統轄する。
- 6 図書館長は学長を助け、図書館を統轄する。
- 7 広報部長は学長を助け、所管事項を統轄する。
- 8 就職部長は学長を助け、所管事項を統轄する。
- 9 学生部長は学長を助け、所管事項を統轄する。
- 10 事務局長は所管事項を統轄し、所部の職員の服務につきこれを総督する。
(教授等)

第43条 本学に教授、准教授、講師を置く。

- 2 教授は、専攻分野について、教育上、研究上又は実務上の特に優れた知識、能力及び実績を有する者であつて、学生を教授し、その研究を指導し、又は研究に従事する。
 - 3 准教授は、専攻分野について、教育上、研究上又は実務上の特に優れた知識、能力及び実績を有する者であつて、学生を教授し、その研究を指導し、又は研究に従事する。
 - 4 講師は、教授又は准教授に準ずる職務に従事する。
- 第44条 本学に事務職員、研究技術員を置く。
- 2 その他必要に応じて雇員を置くことができる。

第11章 教授会

(組織)

第45条 本学に教授会を置き、専任の教授をもってこれを組織する。

(議長)

第46条 学部長は教授会を招集してその議長となる。

(定例教授会)

第47条 定例教授会は毎月1回する。ただし、臨時教授会は学部長が必要と認めたとき、又は教授会員の3分の1以上の請求があつたときこれを招集する。

(教授会の審議事項)

第48条 教授会は学長が次にあげる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

(1) 入学、卒業及び課程の修了

(2) 学位の授与

(3) 前二号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの

2 教授会は、前項に規定するもののほか、学長及び学部長（学長等という）がつかさどる教育研究に関する事項において審議し、及び学長等の求めに応じ、意見

を述べることができる。

(議決)

第49条 会議は教授会員の過半数の出席によって成立し、その議決は出席会員の過半数によってこれを定める。ただし、可否同数のときは議長のきめるところによる。

(教授会員以外の出席)

第50条 議長は必要と認めるときは、教授会員以外の者の出席を求めることができる。

(教授及び准教授、その他の教職員の新任、昇格及び退任、名誉教授の称号)

第51条 教授及び准教授、その他の教職員の新任、昇格及び退任については理事会で決める。

2 本学において、教育上又は学術上特に功績のあった者に対し、名誉教授の称号を授与することができる。なお、授与について必要な事項は、別に定める。

(細則)

第52条 教授会の細則については別にこれを定める。

第12章 図書館

(設置)

第53条 本学に附属図書館を設ける。

2 図書館は図書・文献及び研究資料を蒐集管理し、教職員及び学生の研究閲覧に供する。

(図書館の規定)

第54条 図書館に関する規程は別に定める。

第13章 学則の変更

(学則の変更)

第55条 本学則の変更については学長の意見に基づいて理事会が決める。

(細則)

第56条 本学則の細則は学長の意見に基づいて理事会が決める。

附 則

1 この学則は、令和8年4月1日から施行する。

2 学則第2条の規定にかかわらず、令和7年度以前の学部学科名称及び学生定員は従前のとおりとする。

3 学則第12条の規定にかかわらず、令和7年度以前の在學生は従前のとおりとする。

4 学則第36条の規定にかかわらず、令和7年度以前の在學生は従前のとおりとする。

変更事項を記載した書類（変更の事由及び変更点を簡潔にまとめたもの）

（１）変更の事由

- ①医療学部健康栄養学科、芸術学部アート・デザイン学科及びトータルビューティ学科の収容定員の見直しを行い、医療学部健康栄養学科の入学定員を５人減、芸術学部アート・デザイン学科の入学定員を２０人減及びトータルビューティ学科の入学定員を５人減する事で、収容定員充足率の向上を図りたい。
- ②上記の定員変更分の３０人のうち、収容定員を超過している又は教育プログラム充実及び学生募集状況の手ごたえから人間科学部スポーツ健康学科に１５人、国際交流学科に１０人及び心理臨床・子ども学科に５人を定員振替する。

改正の要点は以下の通り。

改正条項	改 正 の 要 点
第２条	医療学部 健康栄養学科３０人（入学定員）を２５人（収容定員１２０人→１００人）とする。 人間科学部心理臨床・子ども学科４０人（入学定員）を４５人（収容定員１６０人→１８０人）とし、国際交流学科３０人（入学定員）を４０人（収容定員１２０人→１６０人）とし、スポーツ健康学科８０人（入学定員）を９５人（収容定員３２０人→３８０人）とする。 芸術学部アート・デザイン学科５０人（入学定員）を３０人（収容定員２００人→１２０人）とし、トータルビューティ学科２５人（入学定員）を２０人（収容定員１００人→８０人）とする。

（２）変更の時期

令和８年４月１日

（３）新旧対照表学則

次項を参照

別表1 共通教育課程

共通教育科目(その1)

学科目等		授業科目	単位数		授 業 時 間 数								備 考			
			必修	選択	1年次		2年次		3年次		4年次					
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
導入科目		大学基礎	2		2											
教養科目	人間と文化	ことばと文化Ⅰ		2	2											2科目4単位以上修得のこと 隔年開講 隔年開講
		ことばと文化Ⅱ		2		2										
		ことばと文化Ⅲ		2	2											
		地理・歴史Ⅰ		2	2											
		地理・歴史Ⅱ		2	2											
		地理・歴史Ⅲ		2	2											
		倫理学Ⅰ		2	2											
		倫理学Ⅱ		2		2										
		哲学Ⅰ		2	2											
		哲学Ⅱ		2		2										
		文学Ⅰ		2	2											
		文学Ⅱ		2		2										
		文化・芸術Ⅰ		2	2											
		文化・芸術Ⅱ		2		2										
		心理学Ⅰ		2	2											
		心理学Ⅱ		2		2										
		体育実技Ⅰ		1	2											
		体育実技Ⅱ		1		2										
		基礎教養(文化)		2	2											
		日本の文化Ⅰ		2	2										留学生のみ履修可	
		日本の文化Ⅱ		2		2										
	法学Ⅰ		2	2										2科目4単位以上修得のこと		
	法学Ⅱ		2		2											
	経済学Ⅰ		2		2											
	経済学Ⅱ		2	2												
	社会学Ⅰ		2	2												
	社会学Ⅱ		2		2											
	経営学Ⅰ		2	2												
	経営学Ⅱ		2		2											
	国際関係論Ⅰ		2	2												
	国際関係論Ⅱ		2		2											
	人間・社会・大学Ⅰ		2		2											
	人間・社会・大学Ⅱ		2		2											
	インターンシップ		2				2									
	アジア共同体論		2		2											
	基礎教養(社会)		2	2											留学生のみ履修可	
	日本の社会Ⅰ		2	2												
	日本の社会Ⅱ		2		2											
	人間と科学	数学Ⅰ		2	2										2科目4単位以上修得のこと 隔年開講 隔年開講	
		数学Ⅱ		2		2										
		物理学Ⅰ		2	2											
		物理学Ⅱ		2		2										
		情報Ⅰ		2	2											
		情報Ⅱ		2		2										
		化学Ⅰ		2	2											
		化学Ⅱ		2		2										
		生物学Ⅰ		2	2											
		生物学Ⅱ		2		2										
		科学技術史Ⅰ		2	2											
		科学技術史Ⅱ		2		2										
		環境科学Ⅰ		2		2										
		環境科学Ⅱ		2	2											

共通教育科目(その2)

学科目等	授業科目	単位数		授 業 時 間 数								備 考
		必修	選択	1年次		2年次		3年次		4年次		
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
外国語科目	英語Ⅰ		2	4								4単位以上修得のこと
	英語Ⅱ		2		4							
	ドイツ語Ⅰ		2	4								
	ドイツ語Ⅱ		2		4							
	フランス語Ⅰ		2	4								
	フランス語Ⅱ		2		4							
	スペイン語Ⅰ		2	4								
	スペイン語Ⅱ		2		4							
	中国語Ⅰ		2	4								
	中国語Ⅱ		2		4							
	韓国語Ⅰ		2	4								
	韓国語Ⅱ		2		4							
	日本語A		1	2								留学生のみ履修可
	日本語A		1		2							
	日本語B		1	2								
	日本語B		1		2							
	日本語C		1	2								
	日本語C		1		2							
	日本語D		1	2								
	日本語D		1		2							
	日本語E		1	2								
	日本語E		1		2							
	日本語F		1	2								
	日本語F		1		2							
	日本語G		1	2								
	日本語G		1		2							
	日本語H		1	2								
	日本語H		1		2							
	日本語I		1	2								
	日本語I		1		2							
	日本語基礎A		1	2								
	日本語基礎A		1		2							
	日本語基礎B		1	2								
	日本語基礎B		1		2							
	日本語基礎C		1	2								
	日本語基礎C		1		2							
	日本語基礎D		1	2								
	日本語基礎D		1		2							
	日本語基礎E		1	2								
	日本語基礎E		1		2							
	日本語実践A		1	2								
	日本語実践A		1		2							
	日本語実践B		1	2								
	日本語実践B		1		2							
	日本語実践C		1	2								
	日本語実践C		1		2							

共通教育科目(その3)

共通教育科目(その他)												
学科目等	授業科目	単位数		授 業 時 間 数								備 考
		必修	選択	1年次		2年次		3年次		4年次		
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
外国語科目	日本語実践D		1	2								留学生のみ履修可
	日本語実践D		1		2							
	日本語応用A		1	2								
	日本語応用A		1		2							
	日本語応用B		1	2								
	日本語応用B		1		2							
	日本語応用C		1	2								
	日本語応用C		1		2							
	日本語発展A		1	2								
	日本語発展A		1		2							
	日本語発展B		1	2								
	日本語発展B		1		2							
	日本語発展C		1	2								
	日本語発展C		1		2							
	日本語作文		1	2								
	日本語作文		1		2							
	日本語読解		1	2								
	日本語読解		1		2							
	日本語アカデミックライティング		1	2								
	日本語アカデミックライティング		1		2							
	日本語総合ⅠA		1	2								
	日本語総合ⅠB		1	2								
	日本語総合ⅡA		1		2							
	日本語総合ⅡB		1		2							
	アカデミック・ジャパニーズA		1			2						
	アカデミック・ジャパニーズA						2					
	アカデミック・ジャパニーズB					2						
	アカデミック・ジャパニーズB		1				2					
キャリア科目	キャリア能力基礎	2		2								留学生のみ履修可
	数学教養基礎Ⅰ		2			2						
	数学教養基礎Ⅱ		2				2					
	社会教養基礎Ⅰ		2			2						
	社会教養基礎Ⅱ		2				2					
	キャリアプラン実践講座		2					2				
	キャリアプランレベルアップ講座		2						2			
	キャリアの日本語Ⅰ		1	2								
	キャリアの日本語Ⅱ		1		2							
学外履修科目	学外履修科目1		1									
	学外履修科目2		1									
	学外履修科目3		1									
	学外履修科目4		1									
	学外履修科目5		1									
	学外履修科目6		1									
	学外履修科目7		1									
	学外履修科目8		1									
	学外履修科目9		1									
	学外履修科目10		1									
人間教育科目	地域社会と個人の役割			○	○	○	○	○	○	○	○	単位数については別に定める
	心とからだの体験実習			○	○	○	○	○	○	○	○	

別表2-1 医療学部医療工学科 臨床工学コース
専門教育科目

学科目等		授業科目	単位数			授業時間数								資格のために必要な科目 臨床工学技士	備考	
			必修	選択	開 自 己	1年次		2年次		3年次		4年次				
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
専門基礎科目	共通基礎	基礎数学			2	2										
		基礎物理学			2	2										
		基礎化学			2	2										
		基礎生物学			2	2										
		基礎科学(栄養基礎科学)			2	2										
		基礎栄養学			2		2									
		情報リテラシ	2			4										
		数学A	2				2							○		
		数学B		2				2						○		
		数学C		2			2							○		
		力学		2		2								○		
		振動と波動			2		2									
		電磁気学		2				2						○		
		化学	2				2							○		
		生物学		2			2									
		生化学Ⅰ	2				2							○		
	科学基礎実験		1			6										
	コミュニケーション論		2					2								
	ゲノム科学		2					2								
	生命倫理学		2					2								
	人体の構造 及び機能	人体の構造と機能Ⅰ	2			2								○		
		人体の構造と機能Ⅱ		2		2								○		
		人体の構造と機能Ⅲ		2		2								○		
	医学的基礎	医学入門	2			2								○		
		基礎医学実験		2						6						
		微生物学		2					2					○		
		公衆衛生学	2						2					○		
		関係法規	2					2						○		
		病理学		2				2						○		
		免疫学		1					1					○		
		チーム医療概論		2					2					○		
		生化学Ⅱ			2		2							○		
		薬理学		2					2					○		
		電気工学Ⅰ	2					2						○		
	理工学的基礎	電気工学Ⅱ			2				2					○		
		電子工学Ⅰ		2				2						○		
		電子工学Ⅱ			2				2					○		
		電気・電子工学実験		3							6			○		
	医療情報技術とシス テム工学の基礎	計測工学		2					2					○		
		機械工学		2					2					○		
		コンピュータの基礎Ⅰ	2			2								○		
		コンピュータの基礎Ⅱ		2			2							○		
		医用統計学			2			2						○		
	医用工学	システム工学			2					2				○		
		医用工学概論	2						2					○		
		医用工学演習		2						4				○		
		生体物性工学		2				2						○		
		生物材料学		2						2				○		
		医用計測機器学		2						2				○		
		医用治療機器学		2						2				○		
		医用機器学概論			2				2					○		
		臨床支援技術学			2						2			○		
		医用機器学実習			2					4				○		
		生体機能代行 装置学	生体機能代行装置学Ⅰ(透析基礎)	2					2						○	
			生体機能代行装置学Ⅱ(透析応用)		2					2					○	
			生体機能代行装置学Ⅲ(呼吸基礎)		2						2				○	
			生体機能代行装置学Ⅳ(呼吸応用)		2							2			○	
			生体機能代行装置学Ⅴ(体外循環)		2							2			○	
			生体機能代行装置学実習		3							6			○	
	医用安全 管理学	医療安全管理学Ⅰ	2						2					○		
		医療安全管理学Ⅱ		2						2				○		
		医療安全管理学実習		2							4			○		

別表2-1 医療学部医療工学科 臨床工学コース
専門教育科目

学科目等		授業科目	単位数			授業時間数								資格のために必要な科目	備 考
			必修	選択	開 自 発 己	1年次		2年次		3年次		4年次			
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	臨床工学 技士	
専門学術科目	関連臨床医学	放射線医学概論		2					2						
		診断学/臨床検査		2					2						
		救急医学Ⅰ		2				2							
		救急医学Ⅱ	2					2						○	
		臨床医学概論	2								2			○	
		循環器学	2					2						○	
		呼吸器・感染症学	2					2						○	
		消化器・代謝内分泌学		2				2						○	
		腎・泌尿器学		2				2						○	
		神経感覚器学		2							2			○	
	臨床工学技士演習	臨床工学技士演習Ⅱ		1									2		
		臨床工学技士演習Ⅰ			1						2			○	
	臨床実習	臨床実習(臨床工学技士)		5									7		○
		臨床実習評価		2									1	1	○
	救急救命	救急救命学通論		2		2									
		蘇生学		2			2								
	社会福祉	社会福祉		2		2									
		高齢者福祉論		2			2								
		障害者福祉論		2				2							
		介護概論		2				2							
	専門英語	専門英語		2				2							
	海外研修	海外研修Ⅰ		1											日本人学生のみⅠを必修とする。履修要件については別途定める。
		海外研修Ⅱ			1										
		海外留学1～24			24										
		専門共有科目1～24			1										
	他学科関連科目	専門共有科目1～20			1										他学部・他学科の開講する専門科目を40単位まで履修できる。
		専門共有科目1～XX			2										
卒業研究	卒業研究		4									6	6		

別表2-2 医療学部医療工学科 救急救命コース
専門教育科目

学科目等		授業科目	単位数			授業時間数								資格のために 必要な科目	備考	
			必修	選択	開自 発已	1年次		2年次		3年次		4年次		救急救命士		
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
専門基礎科目	共通基礎	基礎数学		2			2									
		基礎物理学		2			2									
		基礎化学		2			2									
		基礎生物学		2			2									
		基礎科学(栄養基礎科学)		2			2									
		基礎栄養学			2		2									
		情報リテラシ	2				4									
		数学A		2				2								
		数学B		2					2							
		数学C		2				2								
		力学		2				2								
		振動と波動		2				2								
		電磁気学		2					2							
		化学		2				2							○	
		生物学		2				2								
		生化学		2				2							○	
		食品学			2	2										
		科学基礎実験		1				6								
		生命倫理学		2						2						○
		人体の構造 及び機能	人体の構造と機能Ⅰ	2				2								○
	人体の構造と機能Ⅱ		2				2								○	
	人体の構造と機能Ⅲ		2				2								○	
	医学的基礎	医学入門	2				2								○	
		基礎医学実験		2							6					
		微生物学		2						2					○	
		公衆衛生学・関係法規		2						2					○	
		病理学		2					2						○	
		免疫学		1						1						
		チーム医療概論		2						2						
	薬理学		2						2					○		
	医療情報技術とシステム工学の基礎	コンピュータの基礎Ⅰ		2			2									
		コンピュータの基礎Ⅱ		2				2								
		医用統計学		2					2							
	救急系の教養学	医療コミュニケーション学Ⅰ		2						2						
		医療コミュニケーション学Ⅱ		2							2					
		医療コミュニケーション学Ⅲ		2								2				
		救急社会システム論Ⅰ		2					2							
		救急社会システム論Ⅱ		2							2					
		救急社会システム論Ⅲ		2								2				
		救急救論Ⅰ		2							2					
		救急救論Ⅱ		2								2				
		空間構成論Ⅰ		2							2					
		空間構成論Ⅱ		2								2				
		空間構成論Ⅲ		2									2			
		医用機器学		2								4				
		関連臨床医学	放射線医学概論		2					2						○
診断学・臨床検査				2					2						○	
救急医学Ⅰ			2					2						○		
救急医学Ⅱ			2						2					○		
内科学Ⅰ(循環器)			2						2					○		
内科学Ⅱ(呼吸器・感染症・免疫)			2					2						○		
内科学Ⅲ(消化管・代謝内分泌)			2						2					○		
内科学Ⅳ(腎・泌尿器)			2							2				○		
小児科学概論			1							1				○		
産婦人科学概論			1							1				○		
外傷学Ⅰ			2							2				○		
外傷学Ⅱ			2								2			○		
社会医学・精神医学			2							2				○		
神経医学			2								2			○		
臨床医学総論			2								2					

別表2-2 医療学部医療工学科 救急救命コース
専門教育科目

専門教育科目

学科目等		授業科目	単位数			授業時間数								資格のために必要な科目		備考
			必修	選択	開自 免己	1年次		2年次		3年次		4年次		救急救命士		
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
専門学術科目	救急医学演習	救急症候学演習	1										2	○		
		小児救急医学演習	1									2		○		
		救急救命学演習A	1									2		○		
		外傷学演習A	1									2		○		
		病態生理学演習	1										2		○	
		周産期救急医学演習	1										2		○	
		救急救命学演習B	1										2		○	
		外傷学演習B	1										2		○	
	臨床実習	臨床実習(救急救命士)		4						4	4				○	
		臨床基礎実習		1				2							○	
	救急救命	救急救命学通論	2			2									○	
		蘇生学	2			2									○	
		医療安全技術論		2			2									
		麻酔・集中管理		2				2								
		災害医学		2							2					
		消防救急学Ⅰ		2			2									
		消防救急学Ⅱ		2				2								
		救急救命実習Ⅰ	3			9									○	
		救急救命実習Ⅱ		3			9								○	
		救急救命実習Ⅲ		3				9							○	
		救急救命実習Ⅳ		3					9						○	
		救急救命実習Ⅴ		4						12					○	
		救急救命実習Ⅵ		4							12				○	
		社会福祉	社会福祉		2		2									
	高齢者福祉論			2			2									
	障害者福祉論			2				2								
	介護概論			2												
	専門英語		2					2								
	海外研修	海外研修Ⅰ	1													日本人学生のみ1を必修とする。 履修要件については別途定める。
		海外研修Ⅱ		1												
		海外留学1～24		24												
	他学科関連科目	専門共有科目Ⅰ～20		1												他学部・他学科の開設する専門科目を40単位まで履修できる。
		専門共有科目Ⅰ～XX		2												
	卒業研究	卒業研究	4										6	6		

別表2-3 医療学部医療工学科 獣医看護学コース
専門教育科目

専門教育科目

学科目等		授業科目	単位数			授業時間数								資格のために必要な科目		備考	
			必修	選択	開自 修 可	1年次		2年次		3年次		4年次		愛玩動物看護 師	博物館 学委員		
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
専門基礎科目	共通基礎	基礎数学			2	2											
		基礎物理学			2	2											
		基礎化学			2	2											
		基礎生物学			2	2											
		基礎科学(栄養基礎科学)			2	2											
		基礎栄養学			2		2										
		情報リテラシ	2			4											
		数学A		2			2										
		数学B		2				2									
		数学C		2			2										
		力学		2		2											
		振動と波動		2			2										
		電磁気学		2				2									
		化学		2			2										
		生物学		2			2										
		生化学Ⅰ		2			2										
		科学基礎実験		1			6										
		生命倫理学		2					2								
	医学的基礎	医学入門	2			2											
		微生物学		2					2								
		公衆衛生学		2					2								
		関係法規		2				2									
	医療情報技術 の基礎	コンピュータの基礎Ⅰ		2		2											
		コンピュータの基礎Ⅱ		2			2										
		医用統計学		2					2								
	専門学科科目	獣医看護	動物看護学概論	2			2								○		
			愛玩動物学		2		2								○		
動物形態機能学Ⅰ			2			2								○			
動物形態機能学Ⅱ			2				2							○			
動物形態機能学Ⅲ			2					2						○			
動物繁殖学				2			2							○			
動物愛護・適正飼養実習Ⅰ			2				2							○			
動物愛護・適正飼養実習Ⅱ			2						2					○			
動物行動学				2				2						○			
動物臨床検査学			2						2					○			
動物臨床栄養学			2					2						○			
生命倫理・動物福祉				2			2							○			
動物病理学				2				2						○			
動物感染症学Ⅰ			2						2					○			
動物感染症学Ⅱ			2							2				○			
公衆衛生学				2					2					○			
動物臨床看護学各論Ⅰ			2								2			○			
動物薬理学				2					2					○			
動物形態機能学実習			2					4						○			
動物トレーニング理論及び実習Ⅰ				2						6							
動物トレーニング理論及び実習Ⅱ				2							6						
動物臨床看護学総論			2								2			○			
比較動物学				2							2			○			
動物内科看護学			2						2					○			
動物臨床検査学実習			2								4			○			
動物臨床看護学実習Ⅰ			2								4			○			
動物臨床看護学実習Ⅱ			2									4		○			
動物トリミング理論及び実習Ⅰ				2						6							
動物トリミング理論及び実習Ⅱ				2							6						
動物トリミング理論及び実習Ⅲ				2								6					
動物トリミング理論及び実習Ⅳ				2									6				
動物外科看護学			2								2			○			
動物臨床看護学各論Ⅱ			2								2			○			
動物外科看護学実習			2									4		○			
動物看護総合実習Ⅰ			2									4		○			
動物看護総合実習Ⅱ			2										2	2	○		
動物臨床看護学各論Ⅲ			2										2		○		
人と動物の関係学				2				2							○		
動物医療コミュニケーション			1								1			○			
適正飼養指導論			1									1		○			
動物内科看護学実習		2									4			○			
動物看護関連法規			1									1		○			
動物愛護・適正飼養関連法規			1									1		○			

学期 20

別表2-3 医療学部医療工学科 獣医看護学コース
専門教育科目

専門教育科目

学科目等		授業科目	単位数		授業時間数								資格のために必要な科目		備考		
			必修	選択	開自 発已	1年次		2年次		3年次		4年次		愛玩動物看護 師		博物館 学芸員	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
		動物生活環境学		1								1		○			
		ペット関連産業概論		1								1		○			
		動物ミーティングⅠ	1			1											
		動物ミーティングⅡ	1				1										
		動物ミーティングⅢ	1							1							
専門学術科目	医用工学	電気工学Ⅰ		2				2									
		電気工学Ⅱ			2			2									
		電子工学Ⅰ		2				2									
		電子工学Ⅱ			2				2								
		電気・電子工学実験		2							6						
		機械工学		2				2									
		地球環境学		2							2						
		計測工学		2					2								
		生物材料学		2						2							
		医用工学総論		2					2								
		医用工学演習		2						4							
		医用計測機器学		2						2							
		医療安全管理学Ⅰ		2					2								
		動物臨床工学演習		2								6					
	博物館学芸員	博物館概論			2			2								○	
		博物館経営論			2			2								○	
		博物館教育論			2			2								○	
		博物館資料論			2				2							○	
		博物館資料保存論			2				2							○	
		博物館展示論			2				2							○	
		生涯学習概論			2					2						○	
		博物館情報・メディア論			2					2						○	
		動物展示デザイン論			2						2						
		博物館実習Ⅰ			2							6				○	
		博物館実習Ⅱ			1								3			○	
	専門英語	専門英語	2					2									
	海外研修	海外研修Ⅰ	1														日本人学生のみ1を必修とする、履修条件については別途定める。
		海外研修Ⅱ		1													
		海外留学1～24		24													
	他学科関連科目	専門共有科目1～20		1													他学部・他学科の開設する専門科目を40単位まで履修できる。
		専門共有科目Ⅰ～ⅩⅩ		2													
	卒業研究		卒業研究	4									6	6			

別表2-4 医療学部医療工学科 医療福祉コース
専門教育科目

学科目等		授業科目	単位数			授業時間数								資格のために必要な科目		備考	
			必修	選択	開自 己	1年次		2年次		3年次		4年次		介護 福祉士	社会 福祉士		
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
専門基礎科目	共通基礎	基礎数学			2	2											
		基礎物理学			2	2											
		基礎化学			2	2											
		基礎生物学			2	2											
		基礎科学(栄養基礎科学)			2	2											
		基礎栄養学		2			2										
		情報リテラシ	2			4											
		数学A		2			2										
		数学B		2				2									
		数学C		2			2										
		力学		2		2											
		振動と波動		2			2										
		電磁気学		2				2									
		化学		2			2										
		生物学		2			2										
		生化学Ⅰ		2			2										
		食品学		2		2											
		科学基礎実験		1			6										
		生命倫理学		2					2								
		人間と社会	人間の尊厳と自立	2			2								○		
	コミュニケーションと芸術			2				2						○			
	人間関係とコミュニケーション			2			2							○			
	社会と制度の理解Ⅰ			2				2						○	○		
	社会と制度の理解Ⅱ			2					2					○	○		
	レクリエーションスポーツ論			2					2					○			
	比較文化論			2			2							○			
	日本経済論			2						2				○			
	介護の基本ⅠA		2			2								○			
	介護の基本ⅠB			2			2							○			
	介護の基本	介護の基本ⅡA		2				2						○			
		介護の基本ⅡB		2					2					○			
		介護の基本ⅡC		2						2				○			
		介護の基本ⅡD		2							2			○			
		こころとからだのしくみⅠ	2					2						○	○		
	こころとからだのしくみ	こころとからだのしくみⅡ	2						2					○			
		こころとからだのしくみⅢ	2							2				○			
		こころとからだのしくみⅣ	2								2			○			
		医学入門	2			2											
	医学的基礎	基礎医学実験		2							6						
		微生物学		2					2								
		公衆衛生学		2						2							
		病理学		2					2								
		免疫学		1						1							
		チーム医療概論		2						2							
		薬理学		2					2								
		コミュニケーション技術	2						2	2					○		
		生活支援技術Ⅰ		2		4									○		
	介護の技術と実践	生活支援技術ⅡA		2			4								○		
		生活支援技術ⅡB		2				4							○		
		生活支援技術ⅡC		2					4						○		
		生活支援技術Ⅲ		2						4					○		
		介護過程Ⅰ	2				2								○		
		介護過程ⅡA		2				2							○		
		介護過程ⅡB		2					2						○		
		介護過程ⅢA		2						2					○		
		介護過程ⅢB		2							2				○		
		介護総合演習Ⅰ		1			2								○		
		介護総合演習Ⅱ		2						2	2				○		
		介護総合演習Ⅲ		1								2			○		
		介護実習Ⅰ		3			6								○		
		介護実習Ⅱ		6							12				○		
		介護実習Ⅲ		6								12			○		
		医学の理解とケア	発達と老化の理解Ⅰ	2			2									○	○
			発達と老化の理解Ⅱ		2			2								○	
			認知症の理解Ⅰ		2						2					○	
			認知症の理解Ⅱ		2							2				○	
			障害の理解Ⅰ		2				2							○	○
	障害の理解Ⅱ			2					2						○		
	医療的ケアⅠ			2						2					○		
	医療的ケアⅡ			2							2				○		
	心理学と心理的支援			2			2									○	
	社会学と社会システム			2			2									○	
	社会福祉の基礎	社会福祉調査の基礎		2				2								○	

別表2-4 医療学部医療工学科 医療福祉コース
専門教育科目

専門教育科目

学科目等		授業科目	単位数			授業時間数								資格のために必要な科目		備考	
			必修	選択	開自発己	1年次		2年次		3年次		4年次		介護福祉士	社会福祉士		
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
専門 学 術 科 目	ソーシャルワーク基礎	ソーシャルワークの基礎と専門職		2		2									○		
		ソーシャルワークの基礎と専門職(専門)		2			2								○		
		ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ		2				2							○		
		ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ		2					2						○		
		ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅰ		2						2					○		
		ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅱ		2							2				○		
	社会福祉の制度	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ		2				2							○		
		地域福祉と包括的支援体制Ⅱ		2					2						○		
		福祉サービスの組織と経営		2					2						○		
		社会保障Ⅰ		2						2					○		
		社会保障Ⅱ		2							2				○		
		児童・家庭福祉		2				2							○		
		貧困に対する支援		2		2									○		
		保健医療と福祉		2						2					○		
		権利擁護を支える法制度		2				2							○		
		刑事司法と福祉		1							1				○		
	ソーシャルワーク演習及び実習	ソーシャルワーク演習		1			2								○		
		ソーシャルワーク演習(専門)Ⅰ		1				2							○		
		ソーシャルワーク演習(専門)Ⅱ		1					2						○		
		ソーシャルワーク演習(専門)Ⅲ		1						2					○		
		ソーシャルワーク演習(専門)Ⅳ		1							2				○		
		ソーシャルワーク実習指導Ⅰ		1			2								○		
		ソーシャルワーク実習指導Ⅱ		1					2						○		
		ソーシャルワーク実習指導Ⅲ		1								2			○		
		ソーシャルワーク実習Ⅰ		2				4							○		
		ソーシャルワーク実習Ⅱ		3						6					○		
	ソーシャルワーク実習Ⅲ		3								6			○			
	専門英語	専門英語	2					2									
	海外研修	海外研修Ⅰ	1														日本人学生のみ1を必修とする。履修要件については別途定める。
		海外研修Ⅱ		1													
		海外留学1～24		24													
	他学科関連科目	専門共有科目1～20		1													他学部・他学科の開設する専門科目を40単位まで履修できる。
		専門共有科目1～XX		2													
	健康運動実践指導者受験資格必修科目	健康科学基礎論		2		2											
		スポーツ生理学		2					2								
		運動処方論		2							2						
		スポーツ解剖学		2					2								
		バイオメカニクスⅠ		2						2							
		スポーツ心理学Ⅰ		2					2								
		発育発達論		2							2						
		バイオメカニクスⅡ		2							2						
		エアロビックエクササイズ		1								2					
		水泳・水中運動		1					2								
		スポーツ医学		2							2						
		スポーツ科学実習Ⅰ		1					2								
		スポーツ科学実習Ⅱ		1								2					
	卒業研究	卒業研究	4									6	6				

- 備考
- 1) 介護福祉士受験資格を得るには資格のために必要な科目のうち介護福祉士関の科目に定めるすべての科目の単位を修得すること。
 - 2) 社会福祉士受験資格を得るには資格のために必要な科目のうち社会福祉士関の科目に定めるすべての科目の単位を修得すること。
 - 3) 健康運動実践指導者受験資格を得るには資格必修科目を修得のこと。
 - 4) 自己開発科目とは年間登録制限単位数(CAP制)に関係なく履修することができる科目であるが、卒業所定単位(124単位)には含まれない。
各自の目的に沿って積極的に履修し、修得を目指すこと。
 - 5) 専門共有科目は他学部他学科の開設する専門科目である。

別表2-5 医療学部医療工学科 総合医療コース
専門教育科目

学科目等		授業科目	単位数			授業時間数								資格のための推奨科目		備考
			必修	選択	開自 発己	1年次		2年次		3年次		4年次				
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
専門 基礎 科目	共通基礎	基礎数学		2		2										
		基礎物理学		2		2										
		基礎化学		2		2										
		基礎生物学		2		2										
		基礎科学(栄養基礎科学)		2		2										
		基礎栄養学			2		2									
		情報リテラシ	2			4										
		数学A		2			2									
		数学B		2				2								
		数学C		2			2									
		力学		2		2										
		振動と波動		2			2									
		電磁気学		2				2								
		化学		2			2									
		生物学		2			2									
		生化学Ⅰ		2			2									
		食品学			2	2										
		科学基礎実験		1			6									
		コミュニケーション論		2					2							
		ゲノム科学		2					2							
	生命倫理学		2				2									
	人体の構造 及び機能	人体の構造と機能Ⅰ	2			2									△	
		人体の構造と機能Ⅱ	2			2									△	
		人体の構造と機能Ⅲ	2				2								△	
	医学的基礎	医学入門	2			2									△	
		基礎医学実験		2							6					
		微生物学		2					2							
		公衆衛生学		2					2						△	
		病理学		2				2							△	
		免疫学		1					1							
		チーム医療概論		2					2						△	
		薬理学		2					2						△	
	理工学的 基礎	電気工学Ⅰ		2				2								
		電気工学Ⅱ		2					2							
		電子工学Ⅰ		2				2								
		電子工学Ⅱ		2					2							
		電気・電子工学実験		3							6					
		計測工学		2					2							
		機械工学		2					2							
	医療情報技術と システム工学の基礎	生体物性工学		2				2								
		コンピュータの基礎Ⅰ		2		2									△	
		コンピュータの基礎Ⅱ		2			2								△	
		医用統計学		2				2							△	
	医用工学	システム工学		2						2					△	
		医用工学総論		2					2							
	医用機器学	医用工学演習		2						4						
		医用計測機器学		2						2						
		医用治療機器学		2						2						
		医用機器学概論		2					2							
	生体機能代行 装置学	医用機器学実習		2					4							
		生体機能代行装置学Ⅰ(透析基礎)		2				2								
		生体機能代行装置学Ⅱ(透析応用)		2					2							
	医用安全管理学	医療安全管理学Ⅰ		2					2							
救急系の教養学	医療コミュニケーション学Ⅰ		2					2								
	医療コミュニケーション学Ⅱ		2						2							
	医療コミュニケーション学Ⅲ		2							2						
	救急社会システム論Ⅰ		2				2									
	救急社会システム論Ⅱ		2					2								
	救急社会システム論Ⅲ		2						2							
	救急救論Ⅰ		2						2							
	救急救論Ⅱ		2							2						
	空間構成論Ⅰ		2						2							
	空間構成論Ⅱ		2							2						
	空間構成論Ⅲ		2								2					

別表2-5 医療学部医療工学科 総合医療コース
専門教育科目

学科目等		授業科目	単位数			授業時間数								資格のための准		備考
			必修	選択	自己	1年次		2年次		3年次		4年次		奨科目 医療情報 技師		
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
専門教育科目	関連臨床医学	放射線医学概論		2					2							
		診断学・臨床検査		2					2							
		救急医学Ⅰ		2				2								
		救急医学Ⅱ		2					2							
		循環器学		2						2					△	
		内科学Ⅰ(循環器)		2						2					△	
		呼吸器・感染症学		2					2						△	
		内科学Ⅱ(呼吸器・感染症・免疫)		2					2						△	
		消化器・代謝内分泌学		2						2					△	
		内科学Ⅲ(消化管・代謝内分泌)		2						2					△	
		腎・泌尿器学		2					2						△	
		内科学Ⅳ(腎・泌尿器)		2							2				△	
		小児科学概論		1							1				△	
		産婦人科学概論		1							1				△	
		外傷学Ⅰ		2							2				△	
		外傷学Ⅱ		2								2			△	
		社会医学・精神医学		2							2				△	
		神経医学		2								2			△	
		臨床医学総論		2								2			△	
		救急救命	救急救命学通論		2		2									
	蘇生学			2			2									
	医療安全技術論			2				2								
	麻酔・集中管理			2					2							
	災害医学			2							2					
	消防救急学Ⅰ			2			2									
	消防救急学Ⅱ			2				2								
	救急救命実習Ⅰ			3		9										
	獣医看護	救急救命実習Ⅱ		3			9									
		救急救命実習Ⅲ		3				9								
		救急救命実習Ⅳ		3					9							
		救急救命実習Ⅴ		4						12						
		救急救命実習Ⅵ		4							12					
		動物看護学概論		2		2										
		愛玩動物学		2		2										
動物形態機能学Ⅰ			2		2											
動物形態機能学Ⅱ			2			2										
動物形態機能学Ⅲ			2				2									
動物繁殖学			2			2										
動物行動学			2				2									
動物臨床検査学			2					2								
動物臨床栄養学			2					2								
生命倫理・動物福祉			2			2										
動物病理学			2				2									
動物感染症学Ⅰ			2					2								
動物感染症学Ⅱ			2						2							
公衆衛生学			2						2							
動物臨床看護学各論Ⅰ			2							2						
動物薬理学		2					2									
動物トレーニング理論及び実習Ⅰ		2							6							
動物トレーニング理論及び実習Ⅱ		2								6						
動物臨床看護学総論		2							2							
比較動物学		2							2							
動物内科看護学		2				2										
動物トレーニング理論及び実習Ⅰ		2							6							
動物トレーニング理論及び実習Ⅱ		2								6						
動物トレーニング理論及び実習Ⅲ		2									6					
動物トレーニング理論及び実習Ⅳ		2										6				
動物外科看護学		2								2						
動物臨床看護学各論Ⅱ		2								2						
動物臨床看護学各論Ⅲ		2									2					
人と動物の関係学		2			2							2				
動物医療コミュニケーション		1									1					

別表2-5 医療学部医療工学科 総合医療コース

専門教育科目

学科目等		授業科目	単位数			授業時間数								資格のための推		備考
			必修	選択	開自 発己	1年次		2年次		3年次		4年次		医療情報 技師		
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
		適正飼養指導論		1								1				
		動物看護関連法規		1									1			
		動物愛護・適正飼養関連法規		1									1			
		動物生活環境学		1									1			
		ペット関連産業概論		1									1			
	臨床実習	臨床基礎実習		1					2							
		社会福祉		2		2										
	社会福祉	高齢者福祉論		2			2									
		障害者福祉論		2				2								
		介護概論		2				2								
	専門英語	専門英語		2				2								
	海外研修	海外研修Ⅰ		1												日本人学生のみⅠを必修とする。履修要件については別途定める。
		海外研修Ⅱ		1												
		海外留学1～24		24												
	他学科関連科目	専門共有科目1～20		1												他学部・他学科の開設する専門科目を40単位まで履修できる。
		専門共有科目Ⅰ～XX		2												
		卒業研究		4									6	6		

別表3-1 医療学部健康栄養学科 管理栄養士専攻
専門教育科目 その1

学科目等		授業科目	単位数			免許・資格単位				授業時間数								備考		
			必修	選択	自己 開発	栄養 士	栄養 士 管理	食品 衛生	スポ ーツ 栄養	1年次		2年次		3年次		4年次				
										前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
専門基礎科目	情報リテラシⅠ	1								2								留学生のみ 履修可 遠隔授業 遠隔授業 遠隔授業		
	情報リテラシⅡ	1									2									
	フードビジネス戦略論Ⅰ		2							2										
	フードビジネス戦略論Ⅱ		2								2									
	フードビジネスPBL演習		2									2								
	食品の成分と分類		2									2								
	食品の加工と保存		2										2							
	ホリスティックヘルスⅠ		2							2										
	ホリスティックヘルスⅡ		2								2									
	ホリスティックヘルスⅢ		2									2								
	食の安全性		2											2						
	ライフステージと栄養		2												2					
	食育支援の方法		2										2							
	傷病者の栄養		2										2							
	給食の経営と管理		2											2						
	栄養基礎科学		2							2				2						
	栄養統計学		2						2											
管理栄養士入門		2							2											
専門基礎分野 専門学術科目	社会・環境と健康	医学入門		2				2	2		2							留学生のみ 履修可		
		公衆衛生学	2				2	2	2					2						
		社会福祉概論		2			2	2				2								
		解剖生理学Ⅰ	2				2	2	2		2									
		解剖生理学Ⅱ		2			2	2	2			2								
		基礎医学実験Ⅰ	1				1	1			3.2									
		基礎医学実験Ⅱ		1				1				3.2								
		生化学	2				2	2	2			2								
		生化学実験	1				1	1					3.2							
		ゲノム科学	2					2	2					2						
		微生物学・免疫学	2					2	2				2							
		臨床病態学Ⅰ	2				2	2	2				2							
		臨床病態学Ⅱ	2					2						2						
		臨床検査医学実習	1					1							3.2					
		食べ物と健康	食品学	2				2	2	2		2								
			食品学実験Ⅰ		1			1	1	1				3.2						
			食品学実験Ⅱ	1				1	1	1					3.2					
	食品分析化学			2					2							2				
	食品加工学			2			2	2	2					2						
	食品加工学実習			1				1	1						3.2					
	調理学		2				2	2			2									
	調理学実習		1				1	1			3.2									
	食事計画実習			1			1	1					3.2							
	食品衛生学		2				2	2	2					2						
	食品衛生学実習		1					1	1							3.2				
	基礎栄養学		基礎栄養学	2				2	2	2			2							
			基礎栄養学実験		1			1	1						3.2					
			応用栄養学	応用栄養学Ⅰ	2				2	2	2	2			2					
				応用栄養学Ⅱ	2				2	2	2					2				
				スポーツ栄養学		2				2		2				2				
				ライフステージ別栄養学実習	1				1	1					3.2					
		栄養教育論	栄養教育論Ⅰ	2				2	2	2					2					
			栄養教育論Ⅱ		2			2	2	2						2				
			栄養教育論Ⅲ		2				2								2			
			栄養教育論実習		1			1	1							3.2				
			臨床栄養学	臨床栄養学Ⅰ	2				2	2	2					2				
		臨床栄養学Ⅱ			2				2	2						2				
		臨床栄養学Ⅲ			2				2								2			
		臨床栄養学Ⅳ			2				2										2	
		臨床栄養学実習Ⅰ		1				1	1							3.2				
		臨床栄養学実習Ⅱ			1				1								3.2			
		公衆栄養学		公衆栄養学Ⅰ	2				2	2	2						2			
	公衆栄養学Ⅱ			2				2	2	2							2			
	公衆栄養学実習			1				1	1							3.2				
	給食経営管理論		給食経営管理論Ⅰ		2			2	2	2				2						
		給食経営管理論Ⅱ		2				2	2	2					2					
		給食経営管理実習		2			2	2							6.4					
		総合演習	総合演習Ⅰ（臨床実習指導）		1			1	1							1				
	総合演習Ⅱ			1				1									1			
	管理栄養士特論Ⅰ					2										4				
	管理栄養士特論Ⅱa					2											4			
	管理栄養士特論Ⅱb					2														
	臨地実習	臨地実習Ⅰ（臨床栄養学）		2				2								6.4				
		臨地実習Ⅱ（給食経営管理論・給食の運営も含む）		1			1	1								3.2				
		臨地実習Ⅲ（公衆栄養学）		1				1								3.2				
	卒業研究			4												6	6			
	小計			32	90	6	53	82	52	4	21.2	15.2	28.8	39.6	29	41.6	13		4	

専門教育科目（その2）

専攻科目等			授業科目	単位数			免許・資格単位					授業時間数								備考
				必修	選択	自由	栄養士	栄養士 管理	食品衛生	スポーツ 栄養	1年次		2年次		3年次		4年次			
											前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
専門学術科目	専門英語	専門英語	2										2						日本人学生のみに を応募とする。履修条件に ついては別途定め る。	
	海外研修	海外研修Ⅰ	1																	
		海外研修Ⅱ		1																
		海外留学1～24		24																
	他学科関連科目	専門共有科目Ⅰ～20		1														他学部・他学科 の開設する専門 科目を4単位ま で履修できる		
		専門共有科目Ⅰ～XX		2																
	健康運動実践指導者受験 資格必修科目	健康科学基礎論		2					2	2										
		スポーツ生理学		2					2	2	2									
		運動処方論		2					2	2										
		バイオメカニクスⅠ		2					2	2										
		体力トレーニング概論		2					2			2								
		スポーツ心理学Ⅰ		2					2			2								
		スポーツ科学実習Ⅰ		1					1				2							
		スポーツ科学実習Ⅱ		1					1			2								
		エアロビックエクササイズ		1					1	2										
		水泳・水中運動		1					1	2										
		スポーツ医学		2					2	2										
小計		3	46	0	0	0	0	18	12	2	8	2	0	0	0	0	0			
合 計		35	136	6	53	82	62	22	33.2	17.2	36.8	41.6	29	41.6	13	4				

備考

1) 本学において、管理栄養士試験の受験を希望するものは、管理栄養士特論Ⅰ、管理栄養士特論Ⅱa及び管理栄養士特論Ⅱbを修得のこと。

2) 管理栄養士受験資格を得るには資格必修科目を修得のこと。

3) 栄養士資格を得るには資格必修科目を修得のこと。

4) 健康運動実践指導者受験資格を得るには資格必修科目を修得のこと。

5) 食品衛生：食品衛生管理者任用資格及び食品衛生監視員任用資格

太字24単位のうち22単位、斜字体28単位のうち18単位を選択し、合計40単位を履修すること。また、「食品分析化学」は必修とする。

6) 授業時間数 3.2回は開講数12回を示す。

7) 自由科目とは年間登録制限単位数(CAP制)に関係なく履修することができる科目であるが、卒業所定単位数(124単位)には含まれない。

本学では自由単位を「自己開発科目」と位置付けている。各自の目的に沿って積極的に履修し、修得を目指すこと。

8) 専門共有科目は他学部他学科の開設する専門科目である。

別表 3-2 医療学部健康栄養学科 フードビジネスコース

専門教育科目 (その3) フードビジネスコース

学科目等		授業科目	単位数		授業時間数								備考
			必修	選択	1年次		2年次		3年次		4年次		
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門基礎科目		情報リテラシⅠ	1		2								
		情報リテラシⅡ	1			2							
		旅行業法		2						2			
		旅行業約款と実務		2							2		
		国際教養基礎論Ⅰ		2	2								
		国際教養基礎論Ⅱ		2		2							
		国際教養特論Ⅰ		2			2						
		国際教養特論Ⅱ		2				2					
		観光学概論		2						2			
		国際経済学		2								2	
		アジア文化言語論Ⅰ		2							2		
		アジア文化言語論Ⅱ		2								2	
		アジア経済論		2									2
専門学術科目	専門分野（食と栄養）	食品の成分と分類	2				2						
		食品の成分と分類：実習		1				3.2					
		食品の加工と保存	2					2					
		ホリスティックヘルスⅠ	2							2			
		ホリスティックヘルスⅡ	2								2		
		ホリスティックヘルスⅢ	2									2	
		食の安全性	2								2		
		ライフステージと栄養	2									2	
		食育支援の方法	2								2		
		傷病者の栄養	2								2		
		給食の経営と管理	2							2			
		フードビジネス戦略論Ⅰ	2				2						
		フードビジネス戦略論Ⅱ	2					2					
		フードビジネスPBL演習		2						2			
	卒業研究	卒業研究	4								6	6	
	小計		30	25	4	4	6	9.2	12	20	12	0	

専門教育科目（その4）

学科目等		授業科目	単位数		授業時間数								備考	
			必修	選択	1年次		2年次		3年次		4年次			
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
専門学術科目	専門英語	専門英語	2				2							
	他学科関連科目	専門共有科目1～20		1										他学部・他学科の開設する専門科目を40単位まで履修できる
		専門共有科目Ⅰ～XX		2										
	専門基礎分野 (組織運営)	人間学Ⅰ		2					2					
		人間学Ⅱ		2						2				
		ホスピタリティⅠ		2			2							
		ホスピタリティⅡ		2				2						
		ビジネス・コミュニケーションⅠ		2	2									
		ビジネス・コミュニケーションⅡ		2		2								
		ビジネス心理学Ⅰ		2			2							
		ビジネス心理学Ⅱ		2				2						
		メディア・コミュニケーション論		2	2									
		エンタテインメントメディア論		2		2								
		観光経営学		2							2			
	専門分野 (商品開発)	経営管理Ⅰ		2		2								
		経営管理Ⅱ		2				2						
		ホスピタリティビジネス入門Ⅰ		2	2									
		ホスピタリティビジネス入門Ⅱ		2		2								
		サービスマネジメント論		2		2								
		マーケティング論Ⅰ		2	2									
		マーケティング論Ⅱ		2		2								
		経営分析Ⅰ		2				2						
		経営分析Ⅱ		2					2					
		アイデア・ラボ		2	2									
		デザイン思考演習		2		2								
		戦略的デザイン思考演習		2				2						
		マーケット・リサーチ演習		2							2			
		生活経営学		2								2		
		環境マネジメント		2						2				
		観光産業論		2								2		
		観光マーケティング論		2									2	
		マーケティング論		2									2	
		環境マネジメント		2						2				
小計		2	63	10	14	10	8	6	6	4	4			
合 計		32	88	14	18	16	17.2	18	26	16	4			

備考

1) 授業時間数 3.2回は開講数6回を示す。

2) 専門共有科目は他学部他学科の開設する専門科目である。

別表4 心理臨床・子ども学科

心理臨床コース

専門教育科目（その1）

資格取得に必要なもの

◎必修科目、○選択科目

専門教育科目（その1）																		
コース	科目分類	授 業 科 目 の 名 称	単位数				授 業 時 間 数								公認心理師	認定心理士 （心理調査）	認定心理士	備 考
			必修	選択必修	選択	自己開発	1年次		2年次		3年次		4年次					
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
心理臨床コース	心理学専門基礎科目	心理学概論	2				2								◎	◎	◎	
		心理学統計基礎演習			2		2									○	○	
		臨床心理学概論	2					2							◎	○	○	
		心理学統計法			2		2								◎	○	○	
		公認心理師の職責			2		2								◎			
		心理学実験	2						2	2					◎	◎	◎	
		心理学研究法			2				2						◎	○	○	
		心理学基礎演習	2						2							○	○	
		心理調査概論			2					2						◎		
	心理学専門スタンダード科目	対人関係論			2		2									○	○	
		学習・言語心理学			2				2						◎	○	○	
		教育・学校心理学（A）			2				2						◎	○	○	
		コミュニケーションの心理学	2						2							○	○	
		神経・生理心理学			2				2						◎	○	○	
		司法・犯罪心理学			2				2						◎	○	○	
		知覚・認知心理学			2					2					◎	○	○	
		社会・集団・家族心理学			2					2					◎	○	○	
		感情・人格心理学			2					2					◎	○	○	
		心理的アセスメント			2					2					◎			
		教育・学校心理学（B）			2					2					◎	○	○	
		心理学課題実験			2						2	2				◎	◎	
		青年心理学			2						2					○	○	
		発達心理学			2						2				◎	○	○	
		心理学英書講読Ⅰ			2						2							
		心理学専門演習Ⅰ	2								2							
		産業・組織心理学			2							2			◎	○	○	
		障害者・障害児心理学			2								2		◎	○	○	
		福祉心理学			2								2		◎			
		健康・医療心理学			2								2		◎	○	○	
		心理学英書講読Ⅱ			2								2					
		心理学専門演習Ⅱ	2										2					
		心理学専門発展科目	医学入門 （人体の構造と機能及び疾病）			2				2						◎		
	心理学応用解析				2					2						○	○	
	精神疾患とその治療				2					2					◎			
	関係行政論				2								2		◎			
	心理学専門演習Ⅲ		2										2			◎	◎	
	心理学専門演習Ⅳ		2											2		◎	◎	
	心理学専門実践科目	心理学的支援法			2						2				◎			
		心理学上級演習	2								2					◎		
		心理演習			2						2				◎			
		心理実習Ⅰ			2							4			◎			
		心理実習Ⅱ			2								4		◎			

保育・幼児教育コース／初等教育コース
専門教育科目（その2）

免許・資格取得に必要なもの
◎必修科目、○選択科目

●：各資格、免許を取得する学生は、必ず単位を修得しなければならない科目

コース	科目分類	授業科目の名称	単位数				授業時間数								保育士	幼稚園教諭	小学校教諭	備考
			必修	選択必修	選択	自己開発	1年次		2年次		3年次		4年次					
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
保育・幼児教育コース／初等教育コース	専門基礎科目	社会福祉			2		2								◎			
		保育原理			2		2								◎			
		音楽表現基礎Ⅰ			2	2	2								●	●		※4
		保育内容総論	2		2			2							◎			※保育・幼児教育コース必修科目
		保育内容の理解と方法Ⅰ（健康）			2	2		2							◎	◎		※4
		保育内容の理解と方法Ⅱ（人間関係）			2	2			2						◎	◎		※4
		保育内容の理解と方法Ⅲ（環境）			2	2			2						◎	◎		※4
		保育内容の理解と方法Ⅳ（言葉）			2	2			2						◎	◎		※4
		保育内容の理解と方法Ⅴ（表現）			2	2			2						◎	◎		※4
		社会的養護Ⅰ			2			2							◎	○	○	本科目は教職の「養護原理」兼ねる
		身体活動表現基礎			2	2	2								●	●		※4
		音楽表現基礎Ⅱ			2	2				2					●	●		※4
		保育者論	2		2				2						◎			※保育・幼児教育コース必修科目
		子どもの理解と援助			2			2							◎			「幼児理解」との共有科目。同時履修不可
		子ども家庭支援論			2	2			2						◎			※4
		子ども家庭福祉			2	2				2					◎	○	○	※4 本科目は教職の「児童福祉」兼ねる
		造形表現基礎			2	2			2						●	●		※4
	専門学術科目	保育内容Ⅰ（健康）			2	2				2					◎	◎		※4
		保育内容Ⅱ（人間関係）			2	2				2					◎	◎		※4
		保育内容Ⅲ（環境）			2	2				2					◎	◎		※4
		保育内容Ⅳ（言葉）			2	2				2					◎	◎		※4
		保育内容Ⅴ（表現）			2	2				2					◎	◎		※4
		子どもの食と栄養			2	2				2					◎			※4
		乳児保育Ⅰ			2	2			2						◎			※4
		乳児保育Ⅱ			2	2				2					◎			※4
		子どもの保健			2	2			2						◎			※4
		保育の心理学			2				2						◎			「教育心理学」との共有科目。同時履修不可
		障害児保育			2				2						◎			「特別支援教育概論」との共有科目。同時履修不可
		社会的養護Ⅱ			2	2			2						◎			※4
		保育計画と評価			2						2				◎			「教育課程論」との共有科目。同時履修不可
		子ども家庭支援の心理学			2						2				◎			
		子育て支援			2							2			◎			
		子どもの健康と安全			2						2				◎			
		保育実践演習			2								2		◎			「教職実践演習」との共有科目。同時履修不可
		保育実習指導Ⅰ				2			1	1					◎			2年次前・後期に、隔週で実施
		保育実習Ⅰa				2					4				◎			
		保育実習Ⅰb				2						4			◎			
		保育実習指導Ⅱ				2					1	1			◎			3年次前・後期に、隔週で実施
		保育実習Ⅱ				2						4			○			} どちらか一方を選択
		保育実習Ⅲ				2						4			○			
	専門基礎科目	教職におけるICTの活用方法及び指導法				1		2									◎	
		体験実習指導Ⅰ				1	2								●	●	●	
		体験実習指導Ⅱ				1		2							●	●	●	
		スポーツ学基礎論			2			2							◎	◎	◎	スポーツ健康学科科目
		初等教職入門	2		2		2								○	◎	◎	※初等教育コース必修科目
		幼児理解	2		2			2							○	◎		※保育・幼児教育コース必修科目 「子どもの理解と援助」との共有科目。同時履修不可
		教育原理	2		2				2						◎	◎	◎	※保育・幼児教育コース必修科目 ※初等教育コース必修科目
	教育心理学	2		2				2							◎	◎	※初等教育コース必修科目 「保育の心理学」との共有科目。同時履修不可	

保育・幼児教育コース／初等教育コース
専門教育科目（その3）

免許・資格取得に必要なもの
◎必修科目、○選択科目
●各資格、免許を取得する学生は、必ず単位を修得しなければならない科目

コース		科目分類	授 業 科 目	単位数				授 業 時 間 数								保 育 士	幼 稚 園 教 諭	小 学 校 教 諭	備 考
				必 修	選 択 必 修	選 択	自 己 開 発	1 年 次		2 年 次		3 年 次		4 年 次					
								前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期				
保育・幼児教育コース／初等教育コース	専門学術科目	道徳教育の指導法			2					2						◎			
		教育システム論			2					2				○	◎	◎			
		特別支援教育概論			2				2						◎	◎	「障害児保育」との共有科目。同時履修不可		
		教育課程論	2		2					2					◎	◎	※初等教育コース必修科目 「保育の計画と評価」との共有科目。同時履修不可		
		教育方法論（ICTの活用方法及び指導法）			2						2			○	◎				
		教育方法論			2						2					◎			
		特別活動・総合的な学習の時間の指導法			2						2					◎			
		教育相談論			2							2			◎	◎			
		生徒・進路指導論			2						2					◎			
		国語科研究			2	2		2								○	小学校教諭1種免許取得は10科目のうち5科目以上選択必修		
	算数科研究			2	2		2								○				
	社会科研究			2	2			2							○				
	理科研究			2	2			2							○				
	音楽科研究			2	2				2						○				
	図画工作科研究			2	2				2						○				
	生活科研究			2	2				2						○				
	体育科研究			2	2				2						○				
	家庭科研究			2	2				2						○				
	小学校英語研究			2	2			2							○				
	専門学術科目	国語科教育法			2	2			2							◎	※5		
		算数科教育法			2	2			2							◎			
		社会科教育法			2	2				2						◎			
		理科教育法			2	2				2						◎			
		音楽科教育法			2	2					2					◎			
		図画工作科教育法			2	2					2					◎			
		生活科教育法			2	2					2					◎			
		体育科教育法			2	2					2					◎			
		家庭科教育法			2	2					2					◎			
		小学校英語教育法			2	2				2						◎			
		初等教育実習事前事後指導（幼）				2					1	1			◎		3年次前・後期に、隔週で実施		
		初等教育実習事前事後指導（小）				2						1	1			◎	3年次前・後期に、隔週で実施		
		初等教育実習Ⅰa				2							4		◎				
		初等教育実習Ⅱa				2							4		◎				
		初等教育実習Ⅰb				2							4			◎	小学校教諭免許状のみ取得希望者は両科目を履修 小学校と中学校の両教諭免許状を取得希望者については、「初等教育実習Ⅰb」のみ履修する		
		初等教育実習Ⅱb				2							4			◎			
		教職研究Ⅰ			2						2								
		教職研究Ⅱ			2							2							
		教職実践演習（幼）			2									2		◎		「保育実践演習」との共有科目。同時履修不可	
		教職実践演習（小）			2									2			◎		
保育・幼児教育コース	演習科目	保育・幼児教育演習1	2						2										
		保育・幼児教育演習2	2							2									
		保育・幼児教育演習3	2								2								
		保育・幼児教育演習4	2									2							
		保育・幼児教育演習5	2										2						
		保育・幼児教育演習6	2											2					
初等教育コース	演習科目	初等教育演習1	2						2										
		初等教育演習2	2							2									
		初等教育演習3	2								2								
		初等教育演習4	2									2							
		初等教育演習5	2										2						
		初等教育演習6	2											2					

国際教養コース

専門教育科目（その4）

免許・資格取得
に必要なもの
◎必修科目
○選択科目

コース	科目分類	授業科目	単位数				授業時間数								◎必修科目 ○選択科目		備考
			必修	選択必修	選択	自己開発	1年次		2年次		3年次		4年次		日本語教育	旅 行 業 務 取 扱 者	
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
国際教養コース	専門基礎科目	人間学Ⅰ			2						2						
		人間学Ⅱ			2							2					
		ホスピタリティⅠ			2			2									
		ホスピタリティⅡ			2				2								
		ビジネス・コミュニケーションⅠ			2		2										
		ビジネス・コミュニケーションⅡ			2			2									
		ビジネス心理学Ⅰ			2				2								
		ビジネス心理学Ⅱ			2					2							
		インテリアデザインⅠ			2					2							
		基礎造形Ⅰ			2			4									
		基礎造形Ⅱ			2			4									
		基礎デザインⅠ			2		4										
		基礎デザインⅡ			2		4										
		工芸論			2						2						
		マンガ表現Ⅰ			2				2								
		マンガ表現Ⅱ			2					2							
		美術史Ⅰ			2							2					
		美術史Ⅱ			2								2				
	専門学術科目	分析科学	食生活学			2		2									
			イノベーション・マネジメント論			2		2									
			ホスピタリティビジネス入門Ⅰ			2		2									
			マーケティング論Ⅰ			2		2									
			経営管理Ⅰ			2			2								
			ホスピタリティビジネス入門Ⅱ			2			2								
			サービスマネジメント論			2			2								
			マーケティング論Ⅱ			2			2								
			経営分析Ⅰ			2				2							
			ブランド戦略論Ⅰ			2				2							
			ニュービジネス・クリエーション論			2				2							
			フードビジネス戦略論Ⅰ			2				2							
			経営分析Ⅱ			2					2						
			経営管理Ⅱ			2					2						
			ブランド戦略論Ⅱ			2					2						
			フードビジネス戦略論Ⅱ			2					2						
			環境マネジメント			2						2					
			食の安全性			2							2				
		食育支援の方法			2								2				
		傷病者の栄養			2								2				
		マーケット・リサーチ演習			2								2				
		生活経営学			2									2			
		ライフステージと栄養			2										2		
		地域の健康づくり			2										2		
	文化コミュニケーション	人間の尊厳と自立			2		2										
		人間関係とコミュニケーション			2		2										
		社会と制度の理解Ⅰ			2				2								
		社会と制度の理解Ⅱ			2					2							
		経営学基礎論			2						2					○	
		観光経営学			2			2								○	
		観光産業論			2				2							○	
		国際経済学			2							2				○	
		旅行業法			2				2							○	
		アカデミック英語Ⅰ			1		2									○	
		アカデミック英語Ⅱ			1			2								○	
		ソーシャルメディア特論			2							2				○	
		旅行業約款と実務			2							2				○	
		英語コミュニケーションⅠ			1				2								
		英語コミュニケーションⅡ			1					2							
		アジア文化・言語論Ⅰ			2							2					
	アジア文化・言語論Ⅱ			2								2					

国際教養コース

専門教育科目（その5）

免許・資格取得
に必要なもの
◎必修科目
○選択科目

専門教育科目 (その3)

コース	科目分類	授業科目	単位数				授業時間数								◎必修科目 ○選択科目		備考
			必修	選択必修	選択	自己開発	1年次		2年次		3年次		4年次		日本語教 育	取扱 者 旅行業 管理 業務	
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
国際教養コース	スポーツ・マネジメント	スポーツ社会学			2				2								※6
		武道（剣道）			1				2								
		スポーツ経営学概論			2					2							※6
		スポーツ史			2					2							※6
		スポーツと法学			2					2							
	専門学術科目	地域スポーツ経営論			2						2						
		国際教養基礎論Ⅰ			2		2										
		国際教養基礎論Ⅱ			2			2									
		国際教養特論Ⅰ			2				2								
		国際教養特論Ⅱ			2					2							
		異文化コミュニケーション論			2						2				○		
		比較文化論			2			2							○		
		日本文化特論Ⅰ			2				2						○		
		日本文化特論Ⅱ			2					2					○		
		日本語コミュニケーションⅠ			1					2					○		
		日本語コミュニケーションⅡ			1						2				○		
		日本語学概論			2						2				◎		
		日本語教育学概論			2							2			◎		
		第二言語習得論			2								2		◎		
		日本語教育方法論			2									2	◎		
		日本語教育実習				1									2	◎	N2以上の学生のみ受講可
	演習科目	国際教養演習 1	2							2							
		国際教養演習 2	2								2						
		国際教養演習 3	2									2					
		国際教養演習 4	2										2				
		国際教養演習 5	2											2			
		国際教養演習 6	2												2		

学科共通

専門教育科目（その6）

専門教育科目（その6）

コース	科目分類	授 業 科 目 の 名 称	単位数				授 業 時 間 数								公認心理師	保育士	幼稚園教諭	小学校教諭	備 考
			必修	選択必修	選択	自己開発	1年次		2年次		3年次		4年次						
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期					
学科共通		情報リテラシ	2				2	2									◎	◎	※2
		人間科学基礎演習	2					2											
		専門英語	2						2										
		海外研修Ⅰ	1																日本人学生のみ必修とする。 履修要件については別途定める。
		海外研修Ⅱ			1														履修要件については別途定める。
		海外留学1～24			24														
		卒業研究	8												○				※3
他学科 関連科目		専門共有科目1～20			1														他学部・他学科の開設する専門科目を 40単位まで履修できる。
		専門共有科目Ⅰ～ⅩⅩ			2														

注1. 各コースの必修科目は、コース所属学生の必修とする。

注2. 幼稚園教諭、小学校教諭免許状を取得する場合、「情報リテラシ」は「PCⅠ」に読み替えられる。

注3. 卒業研究は3年半の就学期間を経た者のみ履修できる。

注4. 保育・幼児教育コース以外の学生がこの科目を履修した場合は自己開発科目として単位認定され、卒業に必要な単位とはならない。

注5. 初等教育コース以外の学生がこの科目を履修した場合は自己開発科目として単位認定され、卒業に必要な単位とはならない。

注6. 国際教養コース以外の学生がこの科目を履修した場合は自己開発科目として単位認定され、卒業に必要な単位とはならない。

別表 5 人間科学部 国際交流学科

専門教育科目 (その1)

資格関連科目
◎:必修、○:選択

コース	科目分類	授業科目の名称	単位数				授業時間数								日本語教員	資格関係者 ◎:必修、○:選択	備考
			必修	選択必修	選択	自己開発	1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期			
学科共通	専門基礎科目	異文化コミュニケーション論	2				2								◎		
		観光学概論	2				2									○	
		観光経営学		2			2									○	
		比較文化論	2				2								○		
		国際経済学		2			2										
		経営学概論	2				2										
		観光産業論		2				2								○	
		旅行業務論		2				2								○	
		旅行業法		2				2								○	
		日本経済論		2				2							○		
		マーケティング論		2					2							○	
		経済開発論		2					2						○		
		国際経営論		2					2								
		アジア文化・言語論Ⅰ		2				2							○		
		アジア文化・言語論Ⅱ		2					2						○		
		欧米文化・言語論		2				2							○		
		日本文化特論Ⅰ		2				2							○		
		日本文化特論Ⅱ		2					2						○		
		日本語学概論		2				2							◎		
		日本語教育学概論		2					2						◎		
		アカデミック英語Ⅰ		1		2										○	
		アカデミック英語Ⅱ		1		2										○	
		英語表現Ⅰ		1		2										○	
		英語表現Ⅱ		1		2										○	
		韓国語コミュニケーションⅠ	1					2									4科目のうち1科目を選択必修
		中国語コミュニケーションⅠ	1					2									
		英語コミュニケーションⅠ	1					2									
		日本語コミュニケーションⅠ	1					2						○			
		韓国語コミュニケーションⅡ	1						2								4科目のうち1科目を選択必修
		中国語コミュニケーションⅡ	1						2								
		英語コミュニケーションⅡ	1						2								
		日本語コミュニケーションⅡ	1						2					○			
		観光実習Ⅰa (国内)	2				4										2科目のうち1科目を選択必修 日本人学生はⅠbを、留学生はⅠaを履修する
		観光実習Ⅰb (国外)	2			4											
		国内研修	2	2							4						留学生は必修科目とする 日本人学生は選択科目とする
		海外研修Ⅰ (1月程度)	4	4				*	*								日本人学生は2科目のうち1科目を選択必修科目とする 留学生は選択科目とする 単位数は研修先での修得単位を認める最大単位数
		海外研修Ⅱ (3～6月程度)	20	20				*	*								
		情報リテラシ	2				2	2							◎		
		人間科学基礎演習	2					2									
		国際交流演習Ⅰ	2					2									
		国際交流演習Ⅱ	2						2								
専門学術科目		実践韓国語Ⅰ		1						2							4科目のうち1科目を選択必修
		実践中国語Ⅰ		1						2							
		実践英語Ⅰ		1						2							
		実践日本語Ⅰ		1						2				○			
		実践韓国語Ⅱ		1							2						4科目のうち1科目を選択必修
		実践中国語Ⅱ		1							2						
		実践英語Ⅱ		1							2						
		実践日本語Ⅱ		1							2			○			
		日本語検定対策Ⅰ				1			2								
		日本語検定対策Ⅱ				1				2							
		卒業研究	8												○		

専門教育科目 (その2)										資格関連科目 ◎:必修, ○:選択		備考					
コース	科目 分類	授 業 科 目 の 名 称	単 位 数			授 業 時 間 数											
			必 修	選 択 必 修	自 己 開 発	1 年 次		2 年 次		3 年 次			4 年 次		日 本 語 教 員	経 営 行 業 者 取 扱 機	
						前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期				
観光文化コース	専門 学 術 科 目	ソーシャルメディア特論		2							2				○	○	
		旅行業約款と実務		2								2				○	
		観光とファイナンス		2							2					○	
		文化人類学		2								2					
		第二言語習得論		2							2				◎		
		地域研究Ⅰ		2							2						
		地域研究Ⅱ		2								2					
		東西文化交流史		2								2					
		日本語教育文法		2							2				◎		
		日本語教育方法論		2								2			◎		
		日本語教育カリキュラム論		2									2		◎		
		日本語教育実習			1								2		◎		
		観光文化演習Ⅰ	2								2						観光文化コース所属学生は必修とする
		観光文化演習Ⅱ	2									2					
観光文化演習Ⅲ	2										2						
観光文化演習Ⅳ	2											2					
国際ビジネスコース	専門 学 術 科 目	各国ビジネス論Ⅰ		2							2						
		各国ビジネス論Ⅱ		2									2				
		国際貿易論		2								2					
		経営戦略論		2								2					
		実践企業経営論		2								2					
		簿記・会計学		2								2				○	
		アジア経済論		2								2					
		DX経営論		2									2				
		現代企業経営論		2									2				
		ソーシャルビジネス論		2									2				
		産学連携インターンシップⅠ		1								2					
		産学連携インターンシップⅡ		1									2				
		国際ビジネス演習Ⅰ	2									2					国際ビジネスコース所属学生は 8科目のうち「演習Ⅰ～Ⅳ」または「実践演習Ⅰ～Ⅳ」の 4科目(8単位)を選択必修とする
		国際ビジネス演習Ⅱ	2										2				
		国際ビジネス演習Ⅲ	2											2			
		国際ビジネス演習Ⅳ	2												2		
		国際ビジネス実践演習Ⅰ	2									2					
		国際ビジネス実践演習Ⅱ	2										2				
		国際ビジネス実践演習Ⅲ	2											2			
		国際ビジネス実践演習Ⅳ	2												2		
実践 地 域 研 究 コ ー ス	専門 学 術 科 目	実践地域演習Ⅰ	2								2					実践地域研究コース所属学生は必修とする	
		実践地域演習Ⅱ	2										2				
		実践地域演習Ⅲ	2											2			
		実践地域演習Ⅳ	2												2		
他 学 科 開 講 科 目	専門 共 有 科 目	専門共有科目Ⅰ～20		1												他学部・他学科の開講する専門科目を40単位まで履修で きる	
		専門共有科目Ⅰ～XX		2													

注1 「卒業研究」は、3年半の就学期間を経た者のみ履修できる。

専門教育科目(その1)

學則 39

専門教育科目(その2)

	授業科目の名称	単位数				授業時間数								専攻 保健 体育	免許 中・高 保健 体育 教諭	備考
		必 修	選 択 必 修	選 択	自 己 開 発	1年次		2年次		3年次		4年次				
						前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期			
専門学術科目 (スポーツ教育・ コーチング)	サッカー			1		2	2								◎	前・後期どちらかを受講
	バレーボール			1		2	2								◎	
	ソフトボール			1		2	2									
	生理学			2				2						●	◎	前・後期どちらかを受講
	陸上競技			1				2	2					●	◎	
	武道Ⅰ（柔道）			1				2	2						◎	
	武道Ⅱ（剣道）			1				2	2							
	ダンス・舞踊Ⅰ			1				2						●	◎	
	スポーツ心理学Ⅱ			2					2						○	
	スポーツ史			2					2						○	
	体育教材論			2					2					●		
	冬季実習			1					2						◎	
	野外実習			1				2							◎	
	コーチング論	2		2						2				●		スポーツ教育・コーチングコース必修、他コース選択
	器械運動			1						2				●	◎	スポーツ教育・コーチングコース必修、他コース選択
	スポーツ方法学	2		2							2				○	
	学校保健			2							2			●	◎	
	体づくり運動			1							2			●	◎	
	バスケットボール			1							2				◎	
	教職対策ゼミ1				2					2						
教職対策ゼミ2				2						2						
専門学術科目 (健康マ ネジメン ト)	レクリエーションスポーツ論			2		2										* バラスポーツ指導員(初級)資格 取得要件
	レクリエーションスポーツ			1			2									
	スポーツ産業論			2				2								
	パラスポーツ論				2			2								
	ゴルフ			1					2							
	テニス			1				2								
	スポーツ科学実習Ⅰ			2					2							
	スポーツ経営学			2					2							
	レクリエーション指導法実習				1				2							
	地域スポーツ経営論	2		2							2					健康マネジメントコース必修、他コース選択
	エアロビック理論			2					2							
	スポーツ科学実験			2						2						
	運動処方論	2		2						2					○	健康マネジメントコース必修、他コース選択
	健康心理学			2							2				○	
	生理心理学			2							2					
	疾病予防概論			2							2					
	スポーツ科学実習Ⅱ			2						2						
	エアロビックエクササイズ			1						2						
	スポーツインターンシップ				2						2					
	健康運動特講Ⅰ				2						2					
健康運動特講Ⅱ				2							2					
健康運動指導実習				1						2						
スポーツプログラマー実習				1							2					

専門教育科目(その3)

専門教育科目(その3)																
	授業科目の名称	単位数				授業時間数								専攻 保健体育	免許 中・高 保健体育 教諭	備考
		必修	選択必修	選択	自己開発	1年次		2年次		3年次		4年次				
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
(専門基礎科目 アスリート系)	専門スポーツ方法論		2					2								※1 アスリート養成コースに所属する学生のみ履修できる ※1
	競技者育成論		2						2							
	専門スポーツ実技1			4		8										
	専門スポーツ実技2			4			8									
(専門学術科目 アスリート養成)	戦略論	2								2						アスリート養成コース必修 他コースの学生も履修可 他コースの学生も履修可
	スポーツアナリスト入門			2					2							
	スポーツアナリスト実践演習			2						2						
	プロスポーツ経営論			2							2					アスリート養成コース必修
	専門スポーツ実技3	4					8									
	専門スポーツ実技4			4				8								
	専門スポーツ実技5			4					8							
	専門スポーツ実技6			4						8						
	専門スポーツ実技7			4							8					
	専門スポーツ実技8			4								8				

注1. 自己開発科目とは年間登録制限単位数(CAP制)に関係なく履修することができる科目であるが、卒業所定単位(124単位以上)には含まれない。各自の目的に沿って積極的に履修し、修得を目指すこと。

注2. ●保健体育専攻必修科目(卒業要件)、◎教職必修科目、◎教職選択必修科目、○教職選択科目

注3. 保健体育教諭免許以外の免許・資格の受験資格を得るには、「スポーツ健康学科免許・資格取得科目一覧表」にある必修科目を修得のこと。

注4. 「卒業研究」は3年半の就学期間を経た者のみ履修できる。

柔道整備コース

専門教育科目(その4)

	授業科目の名称	単位数				授業時間数								専攻	免許	備考
		必修	選択必修	選択	自己開発	1年次		2年次		3年次		4年次		保健体育	中・高保健体育教諭	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
専門基礎科目（共通）	健康科学基礎論	2				2										※1 ※1印10科目から14単位以上修得のこと
	スポーツ学基礎論	2					2								◎	
	人間科学基礎演習	2					2									
	運動学概論		2				2							●	◎	
	柔道整備学概論	2				2										
	スポーツマネジメント概論			2			2									
	スポーツ経営学概論			2					2						○	
	スポーツ科学概論			2		2								●	○	
	スポーツ指導者概論			2			2									
	アスリート概論			2			2									
	体力トレーニング概論			2				2						●		
	P C I	2				4										
	P C II			2			4									
	専門英語	2						2								
	海外研修Ⅰ	1														
	海外研修Ⅱ			1												
	海外留学1～2 4			24												
スポーツ健康演習 1			2				2									
スポーツ健康演習 2			2					2								
専門学術科目（共通）	スポーツ心理学Ⅰ			2				2						●	◎	※1 ※1 ※1 ※2 ※2印7科目から12単位以上修得のこと
	スポーツ生理学		2						2					●	◎	
	スポーツ解剖学		2						2						○	
	スポーツの倫理			2					2							
	スポーツ社会学			2					2						○	
	水辺実習			1					2						◎	
	バイオメカニクスⅠ		2						2					●	○	
	衛生学・公衆衛生学		2							2				●	◎	
	スポーツ栄養学	2								2					○	
	スポーツと法学			2						2						
	スポーツ統計法			2								2				
	バイオメカニクスⅡ			2							2				○	
	スポーツ医学	2									2				○	
	水泳・水中運動			1					2					●	◎	
	発育発達論			2								2			○	
	スポーツ健康演習 3			2							2					
	スポーツ健康演習 4			2								2				
	スポーツ健康演習 5			2									2			
	スポーツ健康演習 6			2										2		
	卒業研究		4											○		
	卒業研究		8											○		
	他学部・他学科連携科目	専門共有科目 1～2 0			1											
専門共有科目Ⅰ～ⅩⅩ				2												

専門教育科目(その5)

専門教育科目(その5)																
	授業科目の名称	単位数				授業時間数								専攻 保健 体育	免許 中・高 保健 体育 教諭	備考
		必修	選択必修	選択	自己開発	1年次		2年次		3年次		4年次				
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
専門学術科目 (スポーツ教育・ コーチング)	サッカー			1		2	2								◎	前・後期どちらかを受講
	バレーボール			1		2	2								◎	
	ソフトボール			1		2	2									
	生理学		2					2						●	◎	
	陸上競技			1				2	2					●	◎	
	武道Ⅱ(剣道)			1				2	2							
	ダンス・舞踊Ⅰ			1				2						●	◎	
	スポーツ心理学Ⅱ			2					2						○	
	スポーツ史			2					2						○	
	体育教材論			2					2					●		
	冬季実習			1					2						◎	
	野外実習			1				2							◎	
	コーチング論			2						2				●		
	器械運動			1						2				●	◎	
	スポーツ方法学			2							2				○	
	学校保健			2							2			●	◎	
	体づくり運動			1							2			●	◎	
	バスケットボール			1								2			◎	
	教職対策ゼミ1				2						2					
	教職対策ゼミ2				2							2				
専門学術科目 (健康マネジメント)	レクリエーションスポーツ論			2		2										* パラスポーツ指導員(初級)資格 取得要件
	レクリエーションスポーツ			1			2									
	スポーツ産業論			2				2								
	パラスポーツ論				2			2								
	ゴルフ			1					2							
	テニス			1				2								
	スポーツ科学実習Ⅰ			2					2							
	スポーツ経営学			2					2							
	レクリエーション指導法実習				1				2							
	地域スポーツ経営論			2							2					
	エアロビック理論			2					2							
	スポーツ科学実験			2						2						
	運動処方論			2							2				○	
	健康心理学			2							2				○	
	生理心理学			2								2				
	疾病予防概論			2								2				
	スポーツ科学実習Ⅱ			2						2						
	エアロビックエクササイズ			1							2					
	スポーツインターンシップ				2							2				
	健康運動特講Ⅰ				2							2				
健康運動特講Ⅱ				2								2				
健康運動指導実習				1							2					
スポーツプログラマー実習				1								2				
専門学術 科目(スポーツ 実習)	スポーツアナリスト入門			2					2							
	スポーツアナリスト実践演習			2						2						

専門教育科目(その6)

専門教育科目(その6)

	授業科目の名称	単位数				授業時間数								専攻 保健 体育	免許 中・高 保健 体育 教諭	備考
		必 修	選 択 必 修	選 択	自 己 開 発	1年次		2年次		3年次		4年次				
						前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期			
専門学術科目（柔道整復）	人体の構造と機能Ⅰ		2			2									○	※1 ※1印10科目から14単位以上 修得のこと
	人体の構造と機能Ⅱ		2			2										※1
	人体の構造と機能Ⅲ		2				2									※1
	生理学実習		1				2									※1
	解剖学実習		1				2									※1
	病理学		2					2								※2 ※2印7科目から12単位以上 修得のこと
	一般臨床医学		2						2							※2
	免疫学		2					2								※2
	外科学概論		2							2						※2
	整形外科学		2							2						※2
	リハビリテーション医学		2								2					※2
	社会福祉		2							2						※3 ※3印5科目から8単位以上修 得のこと
	柔道整復関係法規		2									2				※3
	柔道Ⅰ		2			2	2								◎	※3
	柔道Ⅱ		2					2	2							※3
	柔道Ⅲ		1							2						※3
	職業倫理と社会保障	2				2										
	柔道整復学総論Ⅰ	2				2										
	柔道整復学総論Ⅱ	2					2									
	柔道整復学各論Ⅰ	2						2								
	柔道整復学各論Ⅱ	2						2								
	柔道整復学各論Ⅲ	2							2							
	柔道整復学各論Ⅳ	2							2							
	柔道整復学各論Ⅴ	2								2						
	柔道整復学各論Ⅵ	2								2						
	柔道整復学各論Ⅶ	2									2					
	柔道整復学各論Ⅷ	2									2					
	柔道整復実技Ⅰ	2				4										
	柔道整復実技Ⅱ	2					4									
	柔道整復実技Ⅲ	2						4								
	柔道整復実技Ⅳ	2							4							
	柔道整復実技Ⅴ	2								4						
	柔道整復実技Ⅵ	2									4					
	柔道整復実技Ⅶ	2										4				
	柔道整復実技Ⅷ	1											2			
	臨床実習Ⅰ	2									6					
	臨床実習Ⅱ	2										6				
	包帯固定法Ⅰ	1					2									
	包帯固定法Ⅱ	1						2								
	柔道整復特講Ⅰ					4					4					
	柔道整復特講Ⅱ					4						4				
	柔道整復特講Ⅲ					4							4			
	柔道整復特講Ⅳ					4								4		
	柔道整復特講Ⅴ					4									4	
国家試験対策講座																

国家試験対策講座

注1. 自己開発とは年間登録制限単位数(CAP制)に関係なく履修することができる科目であるが、卒業所定単位(124単位以上)には含まれない。各自の目的に沿って積極的に履修し、修得を目指すこと。

注2. ●保健体育専攻必修科目(卒業要件)、◎教職必修科目、◎教職選択必修科目、○教職選択科目

注3. 保健体育教諭免許以外の免許・資格の受験資格を得るには、「スポーツ健康学科免許・資格取得科目一覧表」及び「スポーツ健康学科柔道整復コース柔道整復師国家試験受験資格取得に必要な授業科目及び単位数」にある必修科目を修得のこと。

注4. 「卒業研究」は3年半の就学期間を経た者のみ履修できる。柔道整復コースの学生はスポーツ健康演習3～6を履修した場合にのみ、「卒業研究」(8単位)の履修を認める。なお、「卒業研究」(4単位)と「卒業研究」(8単位)の両方の履修は認めない。

別表7 芸術学部 アート・デザイン学科 アニメ・映像コース、絵画・造形コース、ビジュアルデザインコース、建築・インテリアコース

専門教育科目(その1)

●必修、◎コースにおいて望ましい選択科目、○選択

学科目等		授 業 科 目	単 位 数	コース別				授業時間数								2級建築取得科目	備 考
				必修選択の別				1年次		2年次		3年次		4年次			
				アニメ・映像	絵画・造形	ビジュアルデザイン	建築・インテリア	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
専門基礎科目	情報の基礎	情報リテラシⅠ	1	●	●	●	●	2									
		情報リテラシⅡ	1	●	●	●	●		2								
		コンピュータ	2	◎	◎	◎	◎			4							
	表現の基礎	描画Ⅰ(基礎)	2	●	●	●	●	4									
		描画Ⅱ(応用)	2	●	●	●	●		4								
		基礎造形Ⅰ	2	●	●	●	●	4									
		基礎造形Ⅱ	2	●	●	●	●		4								
	デザインの基礎	基礎デザインⅠ	2	●	●	●	●	4									
		基礎デザインⅡ	2	●	●	●	●		4								
		写真・映像基礎実習	2	◎	◎	◎	◎		4								
		色彩計画	2	◎	◎	◎	◎			2						■	
		色彩計画演習	1	◎	◎	◎	◎			2							
		CG演習	1	◎	○	○	○			2							
		立体CG演習	1	◎	○	○	○				2						
	芸術・デザインの基礎理論	美術史Ⅰ－①(日本・東洋美術史概論)	2	●	●	●	●			2							
		美術史Ⅱ－①(西洋美術史概論)	2	●	●	●	●				2						
		建築概論	2	◎	◎	◎	◎	2								■	
		近代デザイン史	2	○	○	○	○			2						□	*
	アニメ・映像	アニメーションⅠ	3	◎	○	○	○			4							
		アニメーションⅡ	3	◎	○	○	○				4						
		メディアコンテンツ実習	3	◎	○	○	○						4				
		マンガ表現Ⅰ	2	◎	○	○	○		2								
		マンガ表現Ⅱ	2	◎	○	○	○			2							
		ミクストメディア表現Ⅰ	3	○	○	○	○					4					
		ミクストメディア表現Ⅱ	3	○	○	○	○						4				
		イラストレーション	2	◎	○	○	○					2					
	絵画・造形	絵画Ⅰ(油画)	3	○	◎	○	○			4							
		絵画Ⅱ(版画)	3	○	◎	○	○			4							
		装飾技法	3	○	◎	○	○				4						
		彫刻・フィギュア	3	○	◎	○	○				4						
		陶芸	3	○	○	○	○					4					
		図学及び演習	3	○	○	○	○				4						
工芸論		2	○	○	○	○						2					
工芸実習		2	○	○	○	○				4							
ビジュアルデザイン	印刷表現演習	1	○	○	◎	○			2								
	ビジュアルコミュニケーション	3	○	○	◎	○				4							
	情報デザイン	3	○	○	◎	○					4						
	グラフィックデザイン	3	○	○	◎	○						4					
芸術・デザインの理論	美術史Ⅰ－②(日本・東洋美術史特論)	2	○	○	○	○					2						
	美術史Ⅱ－②(西洋美術史特論)	2	○	○	○	○						2					
	芸術様式論	2	○	○	○	○						2					
	デザイン心理学	2	○	○	○	○			2								

学科目等		授 業 科 目	単 位 数	コース別				授業時間数								2 級 建 築 取 得 科 目	備 考
				必修選択の別				1年次		2年次		3年次		4年次			
				アニメ・映像	絵 画 ・ 造 形	ビジュアルデザイン	建 築 ・ インテリア	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期		
専 門 学 術 科 目	建築設計製図	設計演習Ⅰ	2	○	○	○	◎			4						■	
		設計演習Ⅱ	2	○	○	○	◎				4					■	
		CAD演習Ⅰ	2	○	○	○	◎			4						■	
		CAD演習Ⅱ	2	○	○	○	◎				4					■	
	建築計画・環境工学・設備	建築史	2	○	○	○	◎		2							■	
		住居計画	2	○	○	○	◎			2						■	
		住環境論	2	○	○	○	◎					2				■	
		建築設備概論	2	○	○	○	◎						2			■	
	建築・インテリア	建築構法	2	○	○	○	◎		2							■	
		構造力学	2	○	○	○	◎			2						■	
		構造演習	2	○	○	○	◎				4					■	
		建築材料学	2	○	○	○	○					2				□	*
	建築生産	建築施工論	2	○	○	○	◎						2			■	
		建築生産論	2	○	○	○	○					2				□	*
	建築法規	建築法規	2	○	○	○	◎						2			■	
	その他	インテリアデザインⅠ	2	○	◎	○	◎			2							
		インテリアデザインⅡ	2	○	◎	○	◎				2					■	
		エクステリアデザイン	3	○	◎	○	○					4					
		福祉住宅計画概論	2	○	○	○	◎					2				■	
		都市デザイン論	2	○	○	○	○					2				□	*
		環境マネジメント	2	○	○	○	○					2					
	学科共通	特別研究	4	●	●	●	●						4				
		卒業研究	8	●	●	●	●							2	2		
		専門英語	2	●	●	●	●		2								
		海外研修Ⅰ	1	●	●	●	●										日本人学生のみⅠを必修とする。履修要件については別途定める。
		海外研修Ⅱ	1	○	○	○	○										
		海外留学1～24	24	○	○	○	○										他学部他学科の開設する専門科目を40単位まで履修できる。
他学科関連科目	専門共有科目1～20	1	○	○	○	○											
	専門共有科目1～XX	2	○	○	○	○											

備考*:2級建築士受験資格取得は、*印の4科目より3科目以上を履修すること。

注

- 1 コース別必修選択欄の「●」は全コース必修科目、「◎」は当該コースにおいて望ましい選択科目、「○」は選択科目を示す。
- 2 教職課程履修希望者は、学生便覧の『教職課程』の履修細則を参照し履修すること。
- 3 2級建築取得科目の「■」は必修科目、「□」は選択科目を示す。
- 4 博物館学芸員課程履修希望者は、学生便覧の『教職学芸員資格の取得』を参照し履修すること。
- 5 図学及び演習は、高等学校教諭一種免許(工芸)を取得する者を対象とする。

専門教育科目(その1)

●必修、◎コースにおいて望ましい選択科目、○選択、◇自己開発科目

学 科 目 等		授 業 科 目	単 位 数	コース別				授業時間数								備 考	2級建築士取得科目	美容師養成科目
				必修選択の別				1年次		2年次		3年次		4年次				
				ア ラ ビ ン グ	ビ ジ ネ ス	ホ ス ピ タ リ テ ィ	ビ ュー テ ィ ブ	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期			
専 門 基 礎 科 目	情報の基礎	情報リテラシⅠ	2	●	●	●		2									□	
		情報リテラシⅡ	2	●	●	●			2								□	
	ライフデザインの基礎	ライフデザイン基礎演習	2	●	●	●		2									□	
		ライフデザイン演習Ⅰ	2	●	●	●			2								□	
		ライフデザイン演習Ⅱ	2	●	●	●				2							□	
	表現の基礎	描画Ⅰ(基礎)	2	○	○	○	4										□	
		描画Ⅱ(応用)	2	○	○	○		4									□	
		基礎造形Ⅰ	2	○	○	○	4										□	
		基礎造形Ⅱ	2	○	○	○		4									□	
	デザインの基礎	基礎デザインⅠ	2	○	○	○	4										□	
		基礎デザインⅡ	2	○	○	○		4									□	
		写真・映像基礎実習	2	○	○	○		4									□	
		色彩計画	2	◎	○	○			2							■	□	
	芸術・デザインの基礎理論	色彩計画演習	1	◎	○	○			2								□	
美術史Ⅰ－①(日本・東洋美術史概論)		2	◎	○	○			2								□		
美術史Ⅱ－①(西洋美術史概論)		2	◎	○	○				2							□		
美術史Ⅰ－②(日本・東洋美術史特論)		2	◎	○	○					2						□		
美術史Ⅱ－②(西洋美術史特論)		2	◎	○	○						2					□		
建築概論		2	◎	○	○	2									■			
専 門 学 術 科 目	建築設計製図	近代デザイン史	2	◎	○	○			2							□		
		設計演習Ⅰ	2	◎	○	○			4							■		
		設計演習Ⅱ	2	◎	○	○				4						■		
		CAD演習Ⅰ	2	◎	○	○				4						■		
	リビングプランニング	CAD演習Ⅱ	2	◎	○	○					4					■		
		建築史	2	◎	○	○		2								■		
		建築計画・環境工学・設備	2	◎	○	○			2							■		
		住居計画	2	◎	○	○					2					■		
		住環境論	2	◎	○	○						2				■		
		建築設備概論	2	◎	○	○							2			■		
		建築構造力学建築一般構造・建築材料	2	◎	○	○		2								■		
		建築構法	2	◎	○	○			2							■		
	構造力学	2	◎	○	○				2						■			
	構造演習	2	◎	○	○					4					■			
建築生産	建築材料科学	2	◎	○	○						2				□			
	建築施工論	2	◎	○	○							2			■			
	建築生産論	2	◎	○	○							2			□			

学科目等			授 業 科 目	単 位 数	授業時間数												備 考	2級建築取得科目	美容師養成科目																	
					コース別					1年次				2年次						3年次				4年次												
					必修選択の別					前期		後期		前期		後期				前期		後期		前期		後期										
					グラフィックデザイン	ビジネスデザイン	クリエイティブ	タリエンティ	タリエンティ	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期				後期	前期	後期	前期	後期												
専門学術科目	リビ ング グ ラ ン ニ ング	建築法規	建築法規	2	◎	○	○								2															■						
		その他	インテリアデザインⅠ	2	◎	○	○					2																				■				
			インテリアデザインⅡ	2	◎	○	○						2																				■			
			エクステリアデザイン	3	◎	○	○										4																■			
			福祉住宅計画概論	2	◎	○	○											2															■			
			都市デザイン論	2	◎	○	○											2															□			
	ホス ピ タ リ テ ィ ビ ジ ネ ス	マ ネ ジ メ ン ト	ホスピタリティビジネス入門Ⅰ	2	○	◎	◎	◎	2																								□			
			ホスピタリティビジネス入門Ⅱ	2	○	◎	◎	◎		2																								□		
			サービスマネジメント論	2	○	◎	◎	◎		2																									□	
			ブライダル/ホテルビジネス	2	○	◎	◎	◎				2																							□	
			ブライダルプランニング	2	○	◎	◎	◎						2																					□	
			マーケティング論Ⅰ	2	○	◎	◎	◎	2																										□	
			マーケティング論Ⅱ	2	○	◎	◎	◎			2																								□	
			データドリブン経営	2	○	◎	◎	○					2																						□	
			SNSマーケティング	2	○	◎	◎	◎						2																					□	
			経営分析Ⅰ	2	○	◎	◎	◎				2																							□	
			経営分析Ⅱ	2	○	◎	◎	◎						2																					□	
			ブランド戦略論Ⅰ	2	○	◎	◎	◎				2																							□	
			ブランド戦略論Ⅱ	2	○	◎	◎	◎						2																					□	
			アントレプレナーシップ論	2	○	◎	◎	◎	2																										□	
			アイデア・ラボ	2	○	◎	◎	◎	2																										□	
			デザイン思考演習	2	○	◎	◎	◎			2																								□	
			戦略的デザイン思考演習	2	○	◎	◎	◎					2																						□	
			ビジネス・コミュニケーションⅠ	2	○	◎	◎	◎	2																										□	
			ビジネス・コミュニケーションⅡ	2	○	◎	◎	◎			2																								□	
			ビジネス心理論Ⅰ	2	○	◎	◎	○					2																						□	
			ビジネス心理論Ⅱ	2	○	◎	◎	○							2																				□	
			人間学Ⅰ	2	○	◎	◎	◎					2																						□	
			人間学Ⅱ	2	○	◎	◎	◎							2																				□	
			ファッションビジネスⅠ	2	○	○	◎	◎	2																										□	
			ファッションビジネスⅡ	2	○	○	◎	◎			2																								□	
ビュー ティ ク リ エ ィ ベ ィ ブ	美容科学	衛生管理Ⅰ	2	○	○	●								2																		■				
		衛生管理Ⅱ	2	○	○	●										2																	■			
		衛生管理Ⅲ	2	○	○	●												2															■			
		化粧品化学Ⅰ	2	○	○	●									2																		■			
		化粧品化学Ⅱ	2	○	○	●												2											</							

学科目等			授 業 科 目	単 位 数	コース別		授業時間数								備 考	2 級 建 築 取 得 科 目	美 容 師 養 成 科 目		
					必修選択の別		1年次		2年次		3年次		4年次						
					ブ リ ジ ン グ	ホ ス ビ タ リ テ ィ	ク リ エ ー テ ィ ブ	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期				後 期	
専門学術科目	美容科学	化粧心理学	2	○	○	◎	2										□		
		皮膚科学	2	○	○	◎		2									□		
		化粧品学	2	○	○	◎	2										□		
		メイクアップメソッドⅠ	2	○	○	◎	2										□		
		メイクアップメソッドⅡ	2	○	○	◎		2									□		
		メイクアップメソッドⅢ	2	○	○	◎			2								□		
		ネイルデザイン概論	2	○	○	◎	2										□		
		表現文化Ⅰ	2	○	○	◎			4								□		
		表現文化Ⅱ	2	○	○	◎				4							□		
		美容福祉	2	○	○	◎				2							□		
	美容管理学及び文化論	運営管理	2	○	○	●					2						■		
		関係法規・制度	2	○	○	●						2					■		
		文化論Ⅰ	2	○	○	●						2					■		
		文化論Ⅱ	2	○	○	●							2				■		
		その他	美容技術	美容技術理論Ⅰ	2	○	○	●					2						■
				美容技術理論Ⅱ	2	○	○	●						2					■
美容技術理論Ⅲ	2			○	○	●							2				■		
美容技術理論Ⅳ	2			○	○	●							2				■		
美容技術理論Ⅴ	2			○	○	●							2				■		
美容デザイン実習ⅠA	4			○	○	●	8										■		
美容デザイン実習ⅠB	4			○	○	●		8									■		
美容デザイン実習ⅡA	4			○	○	●			8								■		
美容デザイン実習ⅡB	4			○	○	●				8							■		
美容デザイン実習ⅢA	4			○	○	●					8						■		
美容デザイン実習ⅢB	4			○	○	●						8					■		
美容デザイン実習ⅣA	4			○	○	●							8				■		
美容デザイン実習ⅣB	4	○	○	●								8			■				
美容師 国家試験対策	国家試験対策Ⅰ	2	◇	◇	◇						4					■			
	国家試験対策Ⅱ	2	◇	◇	◇							4				■			
	国家試験対策Ⅲ	4	◇	◇	◇								8			■			
	国家試験対策Ⅳ	4	◇	◇	◇									8		■			
	国家試験対策Ⅴ	4	◇	◇	◇							2	2	筆記試験対策		■			
	国家試験対策Ⅵ	4	◇	◇	◇							2	2	筆記試験対策		■			
専門学術科目	学科共通	イベントプロデュース論	2	●	●	●	2												
		イベントプロデュース演習	2	●	●	●		2											
		イベントマネージメント論	2	○	○	○			2										
		イベントマネージメント演習	2	○	○	○				2									
		特別研究Ⅰ	2	●	●	●					2								
		特別研究Ⅱ	2	●	●	●						2							
		卒業研究	8	●	●	●							○	○					
		専門英語	2	●	●	●			2										
		海外研修Ⅰ	1	●	●	●													
		海外研修Ⅱ	1	○	○	○													
		海外留学Ⅰ～2・4	24	○	○	○													
		国内実習	2	○	○	○													
	他学科関連科目	専門共有科目Ⅰ～20	1	○	○	○										他学部他学科の開設する専門科目を40単位まで履修できる。			
		専門共有科目Ⅰ～XX	2	○	○	○													

- 注 1 自己開発科目の単位は、トータルビューティ学科の卒業に必要な単位に含まない。
- 2 資格関連科目の「■」は必修科目、「□」は選択科目。
- 3 資格関連科目「美容師養成科目」の「■」については、5分の4以上の出席をもって受験資格とする。
- 4 資格関連科目「2級建築取得科目」の「□」については、4科目より3科目以上を選択すること。
- 5 自己開発科目とは年間登録制単位数(CAF制)に関係なく履修することができる科目であるが、卒業所定単位(124単位)には含まれない。各自の目的に沿って積極的に履修し、修得を目指すこと。

学則の新旧比較対照表

新 旧 比 較 対 照 表

新				旧			
(学部、学科及び学年定員) 第2条 本学に次の学部及び学科を置き、その学生定員を次のとおりとする。				(学部、学科及び学年定員) 第2条 本学に次の学部及び学科を置き、その学生定員を次のとおりとする。			
医療学部	学部・学科	入学定員	収容定員	学部・学科	入学定員	収容定員	
	医療工学科	45人	180人	医療工学科	45人	180人	
	健康栄養学科	25人	100人	健康栄養学科	30人	120人	
	人間科学部	心理臨床・子ども学科	180人	人間科学部	心理臨床・子ども学科	160人	
芸術学部	学部・学科	入学定員	収容定員	学部・学科	入学定員	収容定員	
	国際交流学科	40人	160人	国際交流学科	30人	120人	
	スポーツ健康学科	95人	380人	スポーツ健康学科	80人	320人	
	芸術学部	アート・デザイン学科	120人	芸術学部	アート・デザイン学科	200人	
	トータルビューティ学科	20人	80人		トータルビューティ学科	100人	

附 則

- この学則は、令和8年4月1日から施行する。
- 学則第2条の規定にかかわらず、令和7年度以前の学部学科名称及び学生定員は従前のとおりとする。
- 学則第12条の規定にかかわらず、令和7年度以前の在学生は従前のとおりとする。
- 学則第36条の規定にかかわらず、令和7年度以前の在学生は従前のとおりとする。

附 則

- この学則は、令和7年4月1日から施行する。
- 学則第2条の規定にかかわらず、令和6年度以前の学部学科名称及び学生定員は従前のとおりとする。
- 学則第12条の規定にかかわらず、令和6年度以前の在学生は従前のとおりとする。
- 学則第36条の規定にかかわらず、令和6年度以前の在学生は従前のとおりとする。

学校法人東亜大学学園理事会議事録（抄）

1. 開催日時 令和7年5月31日（土） 13時30分～17時05分
2. 開催場所 東亜大学1号館2階1203会議室
3. 理事現在数 7名（寄附行為第5条）
4. 出席者 理事 7名 鶴澤和宏、河内昭弘、古川史高、百瀬威三郎、
岡本哲治、上野孝雄、村田 悟
監 事 2名 藤上博之、松村 久
事務局 1名 勝岡政彦（法人事務局）

5. 前回議事録の確認

6. 議事

本日の理事会が寄附行為第16条第3項により招集され、定刻に至り同上第10項に規定する定足数に達したので、同条第7項により理事長百瀬威三郎氏が議長となり、開会を宣し、前回の議事録（案）を確認したのち、議案審議等を行った。

議案の審議の要領及び賛否の結果は、次のとおりである。

【前回議事録の確認】

（略）

【審議事項】

- （1）令和6年度会計決算及び令和6年度事業報告について

（略）

- （2）学校法人東亜大学学園就業規則（改正案）について

（略）

- （3）収容定員変更及び学科名称変更に係る学則変更届について

河内理事より収容定員変更及び学科名称変更に係る学則変更届について、資料を基に説明された。現在、令和8年4月1日学則改正に向けた届出の準備を進めており、文部科学省へメールで事前相談に諮る旨説明された。

そして、本件については教授会で審議され、以下の通り決議された旨説明された。

【名称変更】

- ・国際交流学科 → 国際教養学科

【収容定員変更】

- ・健康栄養学科：（入学定員）30人→25人（収容定員）120人→100人
 - ・臨床心理・子ども学科：（入学定員）40人→45人（収容定員）160人→180人
 - ・国際交流学科（名称変更後は国際教養学科）：（募集定員）30人→40人（収容定員）120人→160人
 - ・スポーツ健康学科：（入学定員）80人→95人（収容定員）320人→380人
 - ・アート・デザイン学科：（入学定員）50人→30人（収容定員）200人→120人
 - ・トータルビューティ学科：（入学定員）25人→20人（収容定員）100人→80人
- 入学定員の総数については、変更前と同じ300人とする。

収容定員変更及び学科名称変更に係る学則変更届について審議した結果、理事会の承認が得られた。

【 配付資料 】

▽東亜大学学則（R8.4.1 改正案）

（４）その他

1. 商工組合中央金庫からの資金の短期借入について
（略）

【 報告事項 】

（５）管理運営に関する諸事項について

- ①学生募集状況について
（略）
- ②資金繰りについて
（略）
- ③その他
（略）

以上により、本日の議事を終了したので、議長は閉会を宣した。

（次回理事会は令和 7 年 6 月 21 日（土）13：00 を予定）

この決議を明確にするためこの議事録を作成し、議長および出席した理事及び出席した監事全員次に署名する。

令和 7 年 5 月 31 日

理 事	鵜 澤 和 宏
理 事	河 内 昭 弘
理 事	古 川 史 高
議長 理事長	百 瀬 威三郎
理 事	岡 本 哲 治
理 事	上 野 孝 雄
理 事	村 田 悟
監 事	藤 上 博 之
監 事	松 村 久

この抄本は、原本の関係部分を抜粋したものに相違ありません。

令和 7 年 5 月 31 日

学校法人 東亜大学学園

理事長 百 瀬 威 三 郎



2025.5.14

医療学部長 岡本 哲治

学部事務担当 梶間はるか

2025 年度 第 3 回医療学部（拡大）教授会議事録

日 時：2025 年 5 月 14 日（水）12：10～

会議形態：Zoom 会議

大石	小田	保田	萱島	長尾	池田（賢）	佐藤（拓）	佐藤（裕）	中野（公）	池田（睦）
○	○	○	委	○	委	委	○	○	委
中尾	相本	鶴原	野崎	児玉	河本	渡邊	伊藤	城田	竹之上
○	○	○	○	○	委	○	○	○	欠
大松	村田	岡本	松野	向井	中川	小木曾	城野		
○	○	○	○	○	○	○	○		

学部長（議長）岡本哲治教授から教授会招集があり、本日の教授会が学則第 46 条の規定により招集され、同 49 条に規定する教授会員の過半数が出席し、所定の定足数に達したので審議および報告に入った。

I. 議題

①2026 年度 医療学部健康栄養学科管理栄養士専攻入学定員について

岡本学部長、松野学科長より説明があり、健康栄養学科管理栄養士専攻の入学定員を 5 名削減し、25 名とすることが承認された。

②入試合否判定：国外留学生秋季入学試験

健康栄養学科 1 名（フードビジネスコース 1 名）

審議の結果、上記 1 名を合格とした。

以上

人間科学部長
事務担当

瀧田 修一
原田 暁弥

2025 年度 第 4 回人間科学部教授会議事録

瀧田	桑野浩	織田	桑野裕	松井	大石	櫛田	高井	福田	酒井
○	○	○	○	○	○	○	○	○	委
山崎	鵜澤	伊藤	木村	具志堅	西澤	柳沢	金	坪井	尾藤
○	委	○	○	欠	欠	○	欠	○	欠
右田	佐柳	井手	西条	佐幸	平澤	永添	黄		原田
委	委	委	○	委	○	○	欠		○

日時：5 月 14 日（水）12：10～

場所：Zoom 会議

1 2025 年度第 1・2・3 回教授会議事録について承認された。

2 議題

①学籍異動について

■スポーツ健康学科

【退学】25HS056 千葉 亮平 事由：進路変更のため 2025.5.31 付退学

上記 1 名の学籍異動について承認された。

②2026 年度各学科の定員変更について

学部	学科名	変更前	変更後
人間科学部	心理臨床・子ども学科	40	45
	国際交流学科	30	40
	スポーツ健康学科	80	95

上記のとおり承認された。定員変更に伴い各学科で変更手続き等について確認のうえ準備を進めておくようにとの指示があった。

3 報告

・第 1 回教授会で承認された懲戒処分について

■スポーツ健康学科 1 名：21HS026

上記事案について 5/7 に鵜澤学長より懲戒を通知したことが学部長より報告された。

処分内容：学則第 25 条 3 項 4 により

停学 3 ヶ月（2024.11.1～2024.11.30、2025.4.1～2025.5.31：通算）

4 その他

・次回開催予定：6 月 18 日（水）12：10～

以上

2025 年度 第 3 回 芸術学部教授会議事録

■日時：5 月 23（金） 12：10

■場所：メール会議

松尾	桜木	川野	大久保	清永	文	宮野	亀ヶ谷
○	○	○	○	○	○	○	○
山本	杜川	佐藤	赤崎	正清	大音		細石
○	○	○	○	○	○		○

定刻に到り、学科長（議長）松尾伊知郎から教授会招集の挨拶があり、本日の教授会が学則第 46 条の規定により招集され、同 49 条に規定する教授会員の過半数が出席し、所定の定足数に達したので審議に入った。

■前回会議議事録確認

- ・2025 年度第 2 回会議議事録は承認された。

1 議題

① 2026 年度 学科定員変更について

	変更前	変更後	増減数
アート・デザイン学科	50	30	- 20
トータルビューティ学科	25	20	- 5

以上、2026 年度学科定員の変更について説明があり、出席委員審議の結果、学科定員の変更が承認された。

2 その他

以上

学則変更の趣旨等

1. 学則変更（収容定員変更）の内容

以下のように、定員の変更を行いたい。東亜大学全体の総定員300人はそのままである。

- ①医療学部健康栄養学科の定員30人を25人に変更する。従って医療学部の定員75人は70人に変更となる。
- ②人間科学部心理臨床・子ども学科の定員40名を45名に変更、人間科学部国際交流学科の定員30名を40名に変更、人間科学部スポーツ健康学科の定員80人を95人に変更する。従って人間科学部の定員150人は180人に変更となる。
- ③芸術学部アート・デザイン学科の定員50人を30人に変更、芸術学部トータルビューティ学科の定員25人を20人に変更する。従って芸術学部の定員75人は50人に変更となる。

2. 学則変更（収容定員変更）の必要性

1) 医療学部健康栄養学科の定員30人を25人にする。

○収容定員変更の必要性

医療学部健康栄養学科は平成19年に医療工学部医療栄養学科として開設され、平成21年に医療学部医療栄養学科、平成24年に医療学部健康栄養学科に名称変更された。食生活における栄養を的確に評価し、適切かつ高度な指導ができる実践的応用力を備えた人材を養成してきた。しかし、開設時から定員確保が困難な状況が続き、入学定員を当初の80人から40人、そして平成29年度には40人から30人へと定員の縮減を行った。令和2年度には食のコーディネーターやマネジメントについて教育するフードビジネスコースを立ち上げ、定員を確保できる見込みが生じたため、定員30人から40人へと増員を行い、学生確保に尽力した。しかし、令和3年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響等もあり、健康栄養学科の入学定員を充足するに至らず、収容定員を大幅に割り込んでいる状況が現在も続いているため、令和6年度に40人から30人へ減員を行い、学生確保に努力をしてきた。しかし、「学生確保の見通し等を記載した書類（資料）」にあるように収容定員を割り込んでいる状況に変化はなく、またオープンキャンパス等での感触も厳しいため、定員25人に縮小し、学生募集に努力してまいりたい。

2) 人間科学部心理臨床・子ども学科の定員40人を45人にする

○収容定員変更の必要性

人間科学部心理臨床・子ども学科では、心理学、教育学、保育学を基盤に、人間の心理的・社会的・身体的発達過程を科学的に理解し、教育と人間理解に関する知識を備えた人材を育成している。心理臨床分野では、心理臨床コースを通じて、公認心理師（大学院修了後）、臨床心理士（大学院修了後）の受験資格、および認定心理士の資格を、保育・教育分野では、

児童教育専攻の保育・幼児教育コースで保育士資格および幼稚園教諭一種免許状を、初等教育コースで小学校教諭一種免許状を取得することができる。総合コース（2026年度から改称）では、異文化理解を深めさまざまな背景を持つ外国人との協働的な学びを通じて、国際的な視野を持つ教育・福祉人材を育成することを目指している。

このように、多様な分野で総合的な学びを提供し、実践的な資格を取得できる環境を整え、また、個々の学修進度や進路希望に応じたきめ細かな指導を行い、学びの定着と進路実現をサポートする体制を整備し、定員を45名に増員し、学生確保に努力してまいりたい。

3) 人間科学部国際交流学科の定員30人を40人にする

○収容定員変更の必要性

本学科は、人間科学部の設置の趣意に基づいて国際交流学科として名称変更して以来、国際社会の変化に伴い日本への東アジアの留学生の増加に応じてきた。特に東アジアの経済成長とともに日本への急激な増加に対して、その要望に応えるべく教育カリキュラムを準備し多くの韓国や中国、ベトナム等から向学心溢れる留学生を受け入れてきた。

同時に日本人学生もそうした環境において直接的に国際性を多面的に学ぶことができる大学であることも本学の魅力としてアピールしてきた。

しかし、今日的に東南アジア諸国の経済環境の激変と教育環境の変化、そして留学生そのものの留学することへの志向変化により、安定的に向学心に溢れる留学生の獲得が難しい状況となりつつある。

よって、学生の量・質ともに高等教育機関として国際交流という学科名に適する教育・研究の場として、本学科の教育プログラム充実と学生の資質向上を図るべく募集定員を30人から40人に変更して、変化する国際社会に即応する人材の育成に努めたい。

4) 人間科学部スポーツ健康学科の定員80人を95人にする。

○収容定員変更の必要性

平成19年度に総合人間・文化学部とサービス産業学部の改組から開設した人間科学部スポーツ健康学科では、中学校及び高等学校教諭一種免許状（保健体育）の他、健康運動指導士や健康運動実践指導者、レクリエーションインストラクターなどの資格取得支援を中心とし、平成24年度入学者からは柔道整復師の国家試験受験資格が取得可能となった。更には、硬式野球部や男子バレーボール部等複数の強化クラブ学生が本学科に所属している。このように教員養成から、健康科学・医療系の資格取得そしてアスリート養成まで、多様な教育プログラムを擁して充実を図り、平成28年度に定員を70人から80人に変更した。しかし、平成29年度から令和元年度まで十分な学生確保ができず、令和2年度に一旦増員した定員を80人から65人に縮減を行った。その後発生した新型コロナウイルス感染症により、特にスポーツ活動の実施には大きな支障が生じた。しかし本学のスポーツ活動の経験と実績及びクラブ活動の監督及びコーチの人的充実を図ることで、令和4年度の入学者数は93

人、令和5年度の入学者数は86人となり、令和5年度には収容定員充足率が124%に達した。今後もより多くの学生に教育の機会を与えたい為、定員80人から95人に変更を行い、これからも社会及び地域の要求に応えられる教育の場としたい。

5) 芸術学部アート・デザイン学科の定員50人を30人にする。

○収容定員変更の必要性

芸術学部アート・デザイン学科は、平成5年にデザイン学部デザイン学科を開設し、平成24年に芸術学部アート・デザイン学科に名称変更された。開設当時は日本では数少ないデザイン系学部として、ユニークなデザイン教育を施し、地域社会に貢献してきた。地方私立大学というハンデを受けながらも学生のニーズに応えるために映像、アニメーション、インテリアデザインといった多様化にも対応してきた。学生確保に尽力した結果、令和5年度は32人の学生を確保でき、収容定員充足率は100%を超える状況となった。この実績も踏まえて、今後も学生及び社会の要求に応え、多くの学生に教育の機会を与えたい為、定員50人から30人へ変更を行いたい。

6) 芸術学部トータルビューティ学科の定員25人を20人にする。

○収容定員変更の必要性

芸術学部トータルビューティ学科は平成19年にデザイン学部トータルビューティ学科として開設され、平成24年に芸術学部トータルビューティ学科に名称変更された。日本初の4年制大学での美容師養成施設としてスタートし、美容のみの専門技術者だけではなく、新しいサービスを産み出し、人々にくつろぎや豊かさ、心身の健康をもたらすことでそれぞれの固有の美の実現を目指す人材育成を目的とした新学科として開設しました。平成23年には入学者が26名人なり定員を30人から40人に変更したが、その後十分な学生確保が出来ず、平成28年には定員40人を20人に縮減したが、学生募集活動の成果もあり、令和元年度には収容定員充足率も93%となったことも踏まえ、令和2年度には定員を再度30人に増員を試みた。しかし、その後の学生募集活動が十分に振るわず、令和5年度には収容定員充足率が62%となった。トータルビューティ学科では、幅広い教養と芸術の知識を持ち、社会の変化に対応できる、美容等の専門的技術を身につけた人材の養成を目的とし、日本の数少ない美容師養成施設である。今後も学生及び社会の要望に応え続けていく為に、定員25人を適正規模であると考えられる20人に変更を行いたい。

3. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

○教育課程の変更内容：特になし

○教育方法及び指導方法の変更内容：特になし

○教員組織の変更内容：特になし

○大学全体の施設・設備の変更内容：特になし

学生確保の見通し等を記載した書類

1) 医療学部健康栄養学科

○学生確保の見通し

医療学部健康栄養学科は管理栄養士の養成施設として、隣接県に同等分野を有する実績のある大学が多いこともあり、開設時より学生確保に非常に苦勞してきた。これまでも努力はしてきたが、まずは管理栄養士の国家試験合格率を上げることで、地域社会や学生の評価を向上させなければならない。また、管理栄養士の他にも食に関する様々な学びの場である事を周知していく必要がある。近年、短大栄養学科からの編入学が増加している。短大栄養学科の募集停止も原因の一つと考えられ今後も増加が見込まれる。さらに本学は、従来より東アジア圏内の国々からの留学生を広く受け入れており、志願者の対象を日本語レベルの高い中国・韓国学生に拡大し、管理栄養士有資格者を輩出してきた。今後も東アジア圏の対象国を拡大し、留学生確保を目指したい。

医療学部健康栄養学科は、「1. 教育の方法を組織的に見直し、各種試験合格률을向上させる」、「2. 卒業後に専門性を生かした多様な職業選択を可能とする」、「3. 学科独自の特色をアピールし、教職員一体となって学生募集を行う」、「4. 短大栄養学科の編入学生や国外留学生の募集をさらに強化する」を目標とし、卒業後は幅広い選択肢がある事を強調することで学生確保に努めたい。

○学生確保に向けた具体的な取組状況

1. については、単位修得のレベルを下げるのではなく、今まで以上に学生一人ひとりに対して丁寧かつ質の良い教育を行う。特に国家試験を受験するにあたっては、時間外補習や個人指導など学習の進捗に応じた教育を提供する。

2. については、健康運動実践指導者やフードコーディネーターなども併せて取得することにより、職業選択の幅を広げる指導を行う。また食文化などにも精通が可能となるようカリキュラム構成を行う。

3. については、教職員が学科の特色を理解し、現場の状況を共有化することで、本学科の他大学にないアピールポイントを再認識させる場を設ける。また資格取得のみならず、卒業後の進路までの面倒見のいい教育の場であることをアピールし、その実現に向けた努力を行う。

4. については、今まで未実施であった近隣の短期大学栄養学科への広報活動を開始し、大学と短大間での編入学協定書を準備中である。海外留学生については、ベトナム・ネパール・カンボジアにも募集活動を展開している。

2) 人間科学部心理臨床・子ども学科

○学生確保の見通し

人間科学部心理臨床・子ども学科では、心理学、教育学、保育学を基盤に、人間の心理的・社会的・身体的発達過程を科学的に理解し、教育と人間理解に関する知識を備えた人材を育成している。心理臨床分野では、心理臨床コースを通じて、公認心理師（大学院修了後）、臨床心理士（大学院修了後）の受験資格、および認定心理士の資格を、保育・教育分野では、児童教育専攻の保育・幼児教育コースで保育士資格および幼稚園教諭一種免許状を、初等教育コースで小学校教諭一種免許状を取得することができる。総合コース（2026年度から改称）では、異文化理解を深めさまざまな背景を持つ外国人との協働的な学びを通じて、国際的な視野を持つ教育・福祉人材を育成することを目指している。

このように、多様な分野で総合的な学びを提供し、実践的な資格を取得できる環境を整え、また、個々の学修進度や進路希望に応じたきめ細かな指導を行い、学びの定着と進路実現をサポートする体制を整備している。さらに、地元の教育・保育機関と連携することにより、実践的な学びの機会として、地域の子育て支援事業やボランティア活動を通じて、実社会との接点を持ちながら成長できる環境を提供している。

○学生確保に向けた具体的な取り組み状況

近隣地域には、同様の学科（心理学、教育学、保育学など）を有する大学が複数存在しており、地域内での競争が激化している。ただし、本学は県内の私立大学で唯一、博士後期課程まで臨床心理学専攻を備えており、公認心理師と臨床心理士の取得希望者が多いこともあり、心理臨床コースでは毎年20～25名程度が安定的に入学している。他方で、児童教育専攻および総合コースの知名度が低いことが課題となっている。そこで本学科では、下関地区を中心に、高等学校への個別訪問や出張講義の実施、進学ガイダンスへの参加を通じて、教員や進路指導担当者との連携を強化し、大学の魅力を直接伝える機会の創出を進めている。さらに、「県内進学・仕事魅力発信フェア in やまぐち」での体験ブースの設置、下関市次世代育成支援拠点施設「ふくふくこども館」での地域連携月間イベントの開催、NPO法人「下関子ども・子育てネット」との協同主催「子育てひろば in 東亜大学」の開催など、高校生や地域住民に対して学科・コースの情報発信を継続している。

今後も、体験型オープンキャンパスの充実を図り、心理学実験や保育実習体験など、学科の学びを実際に体験できるイベントを積極的に実施し、学科の特性や学修内容を直感的に理解してもらう機会を学内外で提供していきたい。また、2024年度からは、学内実施のオープンキャンパスで4つのコースの企画を同一会場で実施し、各分野を横断するカリキュラムや学科の雰囲気を感じ取れるように実施している。今後もこの取り組みを継続していく予定である。さらに、2025年度からは中国にある複数の提携大学からの編入学生も受け入れが増加していることから、彼らの資格取得や就職先に関する対応を検討していきたい。

3) 人間科学部国際交流学科

○学生確保の見通し

急速な少子化により学生確保が困難な地方私大の現状にあって、人間科学部国際交流学科では、大学環境の国際化を目指し、日本国内のみならず、中国、韓国、ベトナム、ミャンマー、ネパールなどのアジアからの多国籍な学生確保を実践してきた。そしてその学生たちに外国語科目を含む基礎教養科目および専門科目から構成される履修カリキュラムを提供し、担任制をとったきめ細やかな指導に基づき、国内外で活躍できる高度人材を育ててきた。特に3年次からは「観光文化コース」、「国際ビジネスコース」、そして「実践地域研究コース（令和8年度より新設）」いずれかへのコース選択を設け、より専門的な知識の習得につながる指導体制を整備してきたことで、学生たちの就職率にもつながり、山口県および九州地方のみならず、関西、関東圏の企業とのマッチングにも結実している。

しかしながら日本経済の低迷を背景とする地方経済の伸び悩みもあり、中長期的に安定した留学生確保が予見できるとは言い難い状況でもある。今後は、海外提携校との連携強化を図りつつ、既存の指導体制を、学士学位取得からキャリア形成および大学院進学を見通したスケジュール計画を学生自身が可視化できる指導へと、より充実させていく必要性を検討している。

○学生確保に向けた具体的な取り組み状況

具体的な取り組みについては、第一に、海外提携校からの「2+2（ダブルディグリー）プログラム」を含む編入学生受け入れを推進することで、主に中国、韓国からの一定数の学生確保を目指している。また交換留学生の受け入れも積極的に行い、本学科に在籍することによる教学のメリットを実感してもらうことを通じて、正規生入学や編入学へと結び付けていけるように取り組んでいる。

第二に、国際交流スペース「iko-i」やランゲージセンターの設置を大学組織に働きかけ、それを実現したことで、留学生に対する語学を含んだ支援体制の充実を図っている。これにより結果的には国籍を超えた学生交流の場が構築され、学生生活の安定、ひいては地域社会における多文化共生の実現に貢献しており、学科の魅力としてこの点を広く周知することで学生確保につながると考えている。

第三に、山口県中小企業同友会との連携によるワークショップの実施を通じた地方企業への就職機会や、国際企業等への就職実績をさらに周知していく。この点から卒業後のキャリアアップを具体的に見据えたキャンパスライフを支援する体制の充実を提示している。

4) 人間科学部スポーツ健康学科

○学生の確保の見通し

人間科学部スポーツ健康学科は中学校及び高等学校の教諭一種免許状（保健体育）が取得可能な保健体育専攻、そして傷害の予防とケア・適切な手当のできる柔道整復師を養成する

柔道整復コースを設置し、学校や社会において体育・スポーツ振興、健康及び体力増進の分野で貢献してきた。また、硬式野球部や男子バレーボール部などの強化クラブを設置し、スポーツ界で活躍するアスリートの養成も行ってきた。しかし、スポーツ及び健康科学系大学の増設に伴い、学生確保の面では厳しい競争を強いられている。

人間科学部スポーツ健康学科は、「1. 教員採用だけでなく、各種資格を取得することにより卒業後の進路の多様化させるデュアルカリキュラムを提供する」、「2. 柔道整復師の養成施設であることによるスポーツと医療を同時に学べる学問の場であることの更なる周知徹底」を目標とし、定員充足に向けて学生確保に励みたい。

○学生確保に向けた具体的な取組状況

1. については、中学校及び高等学校教諭一種免許状（保健体育）の取得に向けて、近隣の小中学校と連携し、学生のうちから教育現場を体験できる仕組みを本学科独自で確保している。上級生になってから教育実習で初めて教育現場を経験するという仕組みではなく、下級生のうちから教育現場を多数経験することで、教員を目指す学生の資質向上に取り組んでいる。合わせて、近隣の自治体が実施している教育現場に赴く制度も活用し、他大学に比べて、教育現場を多く経験することができるように取り組んでいる。加えて、中学校・高等学校の教員免許取得のみならず、健康運動指導士・健康運動実践指導者 やレクリエーションインストラクター、初級 障害者 スポーツ指導員など多数の資格を取得することにより、教育現場以外にもスポーツジム等のインストラクターといったスポーツの楽しさを伝えることができる人材育成を行う。

2. については、柔道整復師の国家試験受験資格と併せて、中学校及び高等学校教諭一種免許状（保健体育）が取得できることを強調し、アピールする必要がある。しかし、柔道整復師の合格率は平成 30 年度に 75%と全国平均（65.8%）を超えることができたが、その後、柔道整復師協会の方針に従い、本学科は受験資格を満たす学生の全員受験を目指している。他の専門学校や大学では、受験資格を満たしていても、合格率を上げる方策として「足切り」を行なっているのに比べると、本学科は柔道整復師協会の方針に則り、学生の全員受験を目指しながら、合格率を高めていく方策を実施している。それ以前は 20%から 40%の合格率であり、アピールポイントとしてはマイナス傾向であった。柔道整復師をアピールするためには、国家試験の合格率を上昇させる必要があり、今後も国家試験対策や個人指導・補習 など学習の機会の増える対策 を実施し、引き続き柔道整復師の国家試験合格率を高めていくことで、学生募集につながると考えている。

5) 芸術学部アート・デザイン学科

○学生の確保の見通し

芸術学部アート・デザイン学科は、人間教育を基軸とし、ものづくりの体験を通して豊かな感性と幅広い知識を養い、理性と感性の統合の観点から社会に貢献できる人材の養成

を目指している。平成 28 年度には建築・インテリアコースを開設し、建築士やインテリアデザイナーの育成にも注力してきた。本コースは、令和 8 年度より空間デザインコースと名称を変更し、教育内容の更なる刷新を図る予定である。学生の在籍状況に関して言えば、令和元年度はコロナ禍の影響下であったにもかかわらず入学者数の大きな減少は見られなかった。そして、令和 3 年度以降は、各学年とも定員 30 名を若干上回る学生数を確保することに成功しており、今後も同様の学生数の安定的な確保が見込める状況にある。

○学生確保に向けた具体的な取組状況

アート・デザイン学科では、現在学生が多く集まっているアニメ・映像コースの他、建築・インテリアコースも志願者の増える傾向にある。陶芸分野を含む絵画・造形コースや就職で実績を上げているビジュアルデザインコースも根強い人気がある。産学共同や地域連携に関しても多くの活動実績があり、こうした特色や実績を積極的に掲げて学生募集をしたい。

またアート・デザイン学科では、留学生入試による志願率が高い。これは日本のアニメーションやキャラクターデザインなどへの海外で若年層を中心とした人気の高まりが大きく反映されているものと思われる。また美術領域の学科を有する大学が、山口県内では本学のみであり、近隣の県にも競合するような大学が少ない（広島県 3 大学、福岡県 1 大学）ことも、留学生志願者の増加の要因となっていると考えられる。

今後、上記の利点も生かし、訴求点とすることで、入学生数を維持できるよう、学生確保に尽力したい。

6) 芸術学部トータルビューティ学科

○学生の確保の見通し

芸術学部トータルビューティ学科は、幅広い教養と芸術の知識を持ち、社会の変化に対応できる、美容等の専門的技術を身につけた人材養成を目的とする。美容師国家試験受験資格が取得可能な 2 つの大学のうちの 1 つである。大学の特色上、美容に関心ある日本人のみならず、留学生（韓国、中国、ミャンマーなど）の学生も増加傾向にある。近年の国家試験合格率の改善により、オープンキャンパスの参加者も増加傾向である。

○学生確保に向けた具体的な取組状況

大学本来の主たる目的である質の高い教育を実施するため、美容系教員の量的にも強化した。強化後、美容師国家試験合格率が大幅に改善された。その結果、オープンキャンパス参加者も増加傾向にある。また、専門学校との差別化のため、マネジメント系科目を充実させ、未来の経営者候補の育成にも力を入れている。国家試験合格率は過去に 5 度、100%という実績もあり、今後も合格率 100%を目指した教育を引き続き行っていきたい。ホームページ等を活用して、学生及び保護者に更なる周知を行いたい。

○年度別【入学者数】推移(令和元年度～令和7年度)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
医療学部 医療工学科							
入学定員	70	55	55	55	55	45	45
入学者数	50	66	46	66	47	49	49
定員充足率	0.71	1.20	0.83	1.20	0.85	1.08	1.08
(内、留学生)	9	19	14	10	7	10	7
留学生比率	0.18	0.28	0.30	0.15	0.14	0.20	0.14
医療学部 健康栄養学科							
入学定員	30	40	40	40	40	30	30
入学者数	22	35	18	21	12	18	14
定員充足率	0.73	0.87	0.45	0.52	0.30	0.60	0.46
(内、留学生)	11	15	2	8	3	7	4
留学生比率	0.50	0.42	0.11	0.38	0.25	0.38	0.28
人間科学部 心理臨床・子ども学科							
入学定員	40	40	40	40	40	40	40
入学者数	52	51	45	44	30	26	27
定員充足率	1.30	1.27	1.12	1.10	0.75	0.65	0.67
(内、留学生)	23	25	11	6	3	6	4
留学生比率	0.44	0.49	0.24	0.13	0.10	0.23	0.14
人間科学部 国際交流学科							
入学定員	40	40	40	40	40	30	30
入学者数	52	51	28	20	20	25	24
定員充足率	1.30	1.27	0.70	0.50	0.50	0.83	0.80
(内、留学生)	49	40	19	14	17	23	18
留学生比率	0.94	0.78	0.67	0.70	0.85	0.92	0.75
人間科学部 スポーツ健康学科							
入学定員	80	65	65	65	80	80	80
入学者数	69	78	86	93	86	96	114
定員充足率	0.86	1.20	1.32	1.43	1.32	1.20	1.42
(内、留学生)	2	3	0	0	0	2	0
留学生比率	0.02	0.03	0.00	0.00	0.00	0.02	0.00
芸術学部 アート・デザイン学科							
入学定員	20	30	30	30	30	50	50
入学者数	26	46	33	24	32	34	30
定員充足率	1.30	1.53	1.10	0.80	1.06	0.68	0.60
(内、留学生)	16	31	20	12	20	19	14
留学生比率	0.61	0.67	0.60	0.50	0.62	0.55	0.46
芸術学部 トータルビューティ学科							
入学定員	20	30	30	30	30	25	25
入学者数	25	27	16	12	32	17	11
定員充足率	1.25	0.90	0.53	0.40	1.06	0.68	0.44
(内、留学生)	18	16	3	3	23	10	3
留学生比率	0.72	0.59	0.18	0.25	0.71	0.58	0.27

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
東亜大学 計							
入学定員	300	300	300	300	300	300	300
入学者数	296	354	272	280	259	265	269
定員充足率	0.98	1.18	0.90	0.93	0.86	0.88	0.89
(内、留学生)	128	149	69	53	73	77	50
留学生比率	0.43	0.42	0.25	0.18	0.28	0.29	0.18

○年度別【在学生数】推移(令和元年度～令和7年度)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
医療学部 医療工学科							
収容定員	280	285	250	235	220	210	200
在学生数	183	209	203	216	208	208	213
定員充足率	0.65	0.78	0.81	0.91	0.98	0.99	1.06
(内、留学生)	33	47	53	56	47	45	39
留学生比率	0.18	0.22	0.26	0.25	0.21	0.21	0.18
医療学部 健康栄養学科							
収容定員	120	130	140	150	160	150	140
在学生数	71	89	88	95	84	77	75
定員充足率	0.59	0.68	0.62	0.63	0.52	0.51	0.53
(内、留学生)	16	28	29	33	24	23	23
留学生比率	0.22	0.31	0.32	0.34	0.28	0.29	0.30
人間科学部 心理臨床・子ども学科							
収容定員	160	160	160	160	160	160	160
在学生数	112	141	154	167	151	147	134
定員充足率	0.70	0.88	0.96	1.04	0.94	0.91	0.83
(内、留学生)	28	46	48	50	36	32	28
留学生比率	0.25	0.32	0.31	0.29	0.23	0.21	0.20
人間科学部 国際交流学科							
収容定員	160	160	160	160	160	150	140
在学生数	156	194	172	143	121	131	132
定員充足率	0.97	1.21	1.07	0.89	0.75	0.87	0.94
(内、留学生)	146	173	146	116	93	109	111
留学生比率	0.93	0.89	0.84	0.81	0.76	0.83	0.84
人間科学部 スポーツ健康学科							
収容定員	320	305	250	275	260	275	290
在学生数	253	263	283	310	323	342	358
定員充足率	0.79	0.86	0.97	1.12	1.24	1.24	1.23
(内、留学生)	4	6	5	5	2	4	3
留学生比率	0.01	0.02	0.01	0.01	0.00	0.01	0.00
芸術学部 アート・デザイン学科							
収容定員	80	90	100	110	120	140	160
在学生数	74	116	132	136	142	151	144
定員充足率	0.92	1.28	1.32	1.23	1.18	1.07	0.90
(内、留学生)	48	80	89	88	91	95	87
留学生比率	0.64	0.68	0.67	0.64	0.64	0.62	0.60
芸術学部 トータルビューティ学科							
収容定員	80	90	100	110	120	115	110
在学生数	75	90	81	71	75	72	58
定員充足率	0.93	1.00	0.81	0.64	0.62	0.62	0.52
(内、留学生)	52	64	45	34	37	36	29
留学生比率	0.69	0.71	0.55	0.47	0.49	0.50	0.50

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
東亜大学 計							
収容定員	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
在学生数	924	1,102	1,113	1,138	1,112	1,128	1,114
定員充足率	0.77	0.91	0.92	0.94	0.92	0.94	0.92
(内、留学生)	327	444	415	382	330	344	320
留学生比率	0.35	0.40	0.37	0.33	0.29	0.30	0.28

教 員 名 簿

学 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
一	学長	オホト テツジ 岡本 哲治 ＜令和7年6月＞	70	歯学博士	385千円	東亜大学長 (令和7年6月)

（注） 高等専門学校にあっては校長について記入すること。